

KUMI-WAZA ユーザーガイド

For Adobe Illustrator
Windows/Mac



COMPOSE MASTER
KUMI-WAZA

Adobe®Illustrator®/InDesign®対応
自動組版プラグイン

目次

1	はじめに	1
1.1	本書について	1
1.2	「組技」による自動組版の流れとメリット	1
1.3	動作環境・システム構成	1
1.1	ソフトウェアのライセンス情報について	2
2	前提情報	3
2.1	用語一覧	3
2.2	対応画像	4
3	インストール手順	5
3.1	Windows 版のインストール手順	5
3.1.1	組技のインストール	5
3.2	Mac 版のインストール手順	8
3.2.1	組技のインストール	8
4	ライセンス認証	12
4.1	注意事項	12
4.1.1	ライセンスキーについて	12
4.1.2	仮認証について	12
4.2	ライセンス仮認証手順	13
4.2.1	ライセンスダイアログの起動	13
4.2.2	ライセンス仮認証	13
4.3	ライセンスキー申請	14
4.4	ライセンス本認証手順	15
5	アンインストール手順	16
5.1	Windows 版のアンインストール手順	16
5.1.1	組技のアンインストール	16
5.2	Mac 版のアンインストール手順	19
5.2.1	組技のアンインストール	19
6	各パーツの説明	21
6.1	メニューについて	21
6.1.1	「組技について」メニュー	21
6.1.2	「組技」メニュー	22
6.1.3	「組技 コマンド」メニュー	24
6.1.4	「組技 パネル」メニュー	26

6.2	ツールについて	27
6.3	パネルについて	30
6.3.1	レイアウト枠パネル	30
6.3.2	コメントパネル	31
6.3.3	データ表示パネル	32
6.3.4	データ詳細パネル	35
6.3.5	画像一覧パネル	36
6.3.6	テンプレート一覧パネル	38
6.3.7	項目マッピングパネル	40
6.3.8	制作情報パネル	42
6.3.9	データファイルパネル	43
6.4	ダイアログについて	44
6.4.1	バージョン情報ダイアログ	44
6.4.2	ライセンスダイアログ	45
6.4.3	エクスポートダイアログ	46
6.4.4	差異レポート出力選択ダイアログ	48
6.4.5	絞り込み条件設定ダイアログ	49
6.4.6	画像フォルダ設定ダイアログ	50
6.4.7	流し込みオプションダイアログ	51
6.4.8	画像一覧パネルオプションダイアログ	52
6.4.9	配置オプションダイアログ	53
6.4.10	テンプレート配置ツールオプションダイアログ	55
6.4.11	連続割り付け設定ダイアログ	56
6.4.12	対象データー一覧ダイアログ	58
7	データ準備	59
7.1	データファイル作成手順	59
7.1.1	CSV ファイル作成手順	59
7.1.2	画像項目定義ファイル作成手順	59
7.1.3	テンプレート項目定義ファイル作成手順	60
7.1.4	文字コード定義ファイル作成手順	60
7.1.5	表組設定ファイル作成手順	61
7.1.6	フォルダの構成	62
7.2	流し込みテンプレート作成手順	63
7.2.1	新規ドキュメント作成	63
7.2.2	流し込みデータ読み込み	64
7.2.3	項目マッピングパネルの起動	66
7.2.4	テキストフレームへの項目マッピング	67

7.2.5	グラフィックフレームへの項目マッピング	69
7.2.6	項目マッピングの解除	71
7.2.7	流し込みテンプレートの保存	73
7.3	表組テンプレート作成手順	74
7.3.1	事前準備	74
7.3.2	表組レイヤーの作成	74
7.3.3	表組背景オブジェクトの作成	75
7.3.4	表組テキストオブジェクトの作成	77
7.3.5	各オブジェクトのグループ化	78
7.3.6	表組背景オブジェクトと表組テキストオブジェクトの位置合わせ	79
7.3.7	表組オブジェクト以外のオブジェクトマッピング	80
7.3.8	表組背景オブジェクトと表組テキストオブジェクトの位置合わせ	80
8	データの流し込み	81
8.1	新規ドキュメント作成	81
8.2	流し込みデータ読み込み	82
8.3	画像の読み込み	84
8.4	流し込みテンプレートの読み込み	87
8.5	流し込み	89
8.5.1	流し込み準備	89
8.5.2	流し込みテンプレートを配置する流し込み手順	90
8.5.3	レイアウト枠を配置する流し込み手順	95
9	差異チェック	103
9.1	パネル上での色分け表示	103
9.2	ドキュメント上での色分け表示	106
9.2.1	差異箇所のマーキング	106
9.2.2	レポート出力	107
9.3	除外設定	108
9.3.1	データ表示パネルでの除外設定	108
9.3.2	データ詳細パネルでの除外設定	108
9.3.3	項目マッピングパネルでの除外設定	109
9.3.4	除外設定の保存	110
9.3.5	除外設定の読み込み	112
9.4	差異チェックの実施	115
10	データの出力	116
10.1	XML を出力する	117
10.2	CSV を出力する	118
10.3	PDF を出力する	119

10.4 画像を出力する	121
--------------------	-----

1 はじめに

1.1 本書について

本書は、組技についてご説明するものです。

1.2 「組技」による自動組版の流れとメリット

組技は Adobe InDesign/Illustrator 用の自動組版プラグインです。

組技をインストールすることにより、組版作業の【時間短縮】【ミス低減】を実現するための機能が、組技メニュー、組技コマンド、および組技パネルとして表示されます。

組技は大きく次の 4 つの機能を提供します。

- ① CSV/XML ファイルを読み込み、組版を指定する機能
- ② 各種テキストと画像をワンセットで流し込み、データを指定する機能
- ③ 原稿データと作成中の紙面との差異チェック、データ反映などの便利機能
- ④ 各オブジェクトとの関連付けを含めた CSV/XML エクスポート機能

1.3 動作環境・システム構成

Adobe Illustrator 2025 以上

対応 OS : Windows 11、macOS 13 以上

その他、動作に必要なシステム構成は、Adobe Illustrator の必要システム構成に準じます。

※お使いの PC にインストールされている必要があります。

※対応 OS は Adobe Illustrator の各バージョン仕様に依存します。

1.1 ソフトウェアのライセンス情報について

この製品には、OpenSSL Toolkit で使用するために OpenSSL Project によって開発されたソフトウェアが含まれています。(http://www.openssl.org/)

本ソフトウェアは、 expat (http://expat.sourceforge.net/) を使用しています。

この expat は MIT License によって配布されています。

以下は、 MIT License によって義務付けられている著作権表示およびライセンス文、免責条項です。

Copyright (c) 1998, 1999, 2000 Thai Open Source Software Center Ltd and Clark Cooper
Copyright (c) 2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006 Expat maintainers.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining
a copy of this software and associated documentation files (the "Software"),
to deal in the Software without restriction, including
without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish,
distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software,
and to permit persons to whom the Software is furnished to do so,
subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included
in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND,
EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF
MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT.
IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY
CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT,
TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE
SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

2 前提情報

組技を使用するうえでの各用語、基本情報について説明します。

2.1 用語一覧

本書で使用される用語について説明します。

用語	意味
ドキュメント	Illustrator のドキュメントです。 主に拡張子 ai のファイルを指します。
オブジェクト	Illustrator の テキストフレーム、グラフィックフレームなど、 ページ上に配置されるアイテムを指します。
流し込み	文字や画像をオブジェクトに割り付けることを指します。
フィールド	データが流し込まれたテキスト範囲、グラフィックフレームを指します。
流し込みデータ	流し込みに使用する文字データファイルのことを指します。 組技では CSV ファイルと XML ファイルを利用することが出来ます。
流し込みテンプレート	1 つ以上のフィールドで構成されているオブジェクトのことを指します。 流し込むレイアウトを定めたテンプレートです。 ファイルの拡張子は「.ai」のみです。
レイアウト枠	流し込みを行う前に、流し込む位置を設定するためのフレーム枠のことを 指します。
地番	レイアウト枠の番号を指します。
画像配置枠	データ項目と関連付けを持つグラフィックフレームのことです。
パネル	CS2 までは「パレット」と呼ばれていたものです。 CS3 からは Adobe のマニュアル等で「パネル」と記載されています。
差異チェック	ドキュメント上のデータと CSV/XML ファイルの中身との差異をチェック することを指します。
表組背景オブジェクト	表組の背景に利用する長方形オブジェクトをグリッド分割したものを 指します。
表組テキストオブジェクト	表組の文字列流し込みに利用するグリッド分割されたテキストフレームを 指します。

2.2 対応画像

組技で使用可能な画像は、下記表の 11 種です。

拡張子
.jpg
.jpeg
.jpe
.png
.tif
.tiff
.bmp
.pdf
.psd
.eps
.ai

3 インストール手順

ここでは、組技のインストール手順について説明します。

※インストール作業は必ず「管理者アカウント」で実施してください。

3.1 Windows 版のインストール手順

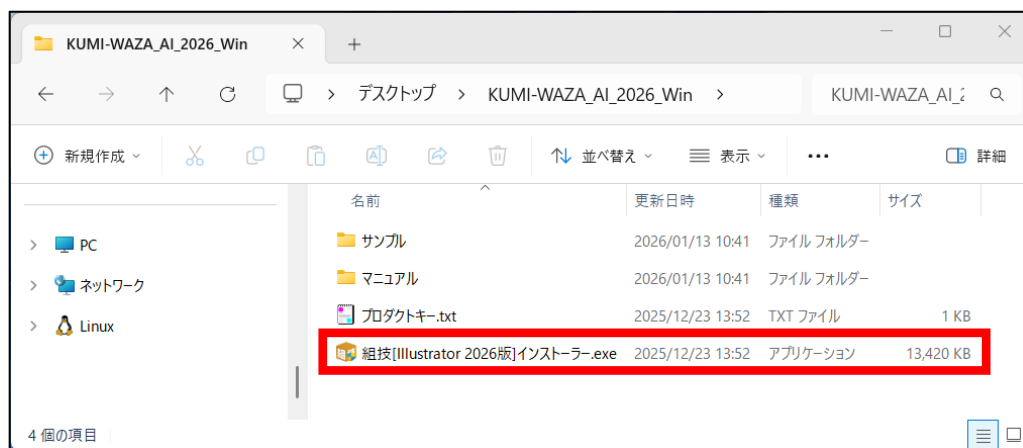
Windows 版の組技インストール手順について説明します。

3.1.1 組技のインストール

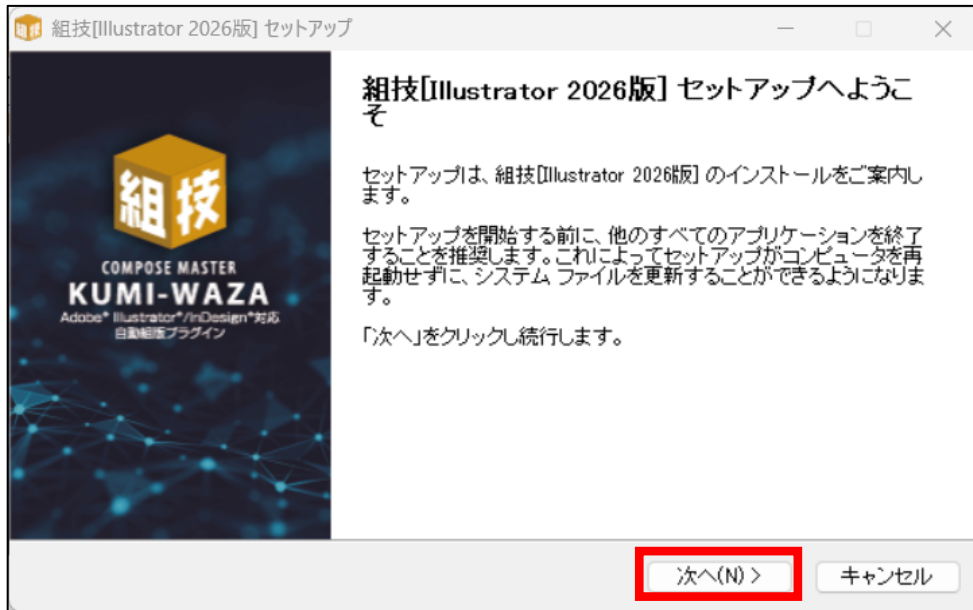
インストーラーを使用して組技をインストールします。

同梱の「組技 [Illustrator 20XX 版] インストーラー.exe」(以後インストーラー)をダブルクリック、またはクリックで起動します。

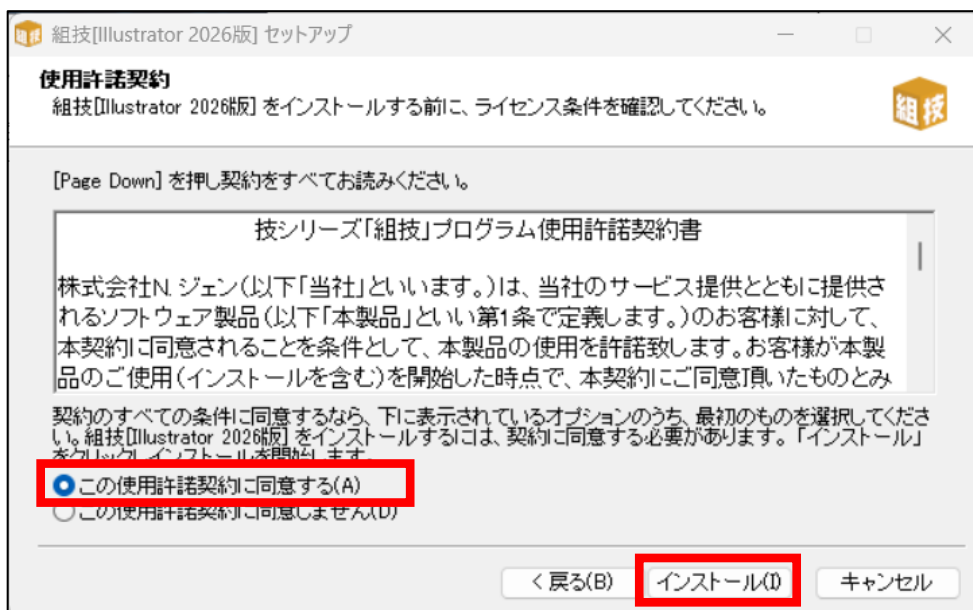
※参考画像は全て「2026」のものであります。



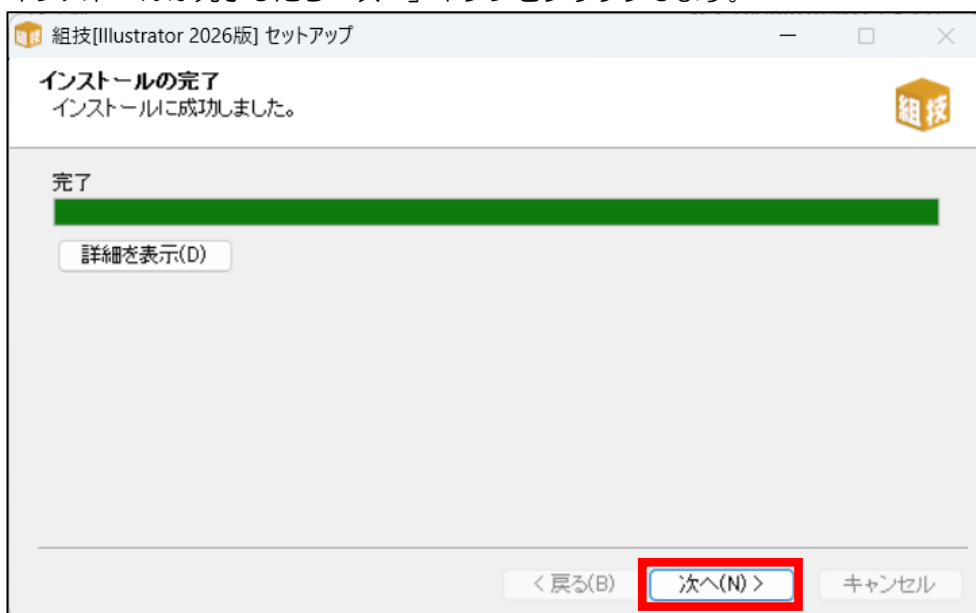
インストーラーが起動したら「次へ」ボタンをクリックします。



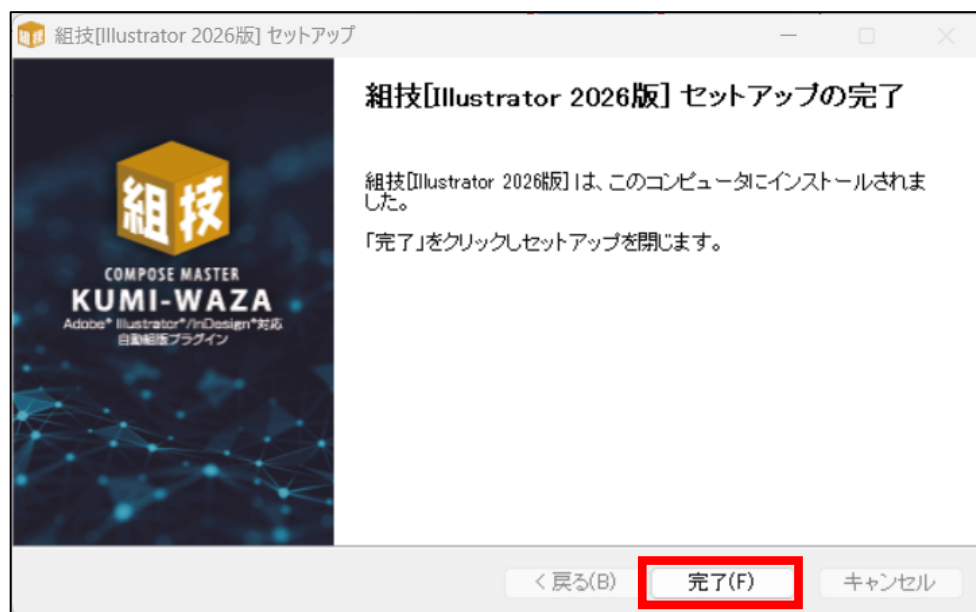
使用許諾に同意していただける場合は「このライセンス契約書に同意します」をクリックし、「インストール」ボタンをクリックします。



インストールが完了したら「次へ」ボタンをクリックします。



「完了」ボタンをクリックし、インストーラーを終了します。



以上でインストールは完了です。

3.2 Mac 版のインストール手順

Mac 版の組技インストール手順について説明します。

3.2.1 組技のインストール

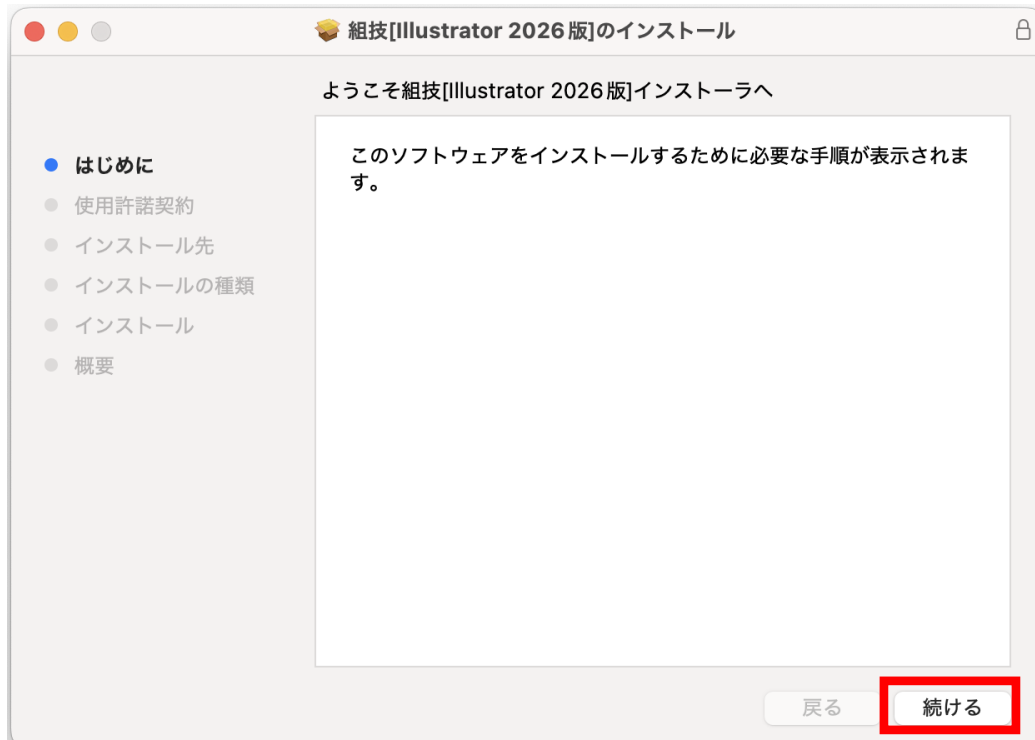
インストーラーを使用して組技をインストールします。

同梱の「組技 [Illustrator 20XX 版] インストーラー.pkg」(以後インストーラー)をダブルクリック、またはクリックで起動します。

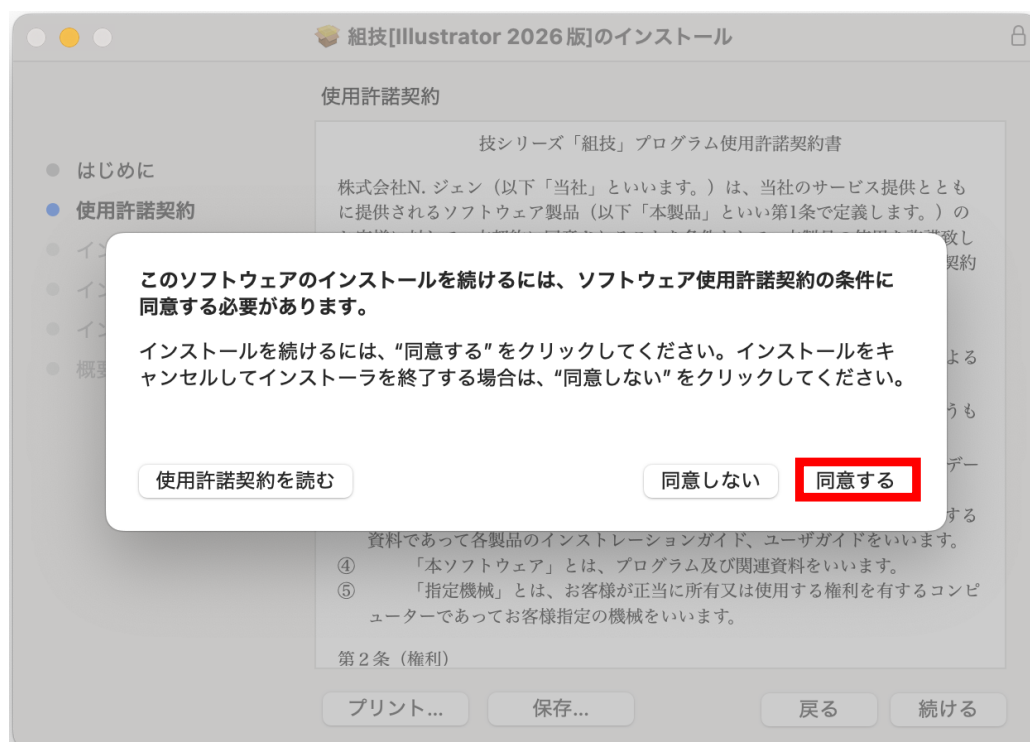
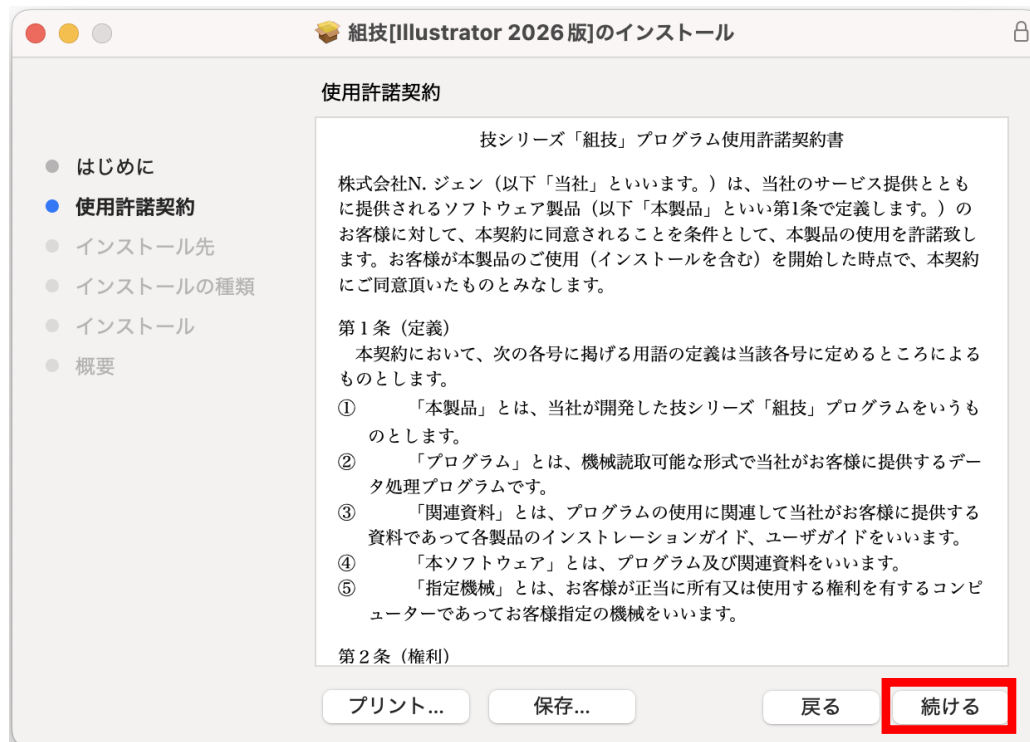
※参考画像は全て「2026」のものであります。



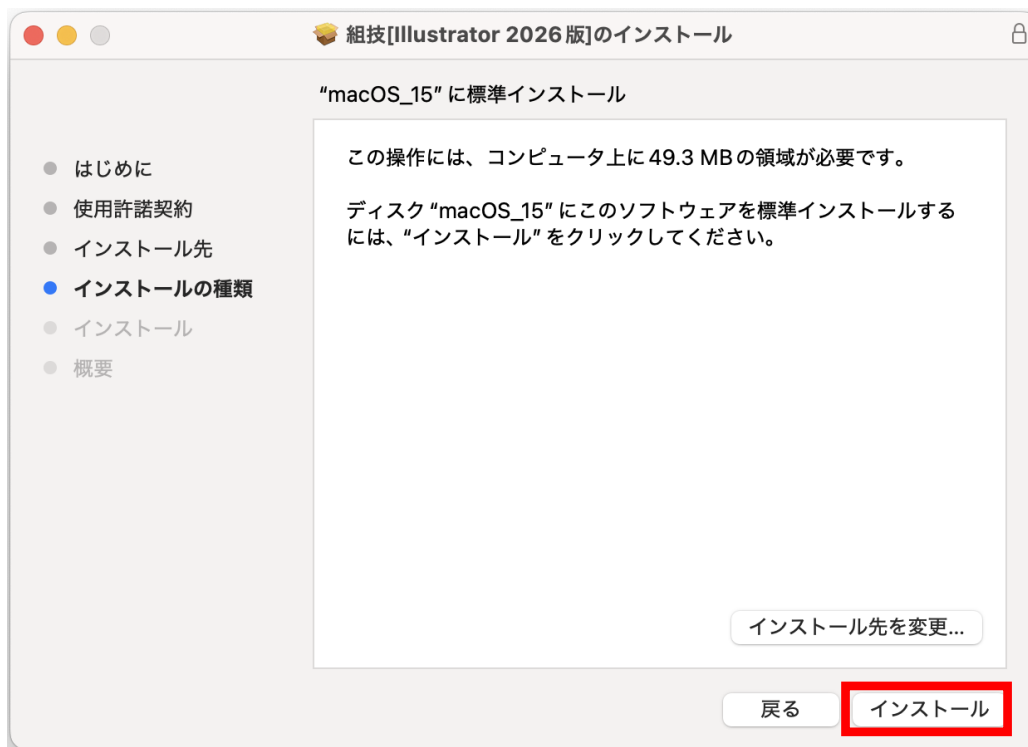
インストーラーが起動したら「続ける」ボタンをクリックします。



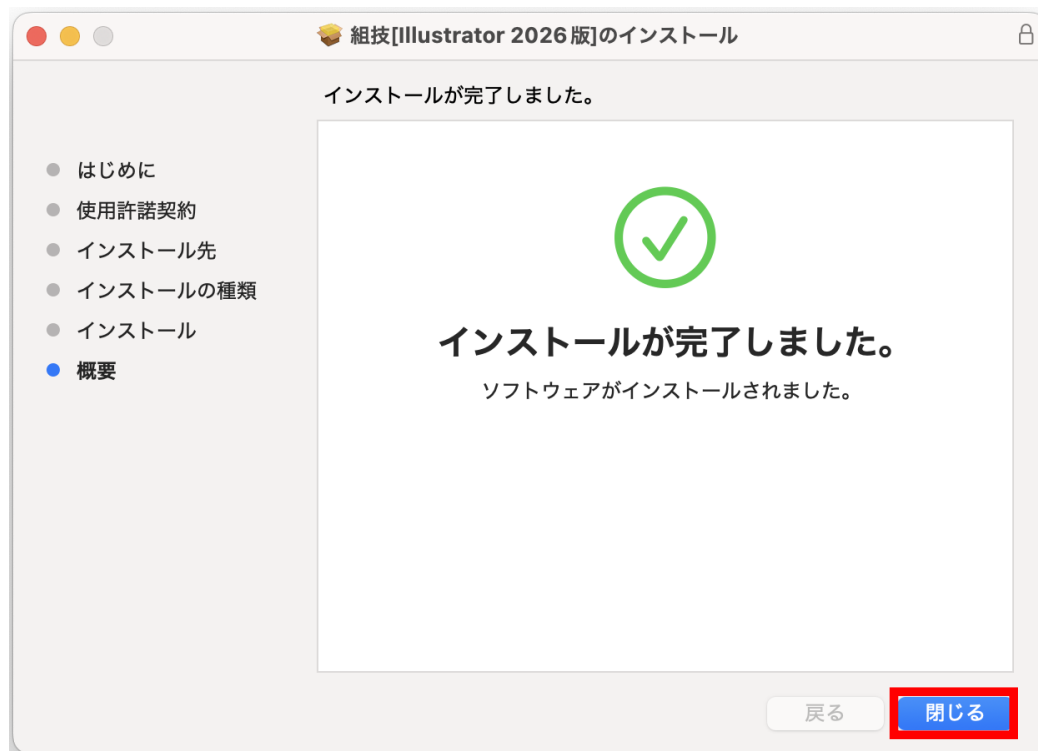
使用許諾に同意していただける場合は「続ける」ボタンをクリックし、「同意する」ボタンをクリックします。



「インストール」ボタンをクリックすると生体認証もしくはパスワード入力を求められるので、パスワード認証の場合はパスワードを入力し、「ソフトウェアをインストール」ボタンをクリックします。



インストールが完了したら「閉じる」ボタンをクリックし、インストーラーを終了します。



以上でインストールは完了です。

4 ライセンス認証

ここでは、組技のライセンス認証手順について説明します。

4.1 注意事項

ここでは、ライセンス認証に関する注意事項について説明します。

4.1.1 ライセンスキーについて

1 度ご購入されたライセンスキーは同じ端末で再度利用することが出来ます。
アンインストール時にライセンス認証は解除されますが、再インストール後に同じライセンスキーを入力してライセンス認証を行うことで再度組技をご利用いただくことが可能です。

4.1.2 仮認証について

組技ではトライアル期間として、30 日間の期間限定で無償利用が可能となっています。
ただし、1 度仮認証を実施すると、解除することが出来なくなるため注意してください。

仮認証は 1PC につき Illustrator の年版ごとに 1 回限りとなっています。

仮認証中にご利用の PC の時刻・日付を経過以前に戻すと、組技は使えない状態となります。

4.2 ライセンス仮認証手順

ここでは、組技ライセンスの仮認証手順について説明します。

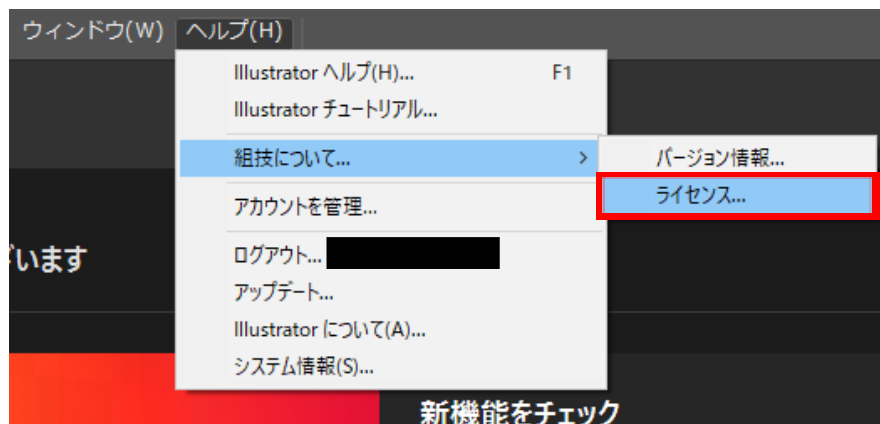
※参考画像は全て Windows 版のものとします。

4.2.1 ライセンスダイアログの起動

ライセンスダイアログを起動します。

Windows の場合は、ヘルプ > 組技について > ライセンス をクリックして起動します。

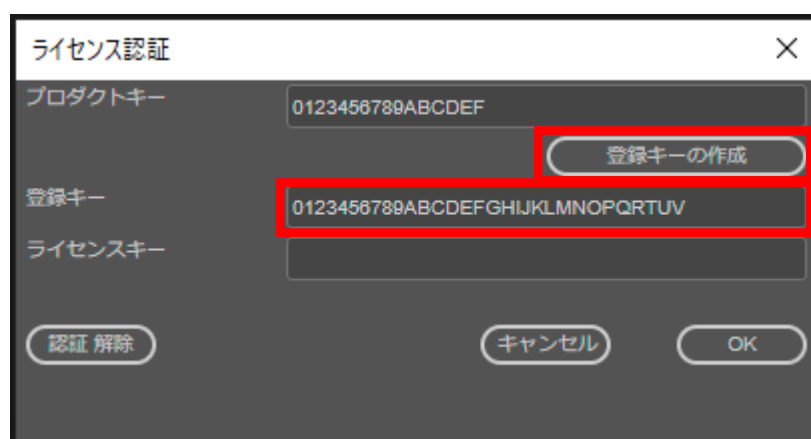
Mac の場合は、Illustrator > 組技について > ライセンス をクリックして起動します。



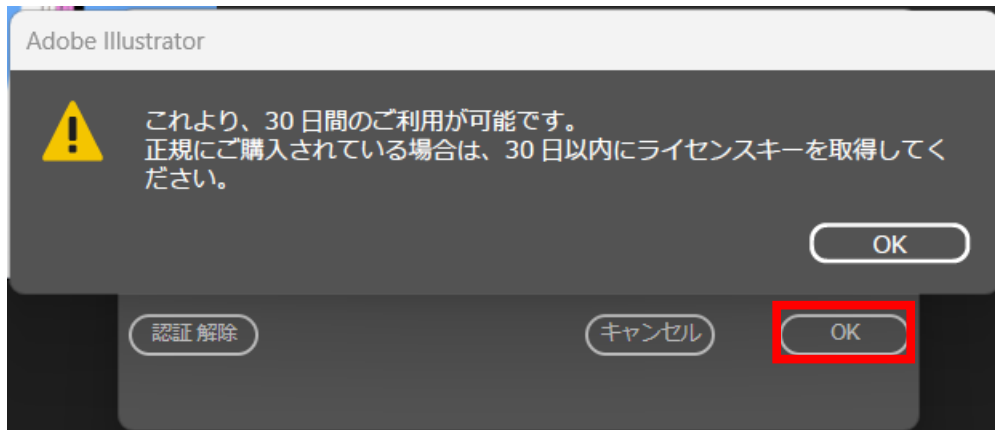
4.2.2 ライセンス仮認証

ライセンスダイアログのプロダクトキー入力欄に、同梱のプロダクトキーを入力します。

入力後、「登録キーの作成」ボタンをクリックすると登録キーが表示されるので、メモ帳などに控えてください。



「OK」ボタンをクリックし、ライセンスの仮認証をします。



この時点で、組技は 30 日間ご利用いただくことができます。

仮認証中のまま期間を過ぎると、組技をご利用できない状態となりますので、速やかにライセンスキーの申請を行い、本認証を必ず行なってください。

4.3 ライセンスキー申請

ここでは、組技ライセンスキー申請手順について説明します。

ライセンスキーの申請は、以下の事項を記載して、電子メールにて申請してください。

電子メール以外で申請をご希望される場合は、別途購入先担当者へご相談ください。

- ご利用者情報
- 会社名、担当部署
- 担当者名
- 電話番号、FAX 番号
- 購入先
- キー情報 *1
- 仮認証設定日

*1 キー情報とは、「プロダクトキー」「登録キー」を指します。インストール先の PC 毎に異なりますので、複数台へインストールする場合は、インストール台数分のキー情報を記載して申請してください。

＜ライセンスキー申請先＞

メールアドレス：waza@ngen.co.jp

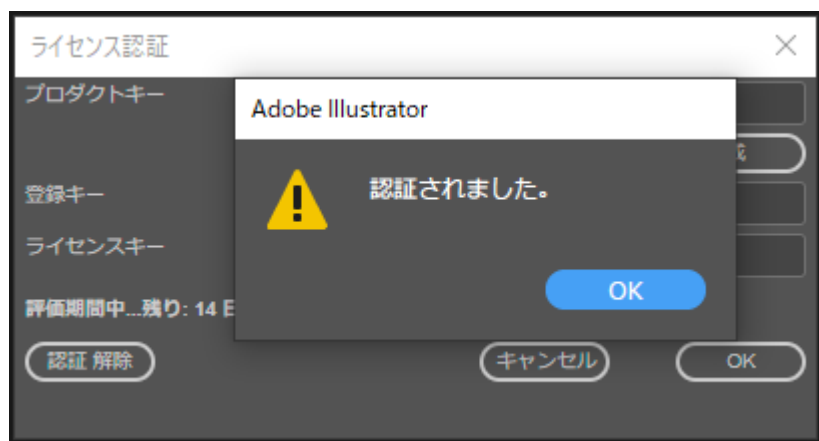
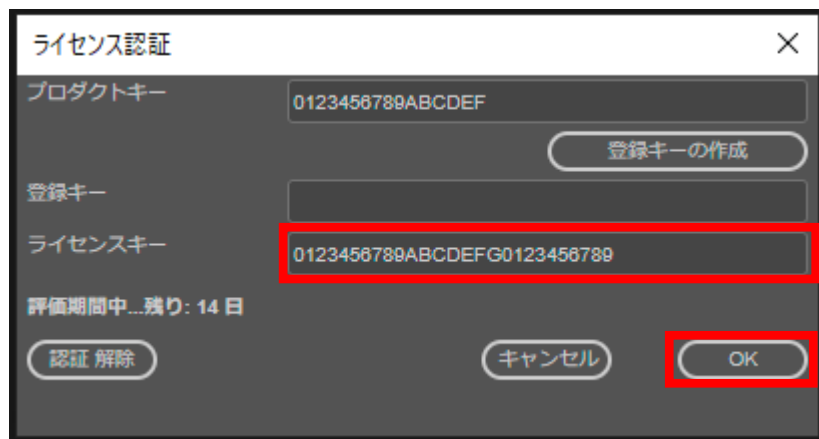
メールの件名に「組技ライセンスキー申請」と記載してください。

4.4 ライセンス本認証手順

ここでは、組技ライセンスの本認証手順について説明します。

ライセンスキーを入手したら、ライセンスダイアログを起動し、ライセンスキーを入力します。

「OK」ボタンをクリックし、認証された旨のダイアログが表示されれば本認証完了です。



5 アンインストール手順

ここでは、組技のアンインストール手順について説明します。

※アンインストール作業は必ず「管理者アカウント」で実施してください。

5.1 Windows 版のアンインストール手順

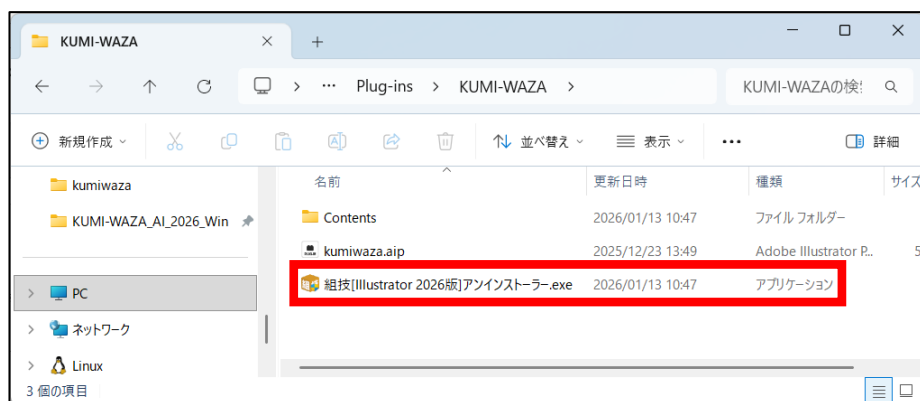
Windows 版の組技アンインストール手順について説明します。

5.1.1 組技のアンインストール

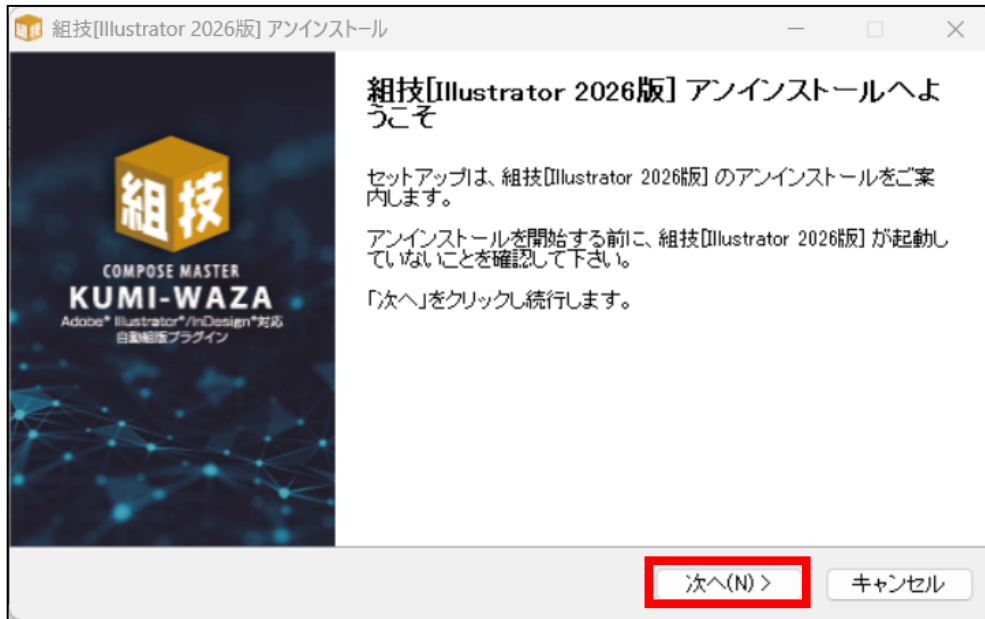
「C:\Program Files\Adobe\Adobe Illustrator 20XX\プラグイン\KUMI-WAZA\

上記フォルダ内の「組技 [Illustrator 20XX 版]アンインストーラー.exe」(以後アンインストーラー)をダブルクリック、またはクリックで起動します。

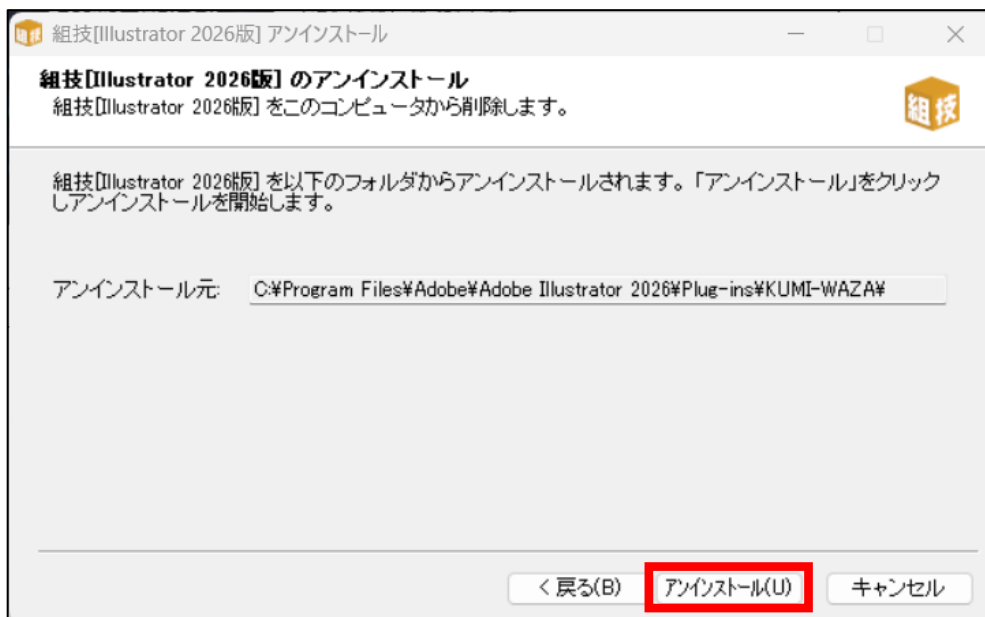
※参考画像は全て「2026」のものです。



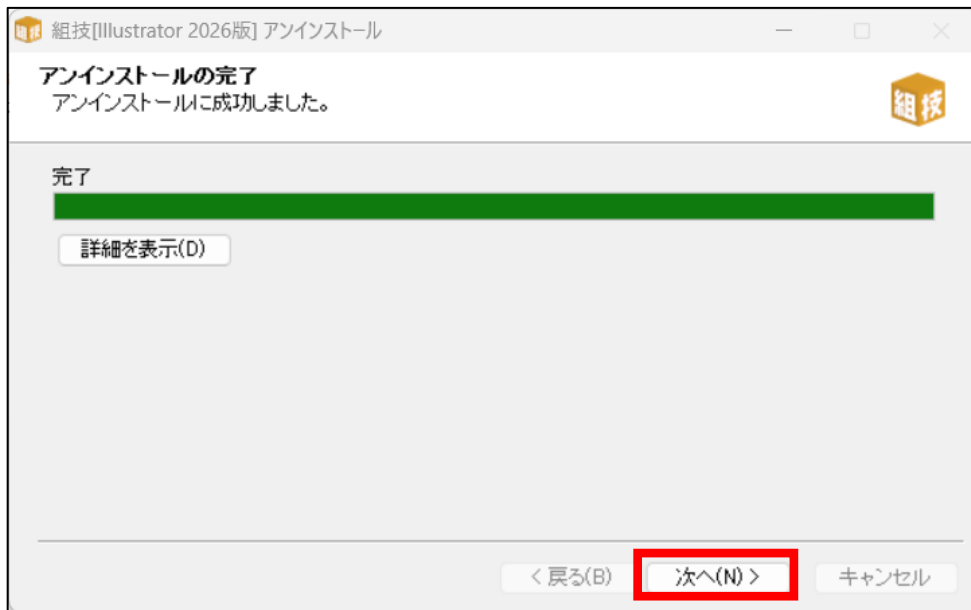
アンインストーラーが起動したら「次へ」ボタンをクリックします。



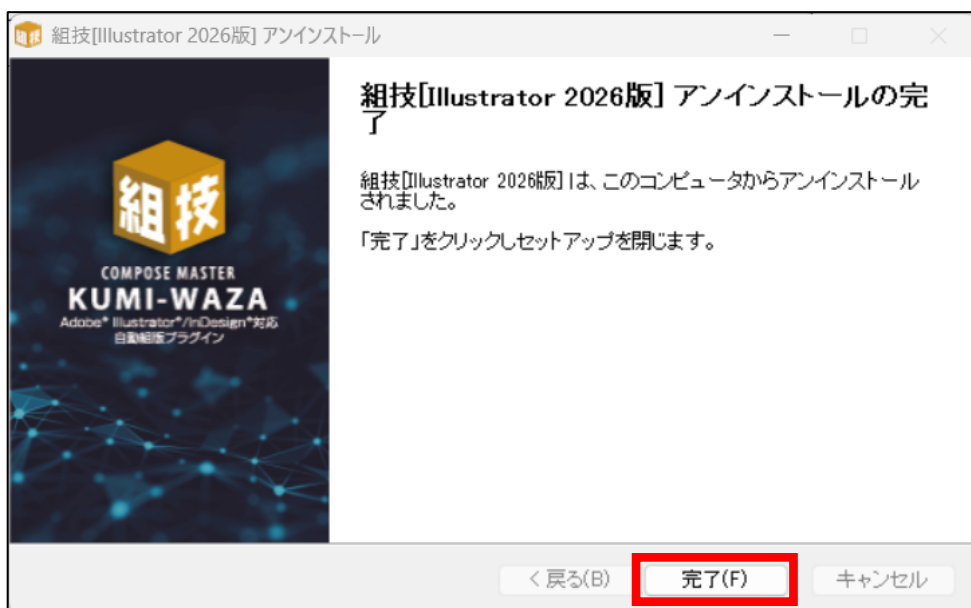
「アンインストール」ボタンをクリックします。



アンインストールが完了したら「次へ」ボタンをクリックします。



「完了」ボタンをクリックし、アンインストーラーを終了します。



以上でアンインストールは完了です。

5.2 Mac 版のアンインストール手順

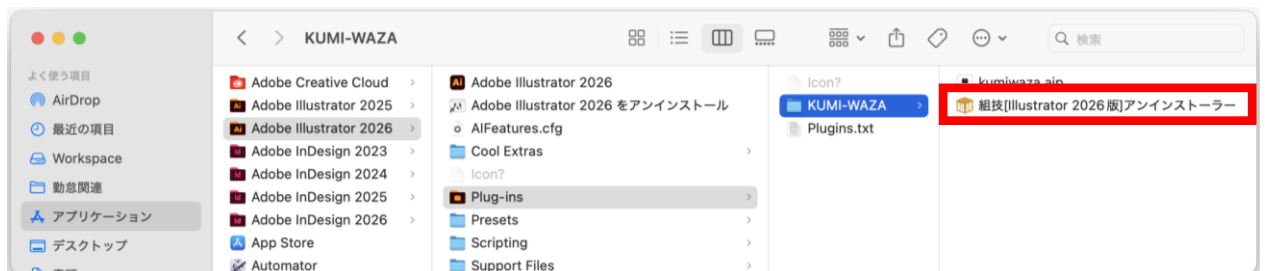
Mac 版の組技インストール手順について説明します。

5.2.1 組技のアンインストール

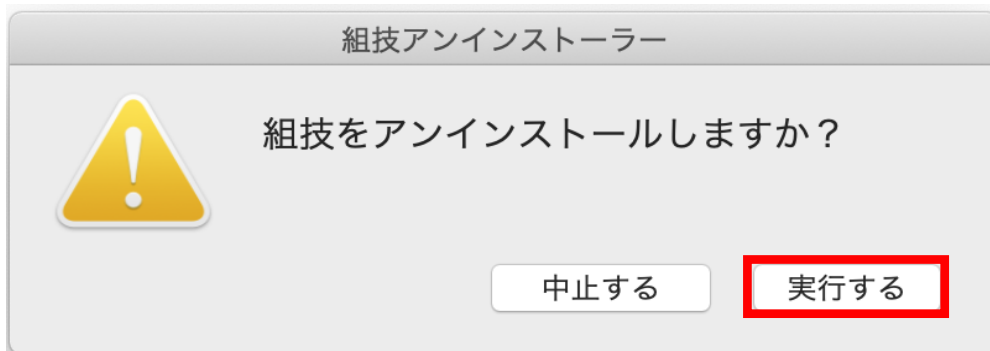
「/Applications/Adobe Illustrator 20XX/Plug-Ins/KUMI-WAZA」

上記フォルダ内の「組技[Illustrator 20XX 版] アンインストーラー.app」(以後アンインストーラー)を起動します。

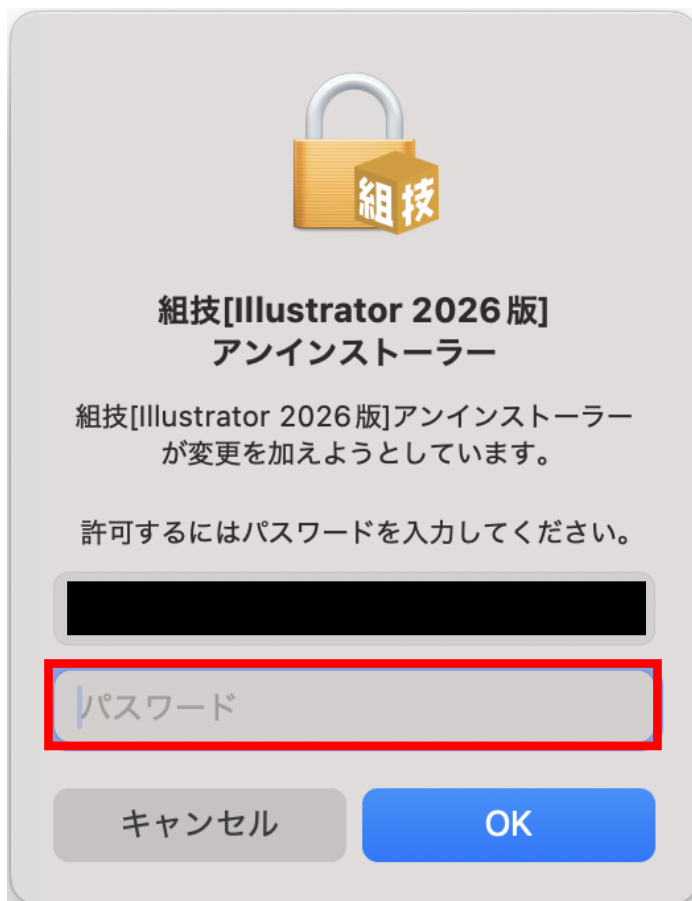
※参考画像は全て「2026」のものです。



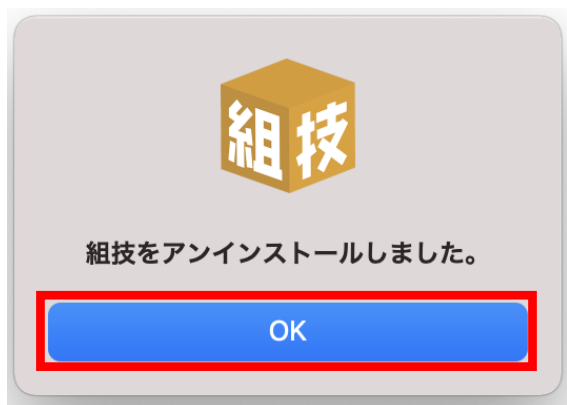
アンインストーラーが起動したら「実行する」ボタンをクリックします。



パスワード入力を求められるので、パスワードを入力し、「OK」ボタンをクリックします。



アンインストールが完了すると、確認ダイアログが表示されるので「OK」ボタンをクリックします。



以上でアンインストールは完了です。

6 各パーツの説明

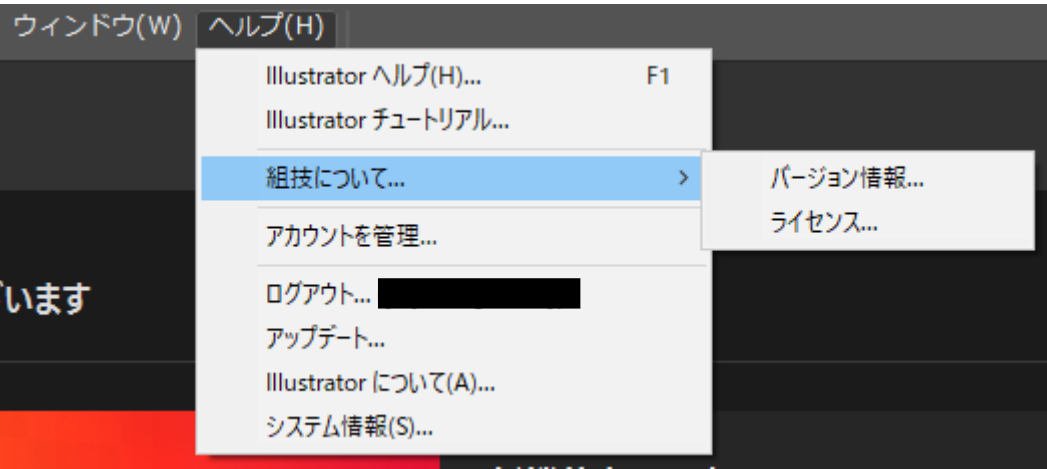
組技で追加されるメニュー及び、パネルについて説明します。

6.1 メニューについて

組技で追加されるメニューについて説明します。

6.1.1 「組技について」メニュー

ライセンス認証、バージョン情報表示が出来るメニューです。
メニューは「ヘルプ」の中に追加されています。



バージョン情報	バージョン情報ダイアログを表示します。
ライセンス	ライセンスダイアログを表示します。

6.1.2 「組技」メニュー

ファイル出力、その他便利機能を利用することが出来るメニューです。

メニューは「ウィンドウ」の中に追加されています。

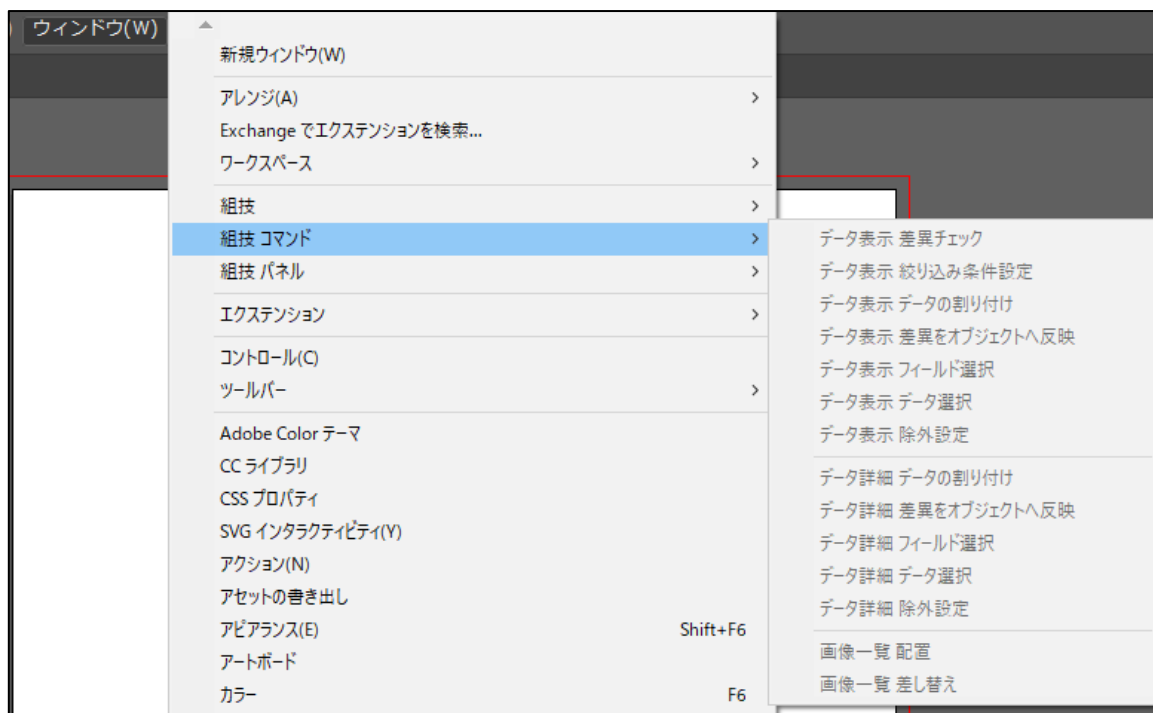


組技 エクスポート	ドキュメント上に流し込んだデータをもとに各ファイルを出力します。
レイアウト レイヤーの作成	レイアウト枠配置に使用するレイヤー「KW_MKLayout DO NOT MODIFY」を作成します。
テンプレートとして ペースト	ペースト時にデータとの関連付けを削除します。マッピング情報は保持されます。
テンプレートとして 前面にペースト	ペースト時にデータとの関連付けを削除します。最前面にペーストします。マッピング情報は保持されます。
テンプレートとして 背面にペースト	ペースト時にデータとの関連付けを削除します。最背面にペーストします。マッピング情報は保持されます。
項目マッピング解除 ペースト	ペースト時に項目とのマッピング情報を削除します。
項目マッピング解除 前面にペースト	ペースト時に項目とのマッピング情報を削除します。最前面にペーストします。
項目マッピング解除 背面にペースト	ペースト時に項目とのマッピング情報を削除します。最背面にペーストします。
差異箇所のマーキング	ドキュメント上の項目と CSV/XML ファイルのデータの差異がある項目にマーキングをします。
差異レポート出力	差異レポート出力選択ダイアログを表示します。

6.1.3 「組技 コマンド」メニュー

組技の機能の中で、利用頻度の高い機能を集めたメニューです。

メニューは「ウィンドウ」の中に追加されています。



データ表示 差異チェック	データ表示パネル 「差異チェックボタン」と同じ機能です。
データ表示 絞り込み条件設定	データ表示パネル 「絞り込み条件設定ボタン」と同じ機能です。
データ表示 データの割り付け	データ表示パネル 「データの割り付けボタン」と同じ機能です。
データ表示 差異をオブジェクトへ反映	データ表示パネル 「差異反映ボタン」と同じ機能です。
データ表示 フィールド選択	データ表示パネル 「フィールド選択ボタン」と同じ機能です。
データ表示 データ選択	データ表示パネル 「データ選択ボタン」と同じ機能です。
データ表示 除外設定	データ表示パネル 「除外設定ボタン」と同じ機能です。
データ詳細 データの割り付け	データ詳細パネル 「データの割り付けボタン」と同じ機能です。
データ詳細 差異をオブジェクトへ反映	データ詳細パネル 「差異反映ボタン」と同じ機能です。
データ詳細 フィールド選択	データ詳細パネル 「フィールド選択ボタン」と同じ機能です。
データ詳細 データ選択	データ詳細パネル 「データ選択ボタン」と同じ機能です。
データ詳細 除外設定	データ詳細パネル 「除外設定ボタン」と同じ機能です。
画像一覧 配置	画像一覧パネル 「配置ボタン」と同じ機能です。
画像配置 差し替え	画像一覧パネル 「差し替えボタン」と同じ機能です。

6.1.4 「組技 パネル」メニュー

組技の機能を利用するため、各パネルの表示/非表示を切り替えるメニューです。

メニューは「ウィンドウ」の中に追加されています。



レイアウト枠	レイアウト枠パネルを表示します。
コメント	コメントパネルを表示します。
データ表示	データ表示パネルを表示します。
データ詳細表示	データ詳細パネルを表示します。
画像一覧	画像一覧パネルを表示します。
テンプレート一覧	テンプレート一覧パネルを表示します。
項目マッピング	項目マッピングパネルを表示します。
制作情報	制作情報パネルを表示します。
データファイル	データファイルパネルを表示します。

6.2 ツールについて

組技で追加されるツールについて説明します。

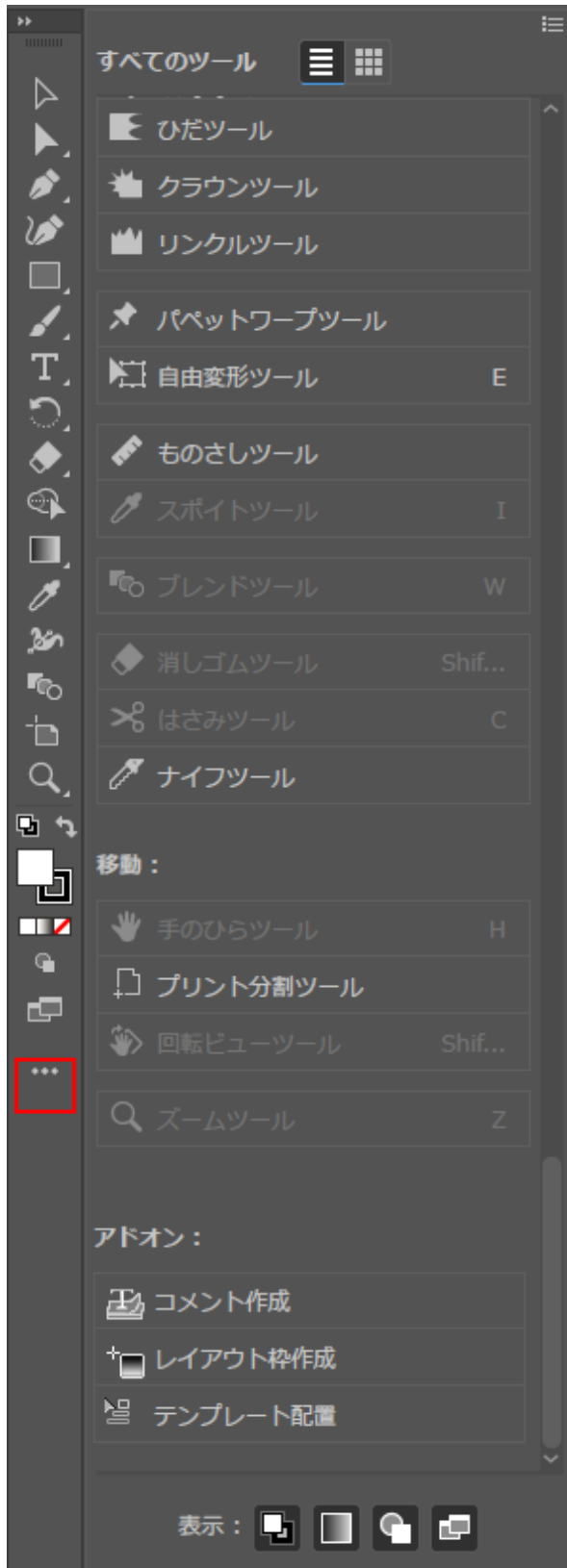


①	テンプレート配置ツール	テンプレート一覧パネルで選択中の流し込みテンプレートを、ドキュメント上に配置します。
②	レイアウト枠作成ツール	データを流し込む際の枠を作成します。
③	コメント作成ツール	コメント(付箋)を作成します。

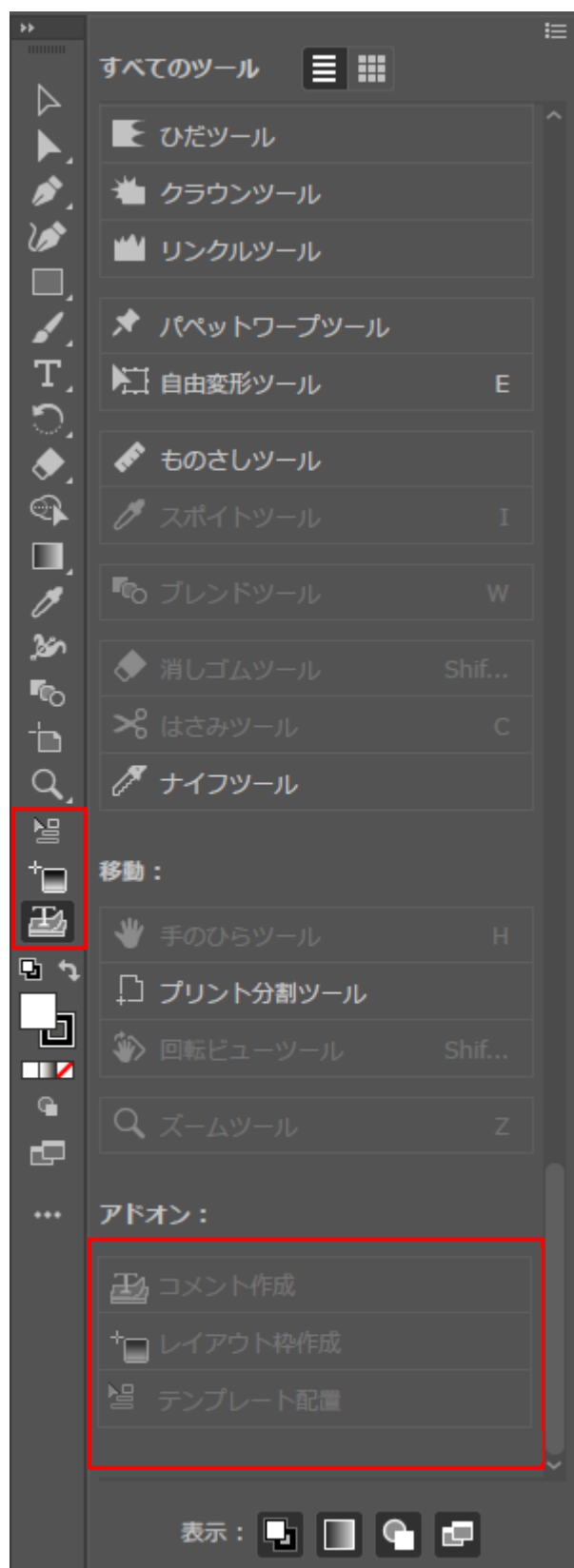
組技で追加されるツールは、初回はツールバーに表示されていません。

ツールの追加手順を説明します。

ツールバーの「ツールバーを編集」をクリックし、すべてのツールを表示します。



アドオンに表示されている、「レイアウト枠作成ツール」「コメント作成ツール」「テンプレート配置」をツールバーにドラッグ&ドロップすることで、ツールを追加することが出来ます。

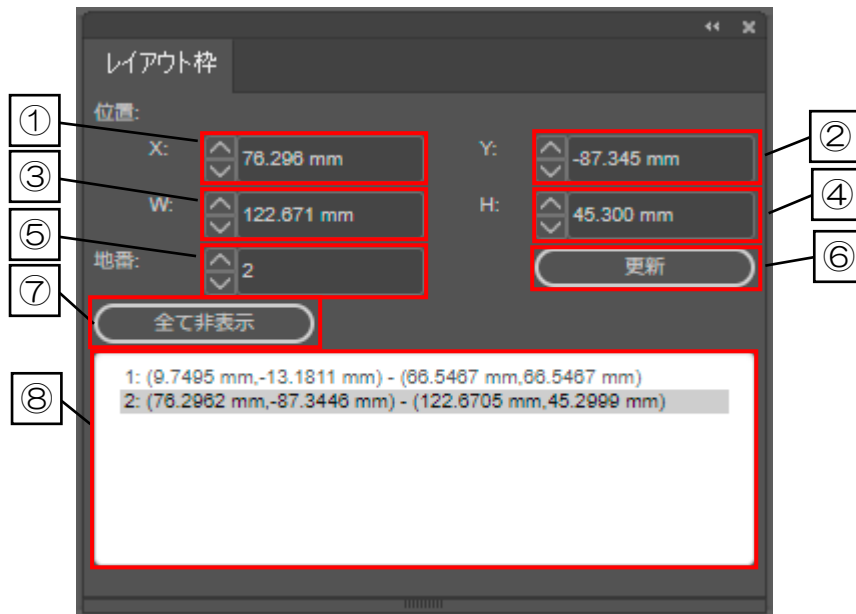


6.3 パネルについて

組技で追加されるパネルについて説明します。

6.3.1 レイアウト枠パネル

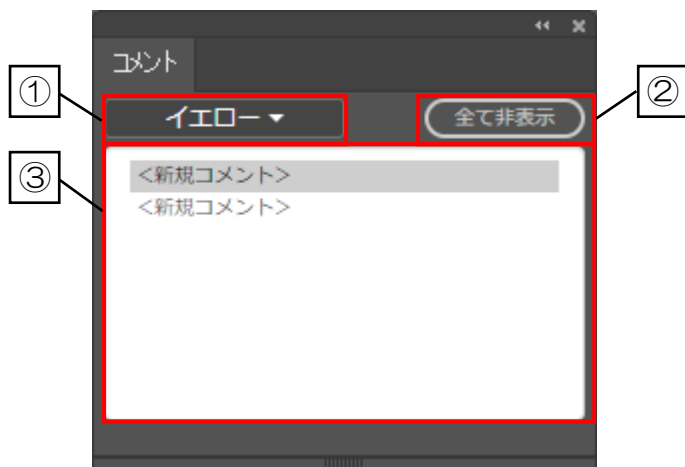
レイアウト枠パネルとは、レイアウト枠のサイズや表示/非表示の設定を行うパネルです。



①	X 座標入力欄	ドキュメント上で選択しているレイアウト枠の左上 X 座標を入力/表示します。
②	Y 座標入力欄	ドキュメント上で選択しているレイアウト枠の左上 Y 座標を入力/表示します。
③	横幅入力欄	ドキュメント上で選択しているレイアウト枠の横幅を入力/表示します。
④	高さ入力欄	ドキュメント上で選択しているレイアウト枠の高さを入力/表示します。
⑤	地番入力欄	ドキュメント上で選択しているレイアウト枠の地番を入力/表示します。
⑥	更新ボタン	①～⑤の入力した値に更新します。
⑦	表示切り替えボタン	ドキュメント上に配置しているレイアウト枠の表示/非表示を切り替えます。
⑧	レイアウト枠一覧	ドキュメント上に配置しているレイアウト枠を表示します。

6.3.2 コメントパネル

コメントパネルとは、コメント(付箋)の色や表示/非表示の設定を行うパネルです。



①	色選択プルダウン	③で選択しているコメントの色を選択します。
②	表示切り替えボタン	ドキュメント上のコメントの表示状態を切り替えます。
③	コメント一覧	ドキュメント上のコメントが表示されます。

6.3.3 データ表示パネル

データ表示パネルとは、流し込みに使用する CSV/XML の読み込み、フォルダの指定、ドキュメントに流し込みを行うなどの、組技のメイン機能を担うパネルです。

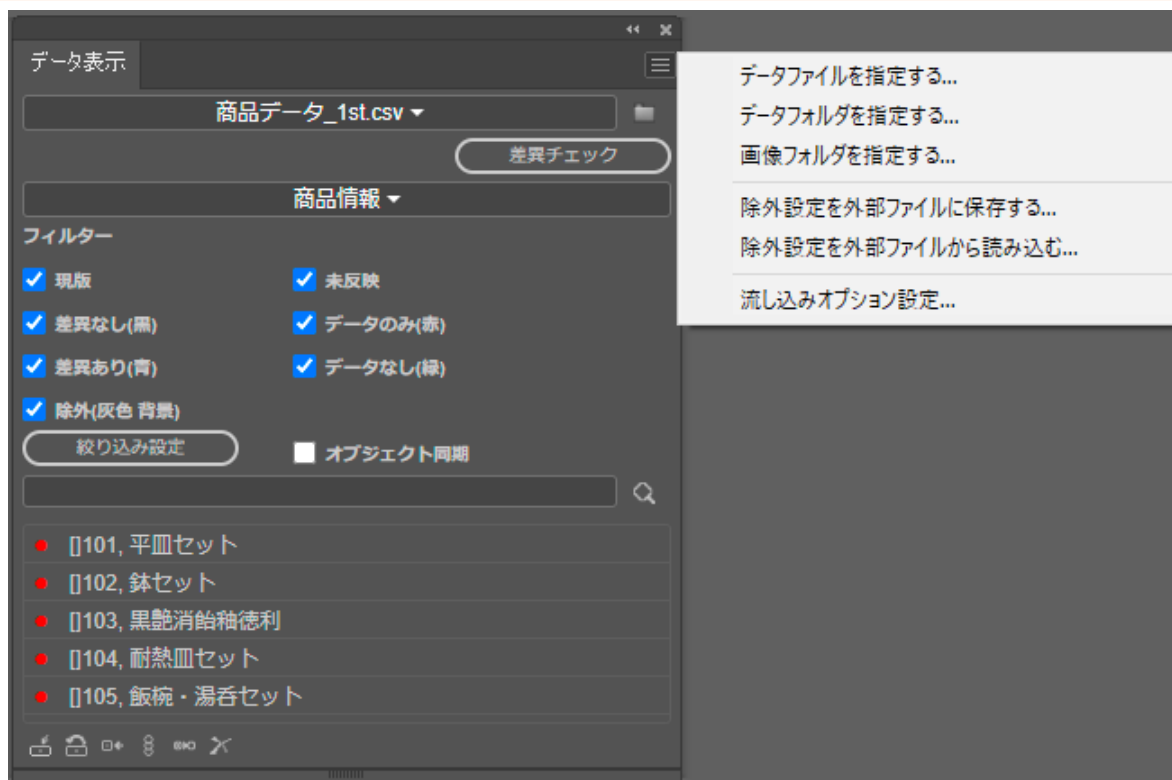


①	パネルメニュー	データ表示パネルの各コマンドが表示されます。 次のページで詳しく説明します。
②	ファイル選択プルダウン	指定されているフォルダに格納されている CSV/XML ファイルを選択します。
③	フォルダ指定ボタン	CSV/XML ファイルが格納されているフォルダを指定します。
④	差異チェックボタン	CSV/XML ファイルとドキュメントを比較し、差異があるかをチェックします。
⑤	データグループ選択プルダウン	指定している XML ファイルに含まれているデータグループを選択します。 CSV ファイルを指定している場合は、「商品情報」のみ選択可能です。
⑥	データ一覧表示フィルター	⑪で表示されるデータを絞り込みます。
⑦	絞り込み設定ボタン	絞り込み設定ダイアログを表示します。
⑧	オブジェクト同期 チェックボックス	⑪の表示内容に合わせて、ドキュメント上の アートオブジェクトの表示状態を切り替えます。
⑨	ワード入力欄	検索ワードを入力します。
⑩	検索ボタン	⑨で入力した内容で⑪のデータを検索します。
⑪	データ一覧	指定されている CSV/XML ファイルの中身を表示します。 XML ファイルを指定している場合は、⑤で選択している データグループの対象データのみ表示されます。
⑫	ボタン群	別表で各ボタンについて説明します。

ボタン群の各機能について説明します。

パネルの左側のボタンから順に説明します。

データ割り付けボタン	ドキュメント上の流し込みテンプレートに対して、⑪で 選択したデータを流し込みます。
差異反映ボタン	⑪で選択しているデータで、ドキュメントと CSV/XML ファイルに差異がある場合、ドキュメント上の オブジェクトに CSV/XML ファイルのデータを 反映します。
フィールド選択ボタン	⑪で選択しているデータをドキュメント上から 探しだし、オブジェクトを選択状態にします。
全選択ボタン	⑪のデータを全て選択/選択解除します。
データ選択ボタン	ドキュメント上で選択しているオブジェクトに対応する ⑪のデータを選択します。
除外設定ボタン	⑪で選択しているデータを差異チェックの対象/対象外 に設定します。



データファイルを指定する	CSV/XML ファイルを指定します。
データフォルダを指定する	CSV/XML ファイルが格納されているフォルダを指定します。 ③と同様の機能です。
画像フォルダを指定する	流し込みに利用する画像フォルダを指定します。
除外設定を外部ファイルに保存する	現在の設定している除外設定を出力します。
除外設定を外部ファイルから読み込む	設定済みの除外設定ファイルを読み込みます。
流し込みオプション設定	流し込みオプションダイアログを表示します。

6.3.4 データ詳細パネル

データ詳細パネルとは、データ表示パネルで選択したデータの各項目を表示するパネルです。



①	データ項目一覧	データ表示パネルで選択したデータの各項目を表示します。
②	ボタン群	別表で各ボタンについて説明します。

ボタン群の各機能について説明します。

パネルの左側のボタンから順に説明します。

データ割り付けボタン	ドキュメント上の流し込みテンプレートに対して、②で選択したデータを流し込みます。
差異反映ボタン	②で選択しているデータ項目で、ドキュメントと CSV/XML ファイルに差異がある場合、ドキュメント上のオブジェクトに CSV/XML ファイルのデータを反映します。
フィールド選択ボタン	②で選択しているデータ項目をドキュメント上から探しだし、オブジェクトを選択状態にします。
データ選択ボタン	ドキュメント上で選択しているオブジェクトに対応する②のデータを選択します。
除外設定ボタン	②で選択しているデータ項目を差異チェックの対象/対象外に設定します。

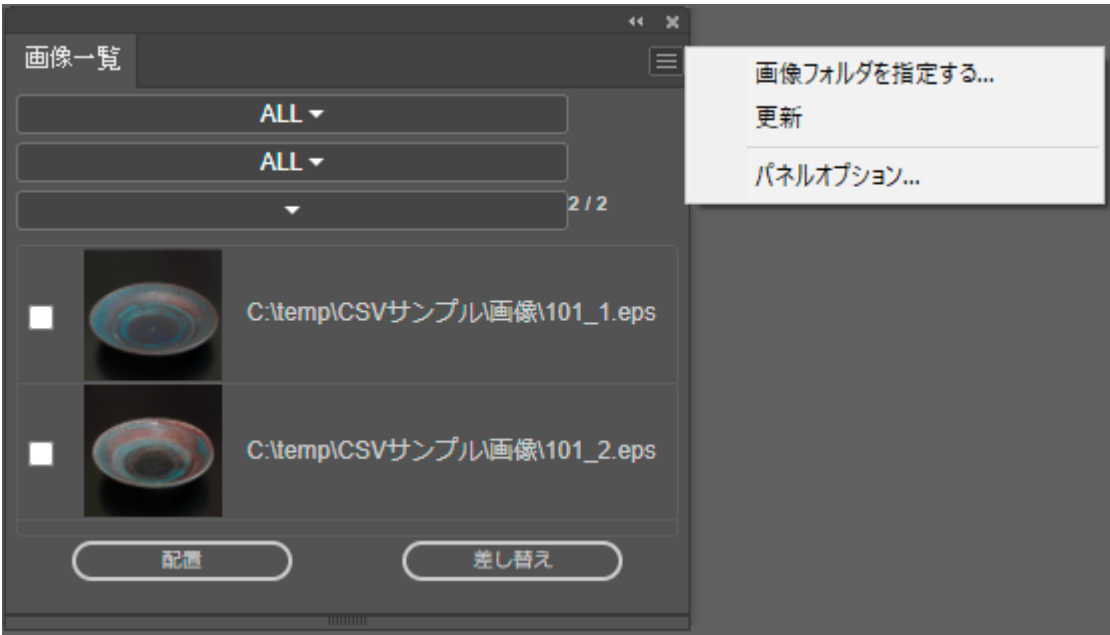
6.3.5 画像一覧パネル

画像一覧パネルとは、流し込みに利用する画像を表示するパネルです。

データ表示パネルで選択したデータに関連した画像しか表示されないのに注意してください。



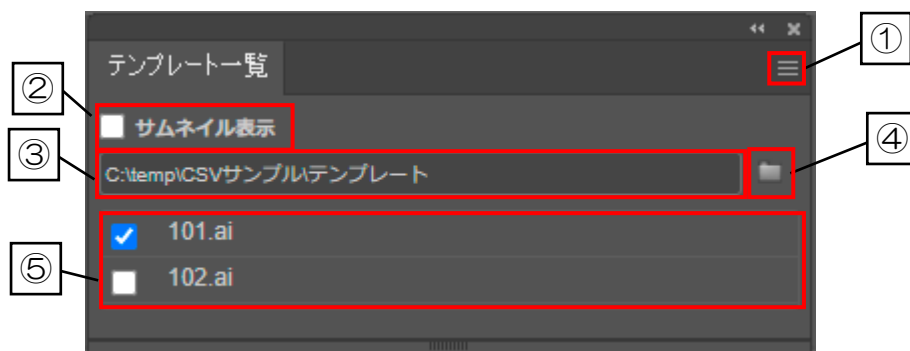
①	パネルメニュー	画像一覧パネルの各コマンドが表示されます。 次のページで詳しく説明します。
②	項目名選択プルダウン	画像項目として設定している項目を選択します。
③	ファイル名選択プルダウン	⑥に表示されている画像のファイル名を選択します。
④	絞り込み条件プルダウン	⑥に表示する画像を絞り込む条件を選択、入力します。 画像のファイル名、フォルダ名の一部を絞り込み対象として使用することが出来ます。
⑤	画像数表示欄	②～④の絞り込み条件の結果、⑥に表示されている画像の数、 選択しているデータに関連する画像の総数を表示します。
⑥	画像一覧	データ表示パネルで選択しているデータに関連する画像を 表示します。 画像のサムネイル、ファイル名、ファイルパスが表示されます。
⑦	配置ボタン	⑥で選択している画像を、ドキュメント上の選択している グラフィックフレームに直接流し込むことが出来ます。
⑧	差し替えボタン	⑦と同様の機能です。



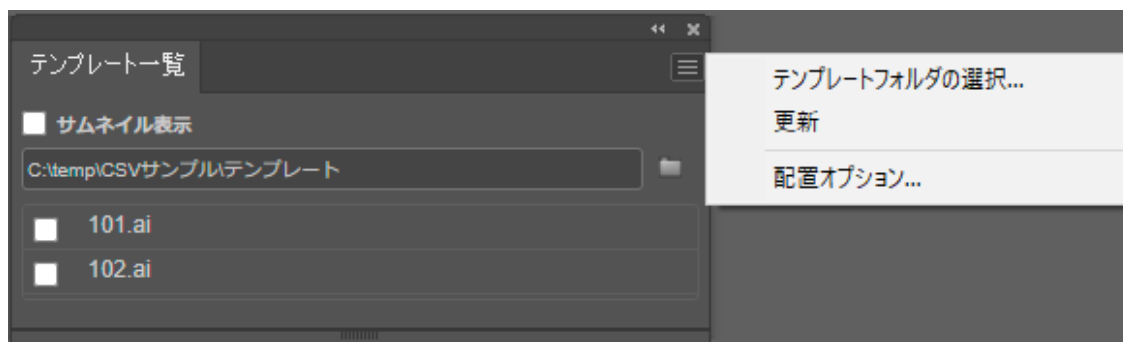
画像フォルダを指定する	流し込みに利用する画像フォルダを指定します。
更新	画像一覧を最新状態に更新します。 画像フォルダに変化があった時に利用します。
パネルオプション	画像一覧パネルの設定ダイアログを表示します。 画像のサムネイル表示/非表示、行のサイズ等を設定することが出来ます。

6.3.6 テンプレート一覧パネル

テンプレート一覧パネルとは、流し込みに利用するテンプレートを設定、表示するパネルです。



①	パネルメニュー	テンプレート一覧パネルの各コマンドが表示されます。 別表で詳しく説明します。
②	サムネイル表示 チェックボックス	⑤に流し込みテンプレートのサムネイルを表示します。
③	フォルダパス表示欄	現在設定している流し込みテンプレートのフォルダパスを 表示します。
④	フォルダ指定ボタン	流し込みテンプレートが格納されているフォルダを指定します。
⑤	テンプレート一覧	現在設定されているフォルダ内に格納されている、 流し込みテンプレートを表示します。

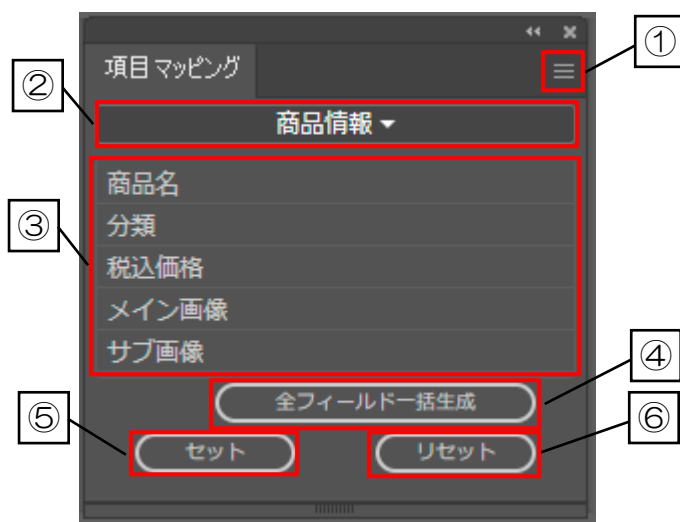


テンプレートフォルダの選択	流し込みテンプレートが格納されているフォルダを指定します。 ④と同様の機能です。
更新	テンプレート一覧を最新状態に更新します。 流し込みテンプレートが格納されているフォルダに変化があった時に利用します。
配置オプション	配置オプションダイアログを表示します。 流し込みテンプレートにデータを流し込んだ際の縮尺等の設定が出来ます。

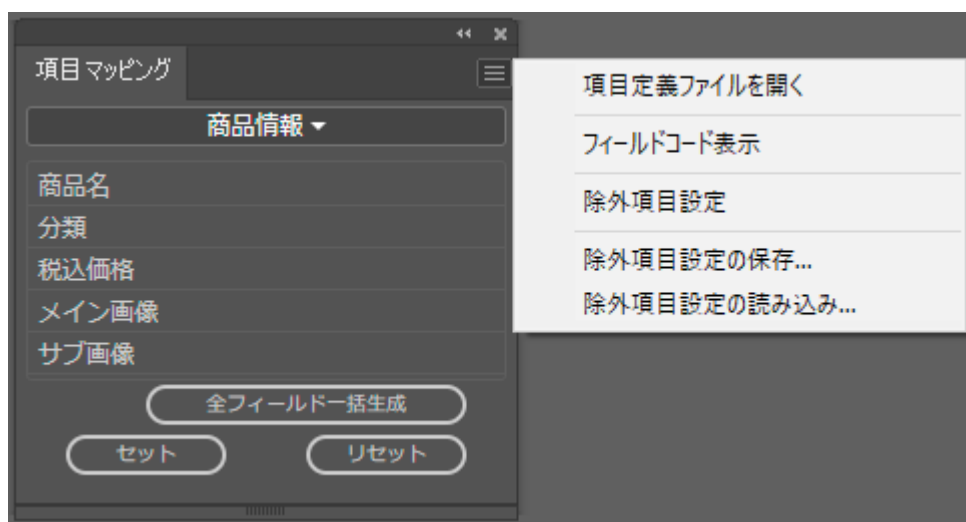
6.3.7 項目マッピングパネル

項目マッピングパネルとは、ドキュメントに配置したオブジェクトと CSV/XML ファイルの項目を関連付けるためのパネルです。

主に流し込みテンプレートを作成する際に利用します。



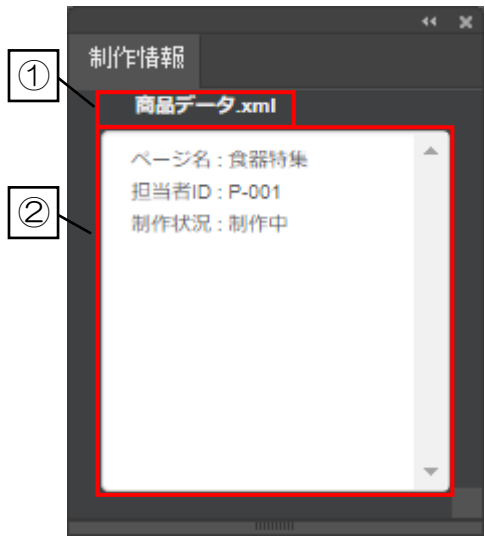
①	パネルメニュー	項目マッピングパネルの各コマンドが表示されます。 別表で詳しく説明します。
②	フォーマット選択プルダウン	データ表示パネルで指定している XML ファイルに 含まれているフォーマットを選択します。 CSV ファイルを指定している場合は、「商品情報」のみ 選択可能です。
③	項目一覧	データ表示パネルで指定している CSV/XML ファイルの 項目が表示されます。
④	全フィールド一括生成ボタン	全てのフィールドを作成し、ドキュメント上に配置します。
⑤	セットボタン	ドキュメント上のオブジェクトに⑥で選択している項目を マッピングします。
⑥	リセットボタン	項目マッピング済みのドキュメント上のオブジェクトを 選択し、このボタンを押すことでマッピングを解除します。



項目定義ファイルを開く	項目のみを記載した XML ファイルを読み込みます。 ※CSV を使用する際は使用しません。
フィールドコード表示	各項目に割り当てられているコードを表示します。
除外項目設定	項目単位に除外設定が出来るようになります。
除外項目設定を保存	現在設定している除外項目設定を出力します。
除外項目設定の読み込み	設定済みの除外項目設定ファイルを読み込みます。

6.3.8 制作情報パネル

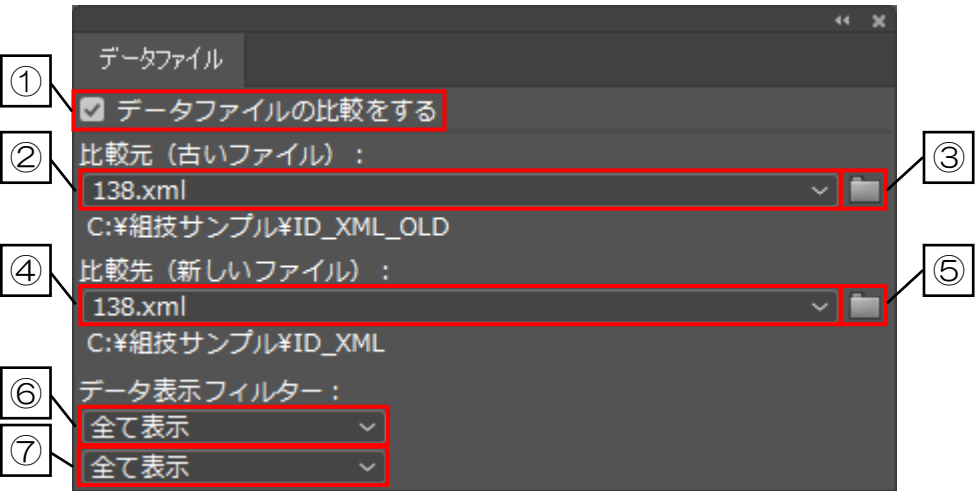
制作情報パネルとは、XML ファイルに記載されている制作情報を表示するパネルです。
XML ファイルのみで使用するパネルです。



①	ファイル名表示欄	現在選択している XML ファイルのファイル名を表示します。
②	制作情報一覧	現在選択している XML ファイルに含まれる情報を表示します。

6.3.9 データファイルパネル

データファイルパネルとは、2つのXMLファイルを比較するパネルです。
XMLファイルのみで使用するパネルです。



①	データファイル比較チェックボックス	比較元ファイルと比較先ファイルを比較します。
②	比較元ファイル選択プルダウン	比較元ファイルを選択します。
③	比較元フォルダ指定ボタン	比較元となる古いファイルが格納されているフォルダを指定します。
④	比較先ファイル選択プルダウン	比較先ファイルを選択します。
⑤	比較先フォルダ指定ボタン	比較先となる新しいファイルが格納されているフォルダを指定します。
⑥	表示データファイル選択プルダウン	データ表示パネルのデーター一覧に表示するデータファイルを選択します。
⑦	表示データ選択プルダウン	データ表示パネルのデーター一覧に表示するデータを表示します。

6.4 ダイアログについて

組技で表示されるダイアログについて説明します。

6.4.1 バージョン情報ダイアログ

Windows の場合は、ヘルプ > 組技について > バージョン情報

Mac の場合は、Illustrator > 組技について > バージョン情報 をクリックすることで表示されるダイアログです。

組技のバージョン情報を表示することが出来ます。



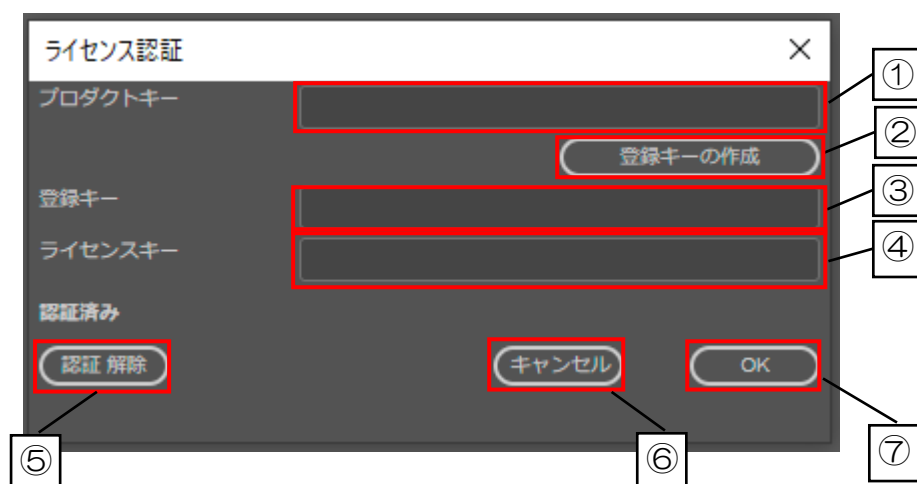
① 閉じるボタン	バージョン情報ダイアログを閉じます。
----------	--------------------

6.4.2 ライセンスダイアログ

Windows の場合は、ヘルプ > 組技について > ライセンス

Mac の場合は、Illustrator > 組技について > ライセンス をクリックすることで表示されるダイアログです。

ライセンスの仮認証、本認証をすることが出来ます。



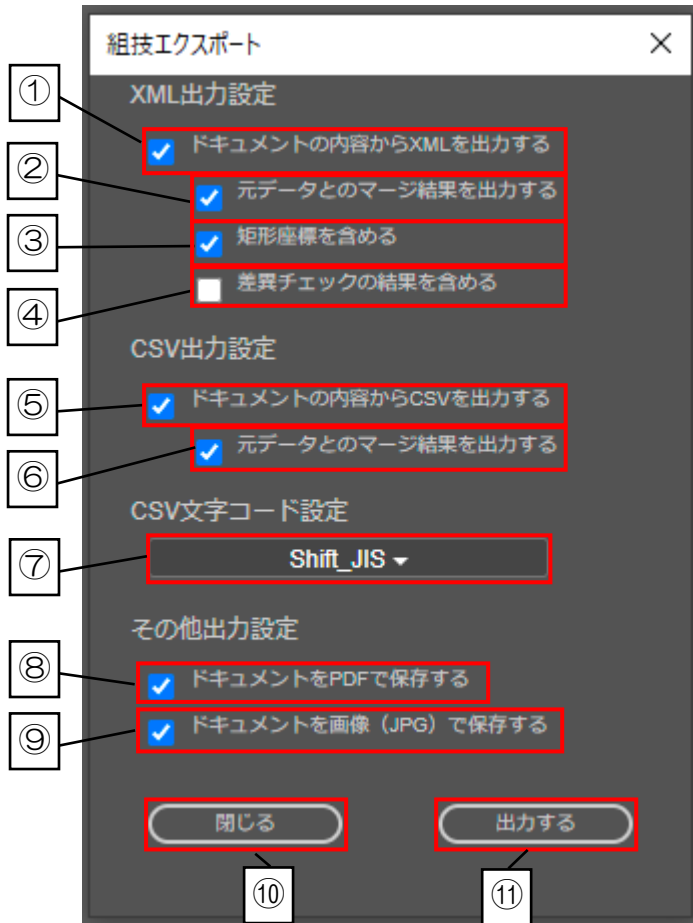
①	プロダクトキー入力欄	プロダクトキーを入力します。
②	登録キーの作成ボタン	①で入力された文字列を元に、登録キーを作成します。
③	登録キー入力欄	②をクリックすることで登録キーが入力されます。 ①に正しくないプロダクトキーを入力し、②をクリックすると「!err」と表示されます。 本認証後は入力が出来なくなります。
④	ライセンスキー入力欄	ライセンスキーを入力します。 本認証後は入力が出来なくなります。
⑤	認証解除ボタン	本認証を解除します。 本認証されている場合のみ利用できます。
⑥	キャンセルボタン	ライセンスダイアログを閉じます。
⑦	OK ボタン	仮認証、本認証を実施します。 既に仮認証、本認証済みの場合は、ライセンスダイアログを閉じます。

6.4.3 エクスポートダイアログ

ウィンドウ > 組技 > 組技 エクスポート をクリックすることで表示されるダイアログです。

ドキュメントのデータをもとに CSV/XML ファイル、画像、PDF をダウンロードすることが出来ます。

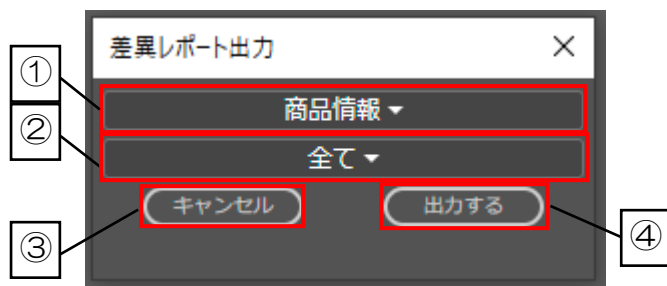
差異チェック実施後でないと、各データの出力が出来ないため、注意してください。



①	ドキュメントの内容から XML を出力するチェックボックス	ドキュメントに流し込まれたデータを XML として出力します。
②	元データとのマージ結果を出力するチェックボックス	読み込んでいる CSV/XML ファイルとドキュメントに流し込まれたデータの内容を組み合わせます。
③	短形座標を含めるチェックボックス	各フレームのサイズを XML に追加します。
④	差異チェックの結果を含めるチェックボックス	差異チェックの結果を XML に追加します。
⑤	ドキュメントの内容から CSV を出力するチェックボックス	ドキュメントに流し込まれたデータを CSV として出力します。
⑥	元データとのマージ結果を出力するチェックボックス	読み込んでいる CSV/XML ファイルとドキュメントに流し込まれたデータの内容を組み合わせます。
⑦	CSV 文字コード選択プルダウン	出力する CSV の文字コードを選択します。 ⑤がチェックされている場合のみ有効です。
⑧	ドキュメントを PDF で保存するチェックボックス	ドキュメントを PDF として出力します。
⑨	ドキュメントを画像(JPG)で保存するチェックボックス	ドキュメントを画像(JPG)として出力します。
⑩	閉じるボタン	エクスポートダイアログを閉じます。
⑪	出力するボタン	設定した内容でファイルを出力します。

6.4.4 差異レポート出力選択ダイアログ

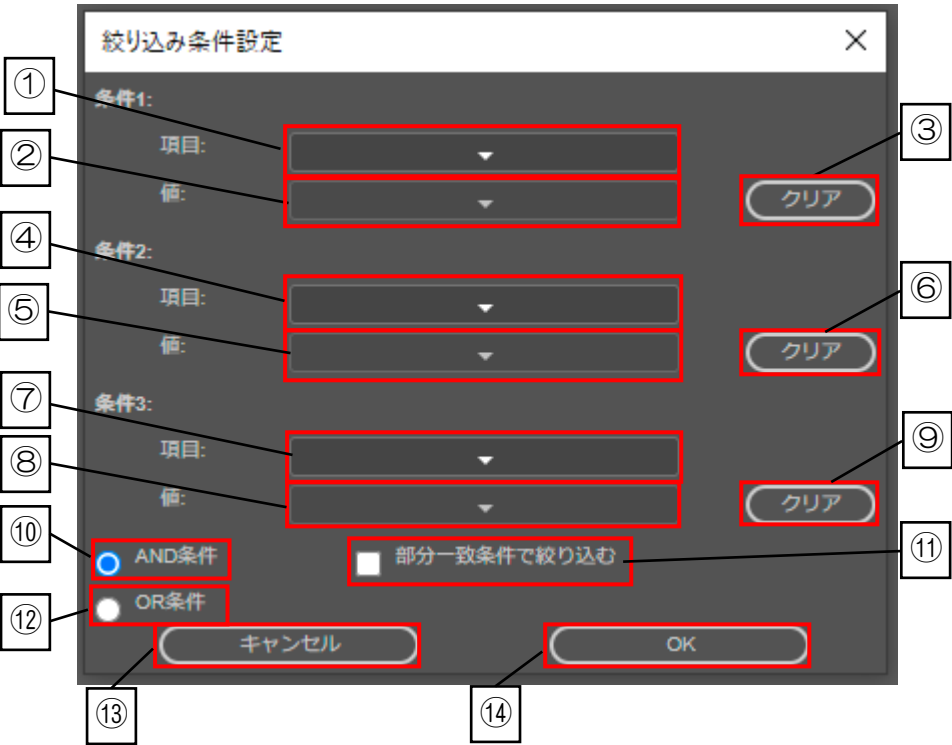
ウィンドウ > 組技 > 差異レポート出力 をクリックすることで表示されるダイアログです。



①	データグループ選択プルダウン	データグループを選択します。
②	出力対象データ選択プルダウン	全てのデータを出力するか、差異のあるデータのみ出力するかを選択します。
③	キャンセルボタン	差異レポート出力選択ダイアログを閉じます。
④	OK ボタン	差異レポートを出力します。

6.4.5 絞り込み条件設定ダイアログ

データ表示パネルの「絞り込み設定」ボタンをクリックすることで表示されるダイアログです。
大規模で分業する場合などに、自分の作業担当分のデータのみを表示して作業出来ます。
条件は3 つまで設定することができ、「OK」ボタンをクリックすることで、
データ表示パネルのデーター一覧の内容が絞り込まれます。

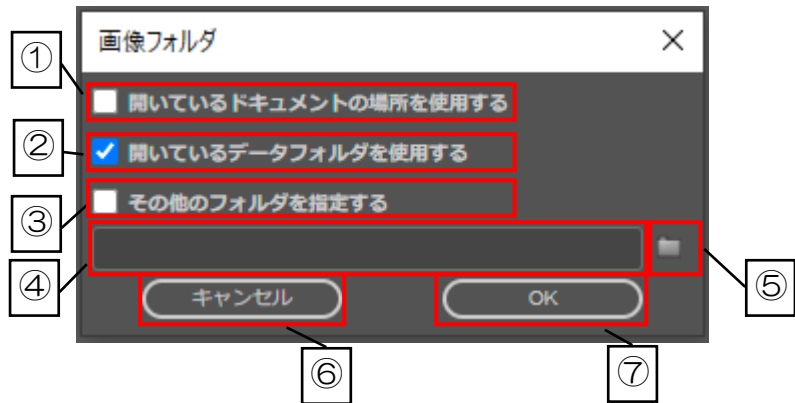


①	条件 1 項目選択プルダウン	1 つ目の条件にする項目を選択します。
②	条件 1 値入力欄	1 つ目の条件の値を入力します。
③	条件 1 クリアボタン	1 つ目の条件を初期化します。
④	条件 2 項目選択プルダウン	2 つ目の条件にする項目を選択します。
⑤	条件 2 値入力欄	2 つ目の条件の値を入力します。
⑥	条件 2 クリアボタン	2 つ目の条件を初期化します。
⑦	条件 3 項目選択プルダウン	3 つ目の条件にする項目を選択します。
⑧	条件 3 値入力欄	3 つ目の条件の値を入力します。
⑨	条件 3 クリアボタン	3 つ目の条件を初期化します。
⑩	AND 条件で絞り込む ラジオボタン	3 つの条件を全て満たすデータを絞り込みます。
⑪	部分一致条件で絞り込む チェックボックス	それぞれ入力した条件の値が、部分一致しているものを 絞り込みます。
⑫	OR 条件で絞り込むラジオボタン	3 つの条件のどれかを満たすデータを絞り込みます。
⑬	キャンセルボタン	絞り込み条件設定ダイアログを閉じます。 設定は保存されません。
⑭	OK ボタン	絞り込み条件設定ダイアログを閉じます。 設定は保存されます。

6.4.6 画像フォルダ設定ダイアログ

データ表示パネルのメニューを開き、「画像フォルダを指定する」をクリック、
もしくは画像一覧パネルのメニューを開き、「画像フォルダを指定する」をクリックすることで
表示されるダイアログです。

どのフォルダから画像を読み込むかを設定します。

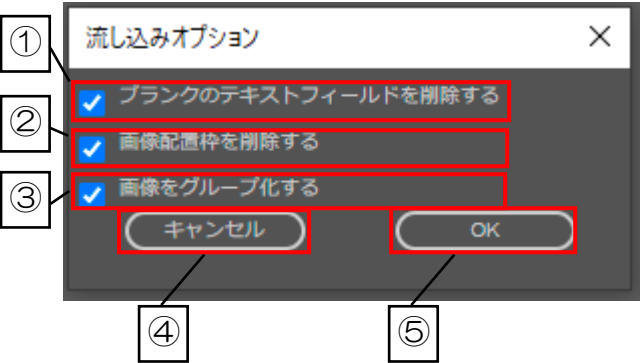


①	開いているドキュメントの場所を使用する チェックボックス	現在開いているドキュメントの フォルダ以下にある画像を読み込みます。
②	開いているデータフォルダを使用する チェックボックス	現在指定しているデータフォルダ以下にある画像 を読み込みます。
③	その他フォルダを指定する チェックボックス	フォルダを指定出来るようになり、 指定したフォルダ以下の画像を読み込みます。 ⑤が有効になります。
④	フォルダパス表示欄	⑤で指定しているフォルダパスが表示されます。
⑤	フォルダ指定ボタン	画像が格納されているフォルダを指定します。
⑥	キャンセルボタン	画像フォルダ設定ダイアログを閉じます。 設定は保存されません。
⑦	OK ボタン	画像フォルダ設定ダイアログを閉じます。 設定は保存されます。

6.4.7 流し込みオプションダイアログ

データ表示パネルのメニューを開き、「流し込みオプション」をクリックすることで表示されるダイアログです。

流し込みテンプレートやレイアウト枠にデータを流し込んだ際の動きを設定します。

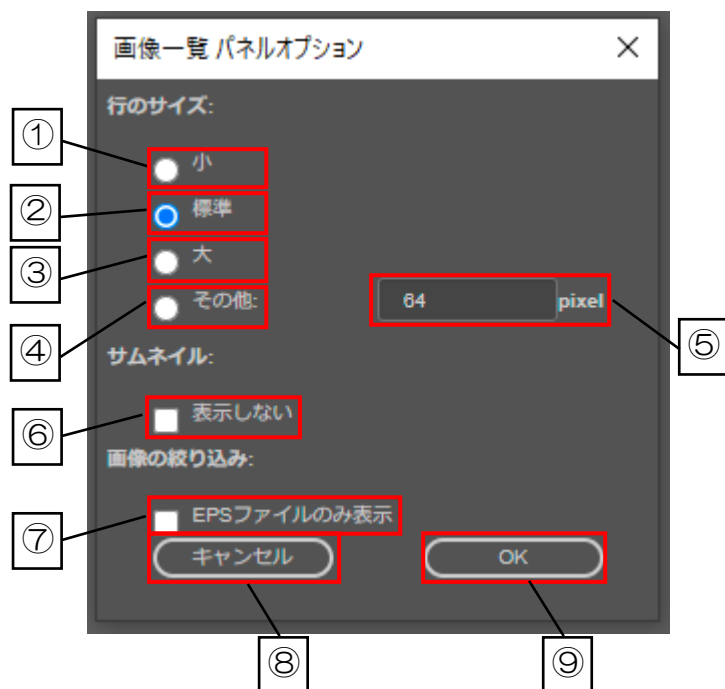


①	空白のテキストフィールドを削除する	データを流し込んだ結果、テキストフレームの内容が空になる場合、テキストフレームを削除します。
②	画像配置枠を削除する	データを流し込んだ結果、グラフィックフレームが空になる場合、グラフィックフレームを削除します。
③	画像をグループ化する	流し込んだ画像がレイヤー上でグループ化します。
④	キャンセルボタン	流し込みオプションダイアログを閉じます。 設定は保存されません。
⑤	OK ボタン	流し込みオプションダイアログを閉じます。 設定は保存されます。

6.4.8 画像一覧パネルオプションダイアログ

画像一覧パネルのメニューを開き、「パネルオプション」をクリックすることで表示されるダイアログです。

画像一覧パネルの各種設定をします。

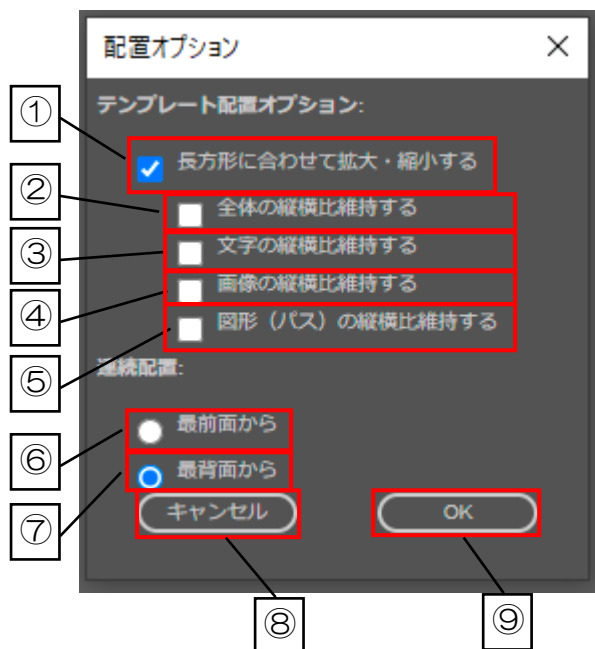


①	小ラジオボタン	画像一覧パネルに表示される、各画像のサムネイルサイズを小サイズにします。
②	標準ラジオボタン	画像一覧パネルに表示される、各画像のサムネイルサイズを標準サイズにします。
③	大ラジオボタン	画像一覧パネルに表示される、各画像のサムネイルサイズを大サイズにします。
④	その他ラジオボタン	画像一覧パネルに表示される、各画像のサムネイルサイズを⑤で入力したサイズにします。
⑤	ピクセル数入力欄	画像一覧パネルに表示される、各画像のサムネイルサイズを入力します。 ④が選択されている場合のみ、入力できます。
⑥	サムネイル非表示チェックボックス	画像一覧パネルの各画像サムネイルを非表示にします。
⑦	EPS ファイル絞り込みチェックボックス	取り扱う画像を EPS のみにします。
⑧	キャンセルボタン	画像一覧パネルオプションダイアログを閉じます。 設定は保存されません。
⑨	OK ボタン	画像一覧パネルオプションダイアログを閉じます。 設定は保存されます。

6.4.9 配置オプションダイアログ

テンプレート一覧パネルのメニューを開き、「配置オプション」をクリックすることで表示されるダイアログです。

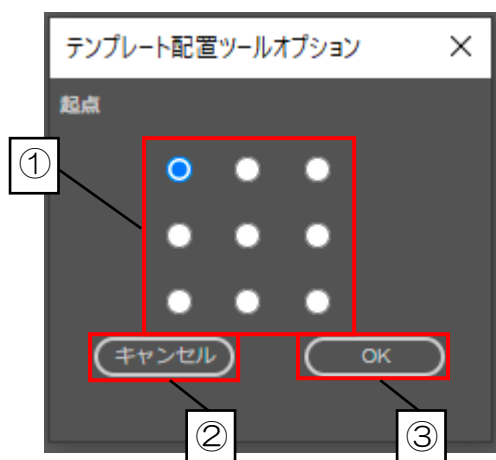
レイアウト枠に対して、流し込みテンプレートを配置する際のテキストフレームやグラフィックフレームの縮尺に関する設定をします。



①	長方形に合わせて拡大・縮小する チェックボックス	レイアウト枠の大きさに合わせて、 流し込みテンプレートを拡大・縮小します。
②	全体の縦横比を維持する チェックボックス	全体の縦横比を維持しつつ、レイアウト枠の 大きさに合わせて、流し込みテンプレートを拡大・縮小します。
③	文字の縦横比を維持する チェックボックス	文字の縦横比を維持しつつ、レイアウト枠の 大きさに合わせて、流し込みテンプレートを拡大・縮小します。
④	画像の縦横比を維持する チェックボックス	画像の縦横比を維持しつつ、レイアウト枠の 大きさに合わせて、流し込みテンプレートを拡大・縮小します。
⑤	図形(パス)の縦横比を維持する チェックボックス	図形の縦横比を維持しつつ、レイアウト枠の 大きさに合わせて、流し込みテンプレートを拡大・縮小します。 ※流し込みテンプレートに図形が配置されている場合にのみ 有効です。 ※自動配置されるデータに関連付く画像は、 このオプションには影響されません。
⑥	最前面からラジオボタン	複数のデータを連続で流し込む場合、 最前面から順に流し込みます。
⑦	最背面からラジオボタン	複数のデータを連続で流し込む場合、 最背面から順に流し込みます。
⑧	キャンセルボタン	配置オプションダイアログを閉じます。 設定は保存されません。
⑨	OK ボタン	配置オプションダイアログを閉じます。 設定は保存されます。

6.4.10 テンプレート配置ツールオプションダイアログ

ツールバーの「テンプレート配置」ツールをダブルクリックすることで表示されるダイアログです。流し込みテンプレートをドキュメント上に配置する際の起点を設定します。

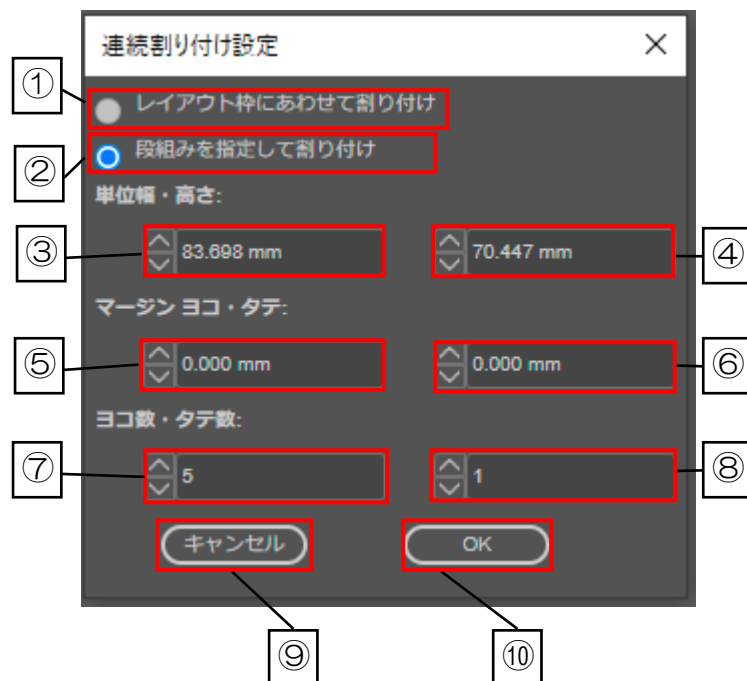


①	起点選択ラジオボタン	カーソル位置を流し込みテンプレートのどの起点とするかを設定します。 「左上」「中上」「右上」「左中」「中央」「中右」「左下」「中下」「右下」から選択することが出来ます。
②	OK ボタン	テンプレート配置ツールオプションダイアログを閉じます。 設定は保存されます。
③	キャンセルボタン	テンプレート配置ツールオプションダイアログを閉じます。 設定は保存されません。

6.4.11 連続割り付け設定ダイアログ

データ表示パネルからデータを複数選択し、「データの割り付け」ボタンをクリックすることで表示されるダイアログです。

複数の流し込みを行う際の設定をします。



①	レイアウト枠に合わせて割り付け ラジオボタン	レイアウト枠に対してデータを流し込みます。 レイアウト枠を選択していない場合は、このラジオボタンは 選択出来ません。
②	段組みを指定して割り付け ラジオボタン	段組みを指定して流し込みます。 1つの流し込みテンプレートを複製して、 ③～⑧の設定に従って縦・横に流し込みます。
③	単位幅入力欄	流し込みテンプレートの横幅を設定します。 初期値から変更することは基本的にありません。 ②が選択されていない場合は、設定出来ません。
④	高さ入力欄	流し込みテンプレートの高さを設定します。 初期値から変更することは基本的にありません。 ②が選択されていない場合は、設定出来ません。
⑤	マージンヨコ入力欄	流し込みテンプレートを複製して張り付ける際に、 テンプレート同士の横間隔を設定します。 ②が選択されていない場合は、設定出来ません。
⑥	マージンタテ入力欄	流し込みテンプレートを複製して張り付ける際に、 テンプレート同士の縦間隔を設定します。 ②が選択されていない場合は、設定出来ません。
⑦	ヨコ数入力欄	横にいくつ流し込むかを設定します。 ②が選択されていない場合は、設定出来ません。
⑧	タテ数入力欄	縦にいくつ流し込むかを設定します。 ②が選択されていない場合は、設定出来ません。
⑨	キャンセルボタン	連続割り付け設定ダイアログを閉じます。 流し込みは実施しません。
⑩	OK ボタン	連続割り付け設定ダイアログを閉じます。 流し込みを実施、もしくは対象データ一覧ダイアログを 開きます。

6.4.12 対象データ一覧ダイアログ

連続割り付け設定ダイアログで「レイアウト枠に合わせて割り付け」ラジオボタンを選択して「OK」ボタンを押した際に表示されるダイアログです。

各レイアウト枠に対して、どのデータを流し込むかを設定します。



①	データ一覧	流し込み対象のデータが表示されます。 「[]」内の数字がレイアウト枠の地番になっており、どのレイアウト枠にどのデータを流し込むかの設定を行います。
②	データ先頭並び替えボタン	①で選択しているデータを先頭に並び替えます。
③	データ前並び替えボタン	①で選択しているデータを 1 つ前に並び替えます。
④	データ後並び替えボタン	①で選択しているデータを 1 つ後ろに並び替えます。
⑤	データ最後尾並び替えボタン	①で選択しているデータを最後尾に並び替えます。
⑥	キャンセルボタン	対象データ一覧ダイアログを閉じます。 流し込みは実施しません。
⑦	OK ボタン	対象データ一覧ダイアログを閉じます。 流し込みを実施します。

7 データ準備

組技では流し込みデータとして CSV ファイル、XML ファイルが利用出来ます。

ここでは組技で使用する流し込みデータの作成手順、流し込みテンプレートの作成手順について説明します。

※ 説明は CSV のみ記載します。

※ ここで作成したデータは「組技サンプル」として同梱しています。

7.1 データファイル作成手順

流し込みに使用する CSV ファイルと合わせて必要な設定ファイルの作成手順について説明します。

7.1.1 CSV ファイル作成手順

CSV ファイルは 1 行目に項目名、2 行目以降に各データを入力します。

項目名には制約があり、1 列目は「ID」、2 列目は「名称」に必ずしてください。

「ID」「名称」列の値は、流し込みに使用することが出来ません。

文字コードは「SJIS」「UTF-8」「UTF-8 BOM」のいずれかにしてください。

文字コードが「UTF-8」の場合、Excel で表示した際に文字化けしてしまうので注意してください。

下図は CSV ファイルの例です。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R
1	ID	名称	商品コード	商品名	分類	メイン画像	サブ画像	グループキー	個数	税込価格	汎用値01	汎用値02	商品コード列名	個数列名	税込価格列名	汎用列名01	汎用列名02	テンプレート名
2	101	KW-101	KW-101	平皿	土耳其青釉	101_1.eps	101_2.eps	G-001	1	"5,000"			商品コード	枚数	税込価格	備考		テンプレート C.ai
3	102	KW-102	KW-102	平皿	土耳其青釉	101_1.eps	101_2.eps	G-001	2	"9,500"	1枚より500円お得です		商品コード	枚数	税込価格	備考		テンプレート C.ai
4	103	KW-103	KW-103	平皿	土耳其青釉	101_1.eps	101_2.eps	G-001	3	"13,000"	1枚より2,000円お得です		商品コード	枚数	税込価格	備考		テンプレート C.ai
5	104	KW-104	KW-104	鉢	土耳其青釉	102_1.eps	102_2.eps	G-002	1	"2,000"			商品コード	個数	税込価格			テンプレート C.ai
6	105	KW-105	KW-105	鉢	土耳其青釉	102_1.eps	102_2.eps	G-002	2	"4,000"			商品コード	個数	税込価格			テンプレート C.ai
7	106	KW-106	KW-106	鉢	土耳其青釉	102_1.eps	102_2.eps	G-002	3	"6,000"			商品コード	個数	税込価格			テンプレート C.ai
8	107	KW-107	KW-107	鉢	土耳其青釉	102_1.eps	102_2.eps	G-002	4	"8,000"			商品コード	個数	税込価格			テンプレート C.ai
9	108	KW-108	KW-108	徳利	黒龍消胎釉	103_1.eps				"4,000"								テンプレート A.ai
10	109	KW-109	KW-109	耐熱皿セット	内粉引	104_1.eps	104_2.eps			"10,000"								テンプレート B.ai
11	110	KW-110	KW-110	飯椀・湯呑セット	長石釉	105_1.eps	105_2.eps			"16,500"								テンプレート B.ai

表組流し込みを行う場合は表に流し込む単位にユニークな値を設定してください。

例では「グループキー」という列を設定しています。

7.1.2 画像項目定義ファイル作成手順

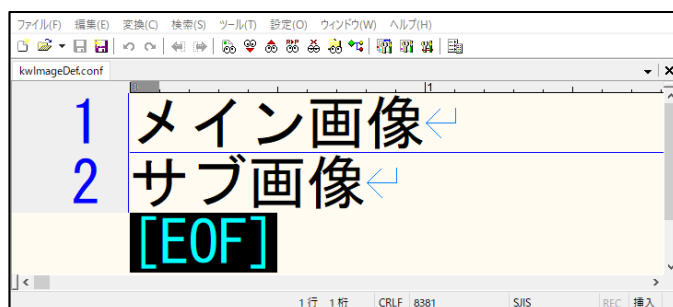
流し込みデータとして CSV ファイルを使用する際には、画像の項目名を記載した

「画像項目定義ファイル」が必要です。

このファイルが存在することで、画像の流し込みと画像一覧パネルでの画像表示が出来るようになります。

ファイル名は必ず「kwImageDef.conf」、文字コードは必ず「UTF-8」にしてください。

下図は 7.1.1 で作成した CSV ファイルに対応した、画像項目定義ファイルの例です。



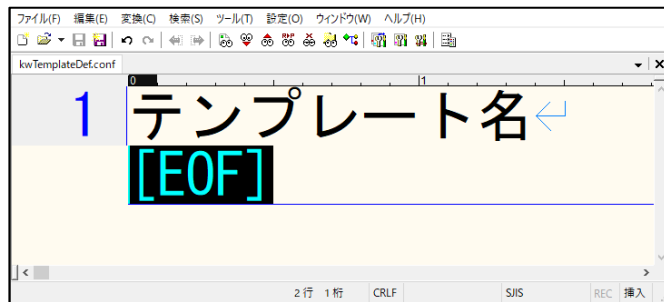
7.1.3 テンプレート項目定義ファイル作成手順

流し込みデータとして CSV ファイルを使用する際には、流し込みテンプレートの項目名を記載した「テンプレート項目定義ファイル」が必要です。

このファイルが存在することで、レイアウト枠を使用した流し込みの際に、データごとにテンプレートを変えることが出来るようになります。

ファイル名は必ず「kwTemplateDef.conf」、文字コードは必ず「UTF-8」にしてください。

下図は 7.1.1 で作成した CSV ファイルに対応した、テンプレート項目定義ファイルの例です。



7.1.4 文字コード定義ファイル作成手順

流し込みデータとして CSV ファイルを使用する際には、CSV の文字コードを記載した「文字コード定義ファイル」が必要です。

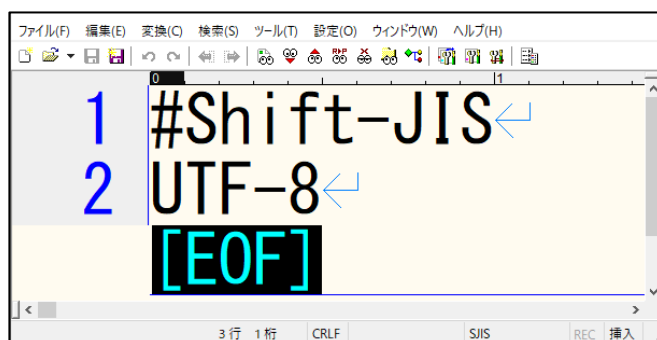
このファイルが存在することで、CSV ファイルを正しく読み込むことが出来るようになります。

文字コードは「Shift-JIS」と「UTF-8」を設定することができ、

CSV ファイルと違う文字コードの先頭に「#」を付けてください。

ファイル名は必ず「kwEncodeDef.conf」、文字コードは必ず「UTF-8」にしてください。

下図は 7.1.1 で作成した CSV ファイルに対応した、文字コード定義ファイルの例です。



7.1.5 表組設定ファイル作成手順

表組データを流し込む際には、表組の各項目を記載した「表組設定ファイル」が必要です。

このファイルが存在することで、複数の商品データを 1 つのグループとして流し込むことが出来るようになります。

ファイル名は必ず「dataDefinition.json」、文字コードは必ず「UTF-8」にしてください。

また、このファイルは「config」フォルダ内に必ず配置してください。

※表組機能を利用しない場合は config フォルダを配置しないようにしてください。

下図は 7.1.1 で作成した CSV ファイルに対応した、表組設定ファイルの例です。

```

1 {
2   "table": {
3     "layerName": "表オブジェクトレイヤー",
4     "groupKey": "グループキー",
5     "columns": [
6       ["商品コード列名", "商品コード"],
7       ["個数列名", "個数"],
8       ["汎用列名01", "汎用値01"],
9       ["汎用列名02", "汎用値02"],
10      ["税込価格列名", "税込価格"]
11    ]
12  }
13 }
[EOF]

```

各設定項目の説明は下記になります。

layerName	流し込みテンプレート内の表オブジェクトが存在するレイヤー名を指定します。
groupKey	1 つの表オブジェクトのデータとして識別するためのグループキーの列名を指定します。
columns	表組データのヘッダー、ボディに対応する列名を指定します。 記載の仕方は下記のようにしてください。 [“ヘッダー列名” , “ボディ列名”]

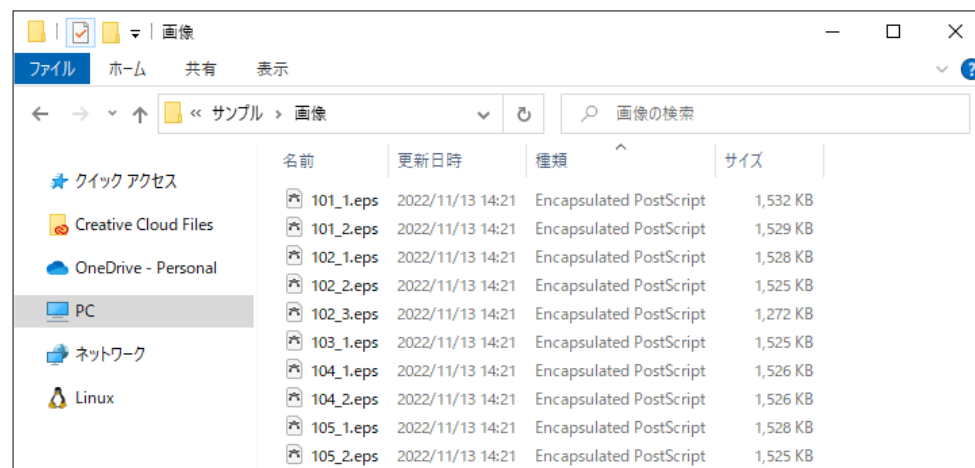
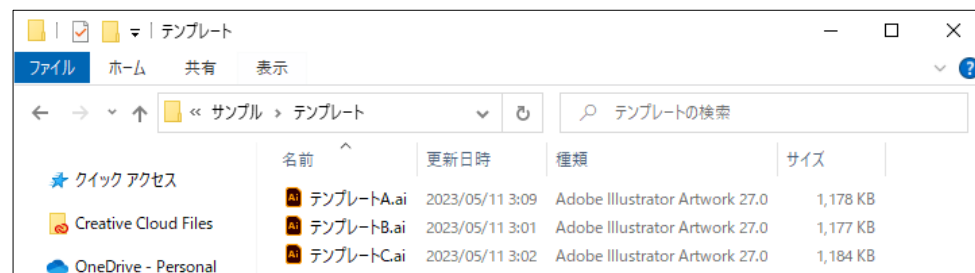
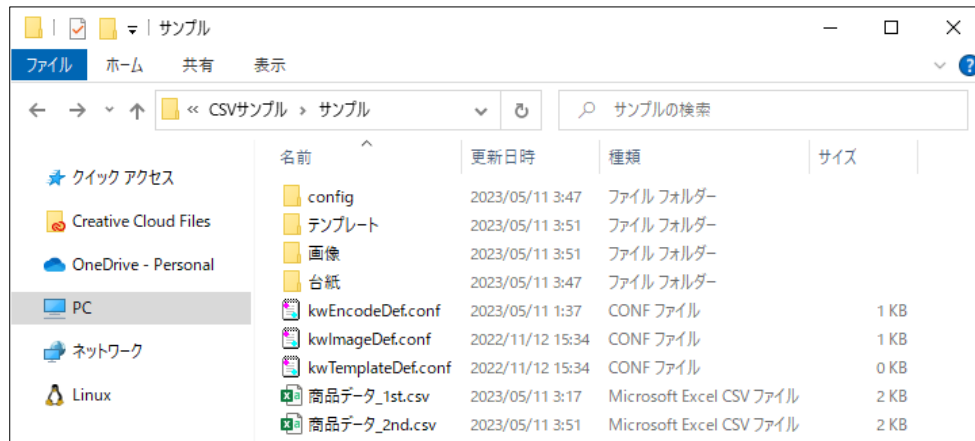
7.1.6 フォルダの構成

ここまでで作成した CSV ファイル、表組設定ファイル以外の定義ファイルは同じフォルダに格納します。
表組設定ファイルは「config」フォルダ内に格納します。

また、流し込みに使用する画像も同じフォルダ内に格納しておくことと組技で使用する際に便利です。

※CSV ファイル名、画像ファイル名、画像フォルダ名は自由に変更してください。

※台紙フォルダは本来不要なため、説明を割愛します。



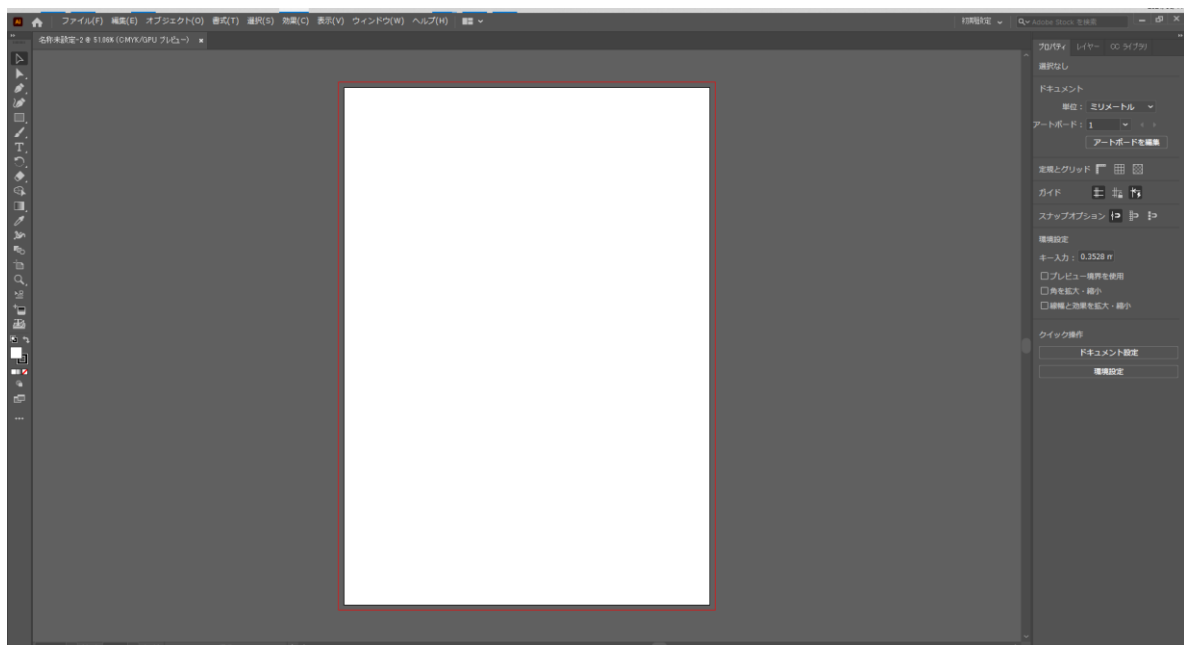
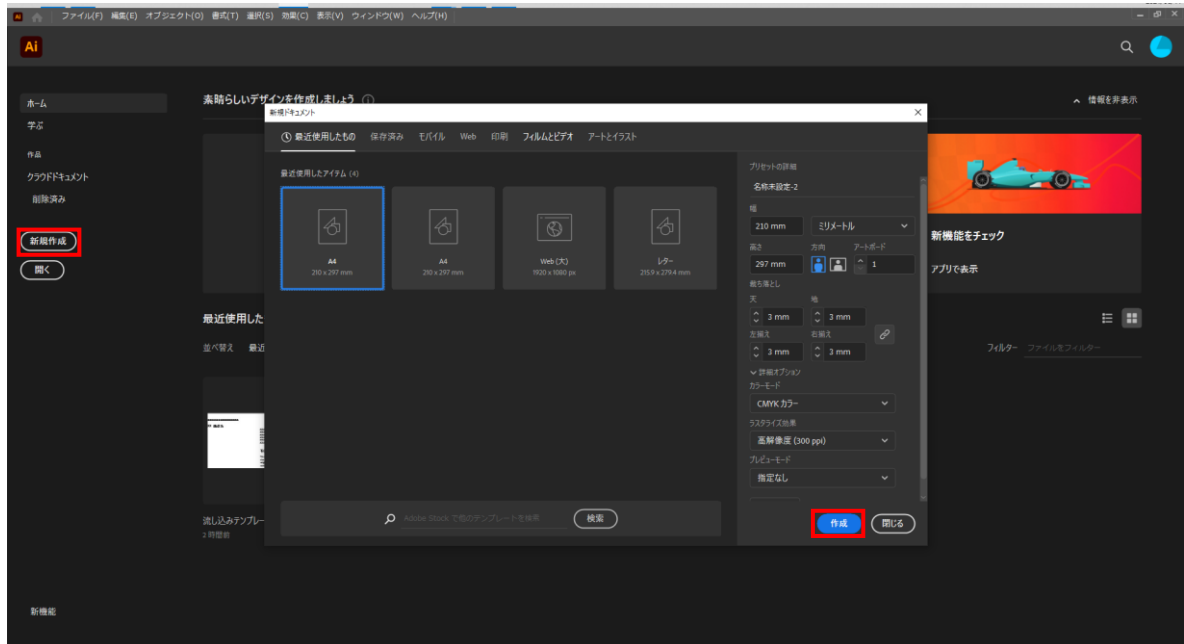
7.2 流し込みテンプレート作成手順

流し込みテンプレートは自由なレイアウトで作ることが出来ます。

ここではテキストフレームとグラフィックフレームが混在する流し込みテンプレートを例に説明します。

7.2.1 新規ドキュメント作成

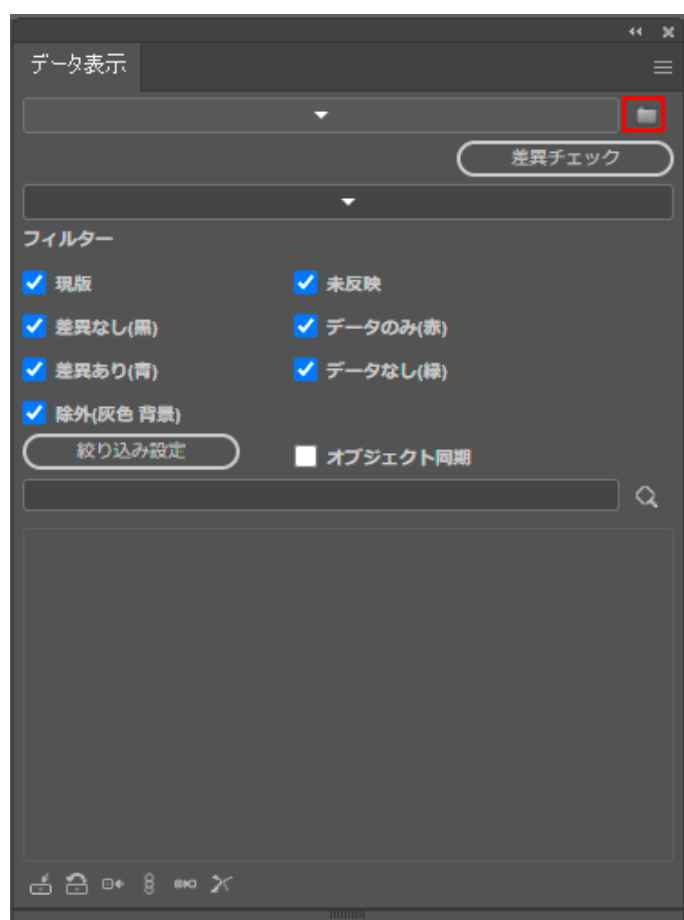
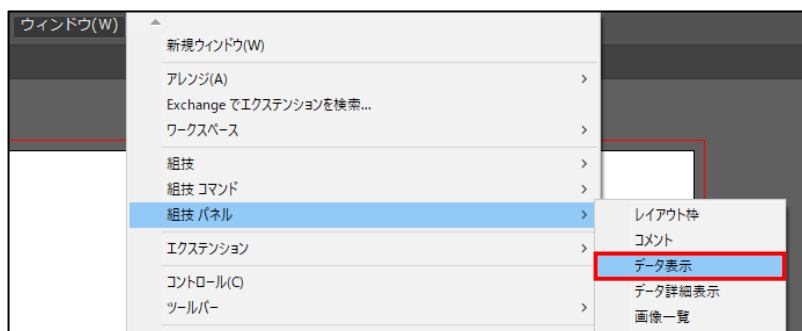
Illustrator を起動し、適宜サイズを選択してドキュメントを作成します。

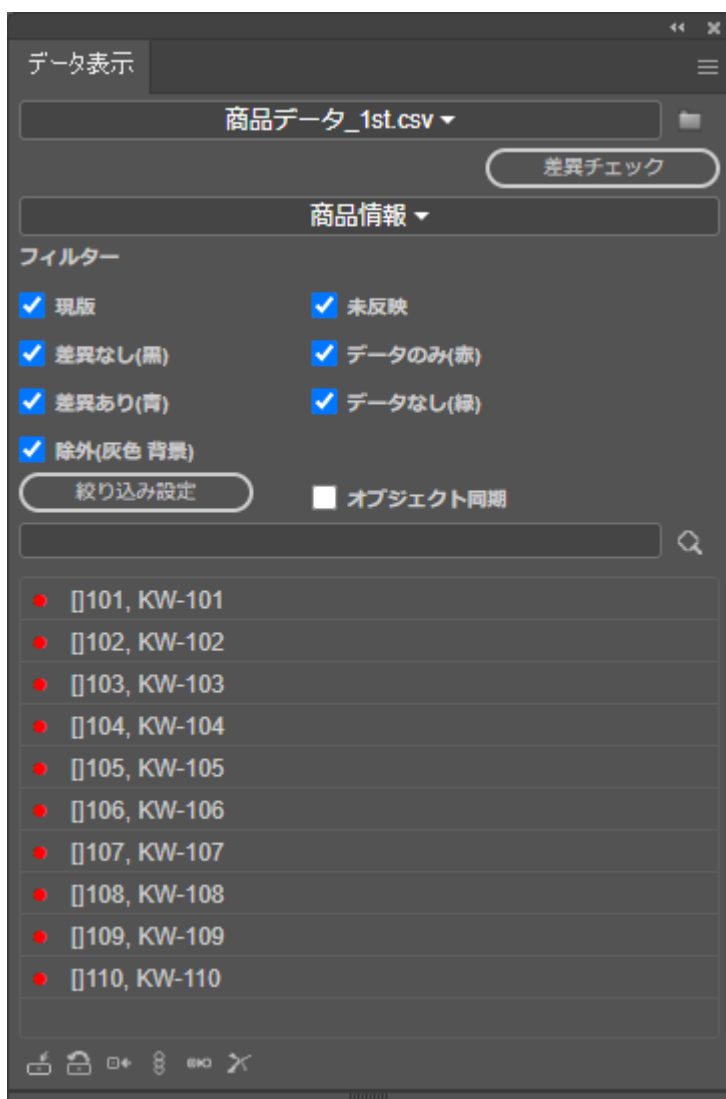
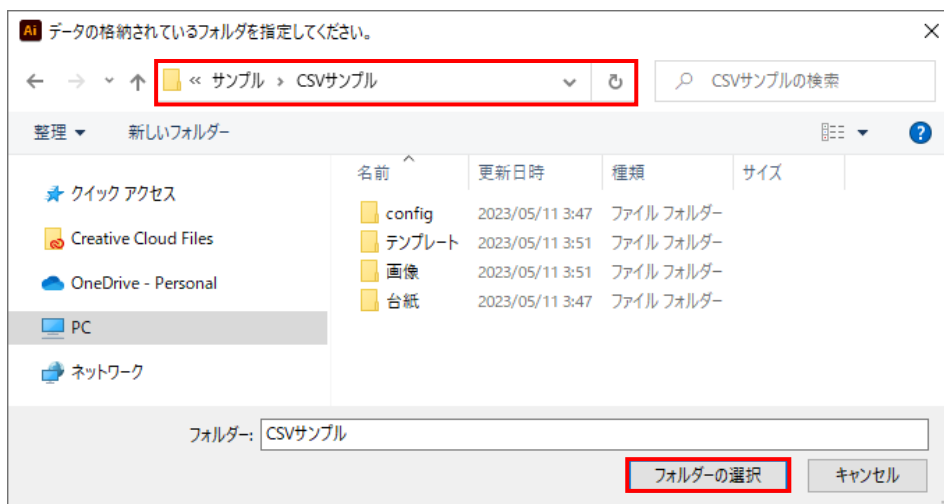


7.2.2 流し込みデータ読み込み

データ表示パネルを起動し、流し込みデータを読み込みます。

※参考画像は CSV ファイルを読み込んだ例です。

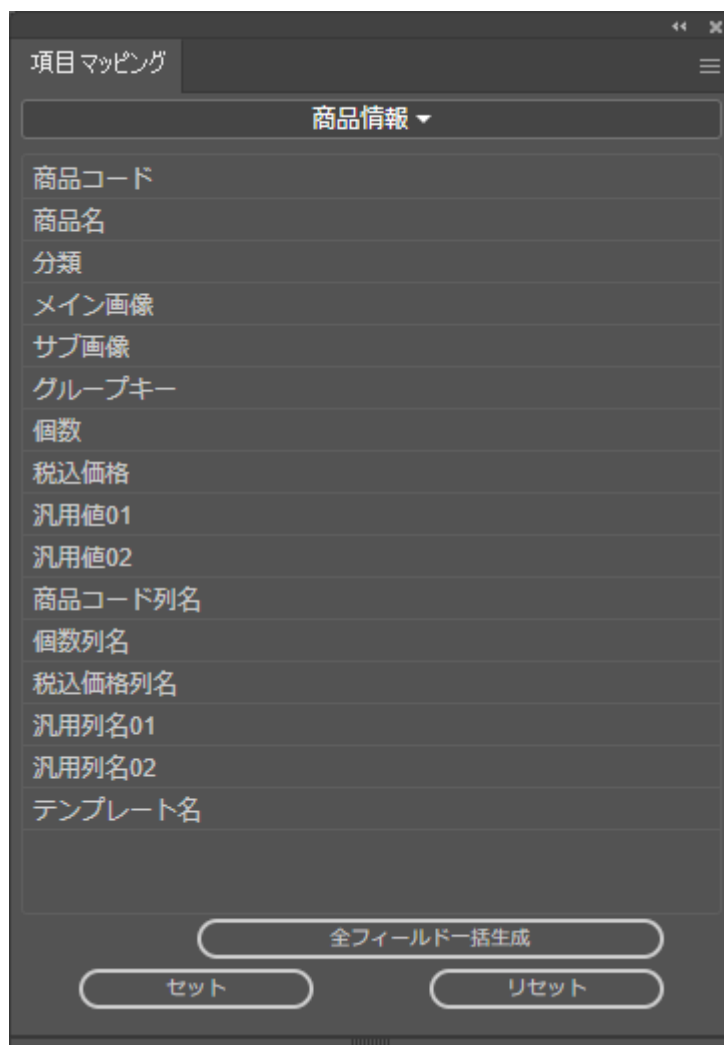
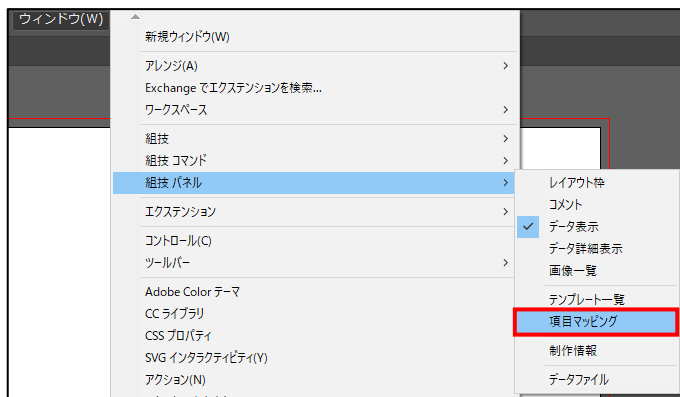




7.2.3 項目マッピングパネルの起動

項目マッピングパネルを起動します。

ここまでが流し込みテンプレート作成の下準備となります。



7.2.4 テキストフレームへの項目マッピング

ツールバーから「文字ツール」を選択し、テキストフレームをドキュメント上に配置します。

テキストフレームが配置出来たら、ツールバーから「選択ツール」を選択し、

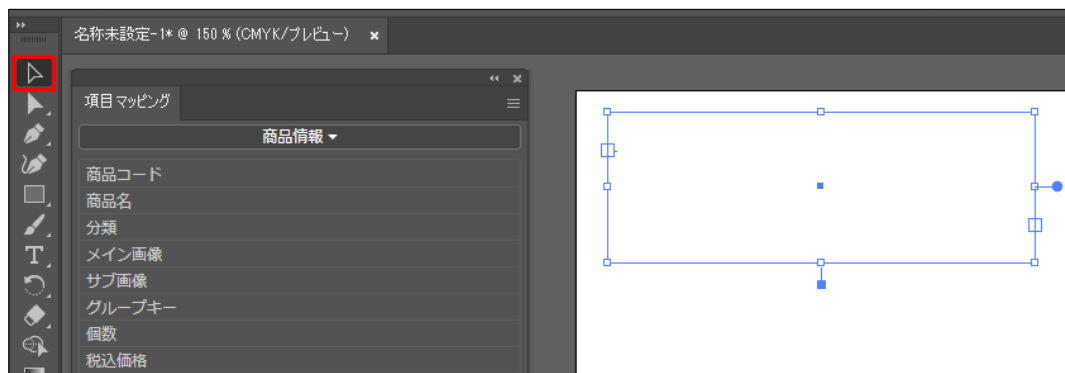
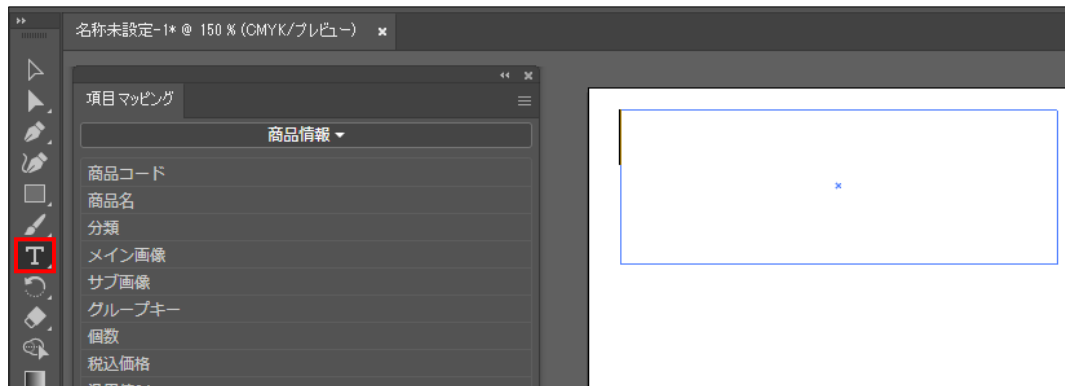
テキストフレームを選択状態にします。

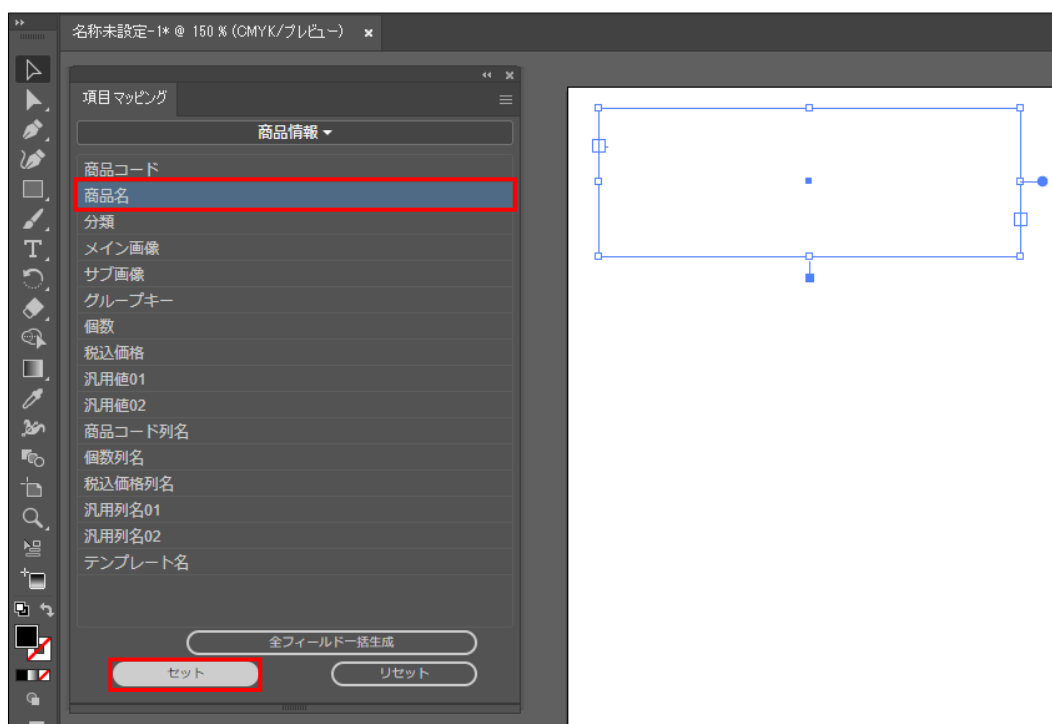
項目マッピングパネルからテキスト項目を選択、「セット」ボタンをクリックしてマッピングします。

「選択ツール」でテキストフレームを選択した際に、

項目マッピングパネルのマッピングさせた項目が選択状態になっていればマッピング完了です。

※参考画像では、項目「商品名」をマッピングしています。





7.2.5 グラフィックフレームへの項目マッピング

ツールバーから「長方形ツール」を選択し、グラフィックフレームをドキュメント上に配置します。

グラフィックフレームが配置出来たら、ツールバーから「選択ツール」を選択し、

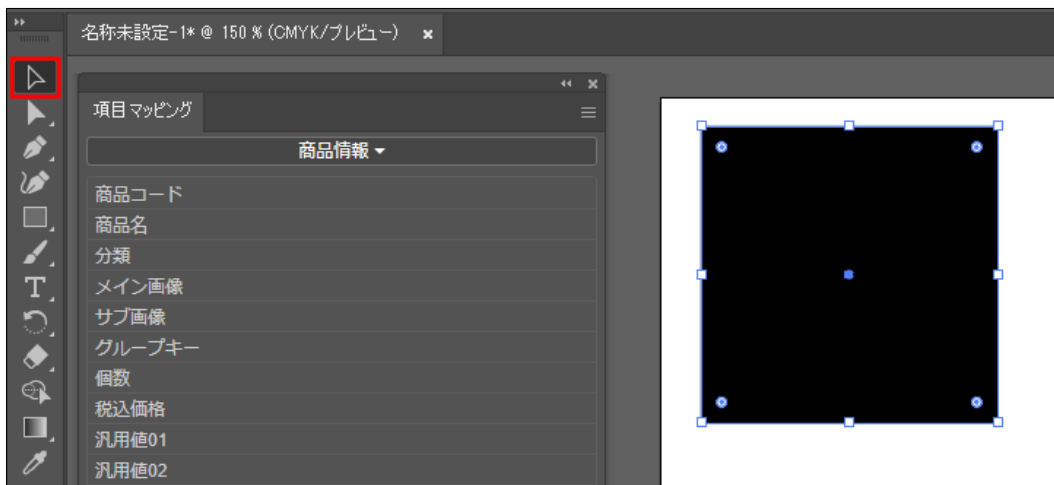
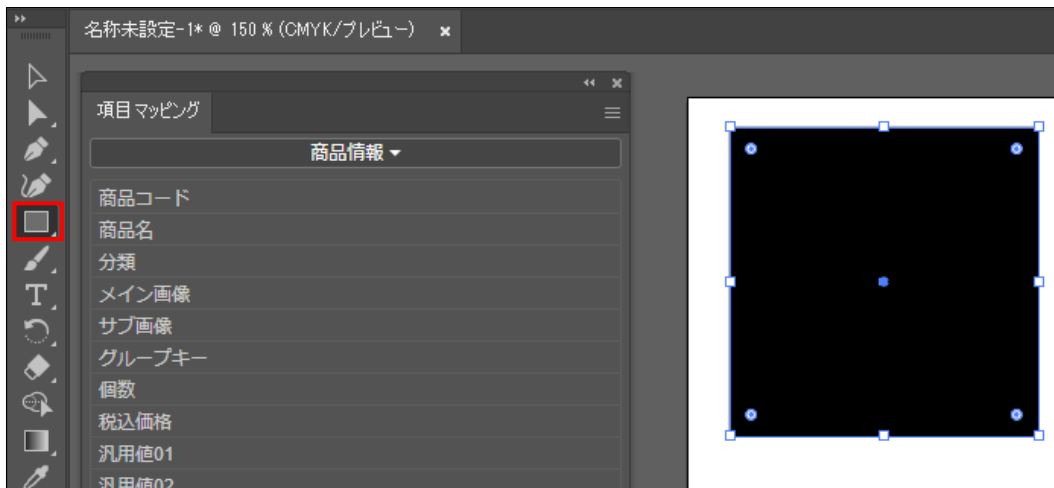
グラフィックフレームを選択状態にします。

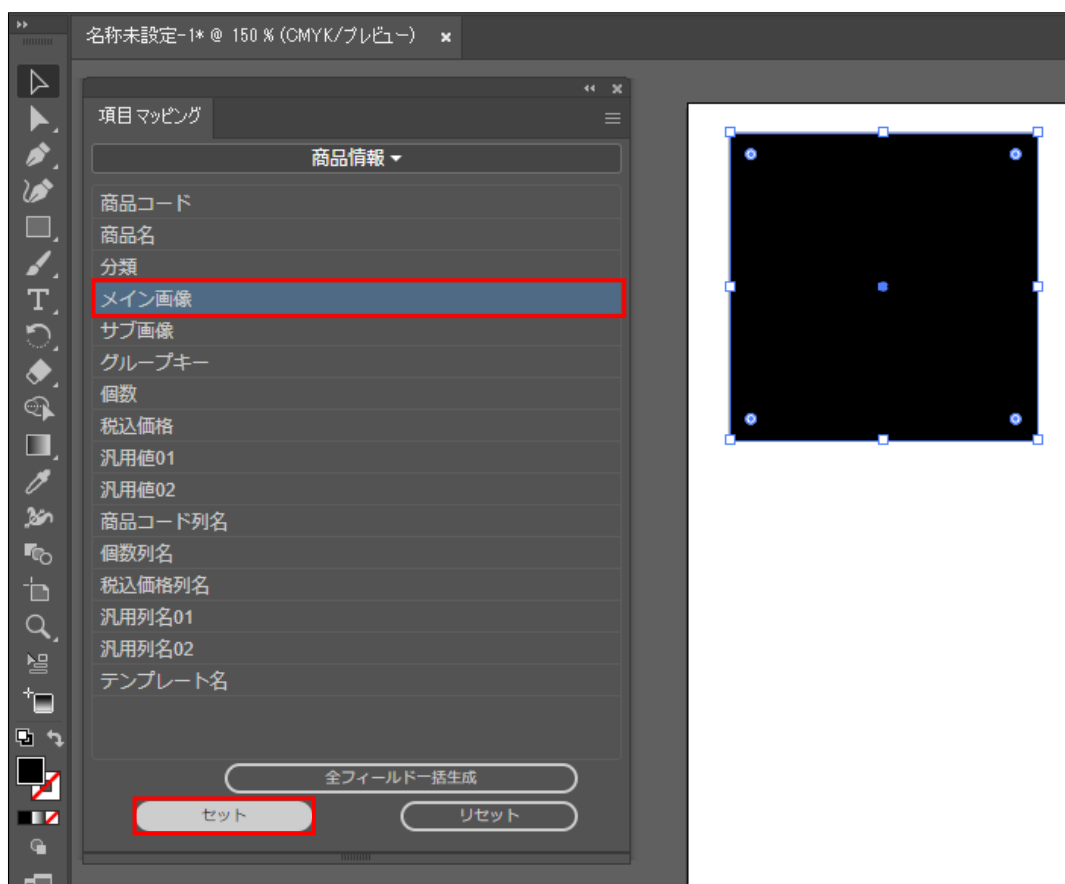
項目マッピングパネルから画像項目を選択、「セット」ボタンをクリックしてマッピングします。

「選択ツール」でグラフィックフレームを選択した際に、

項目マッピングパネルのマッピングさせた項目が選択状態になっていればマッピング完了です。

※参考画像では、項目「メイン画像」をマッピングしています。



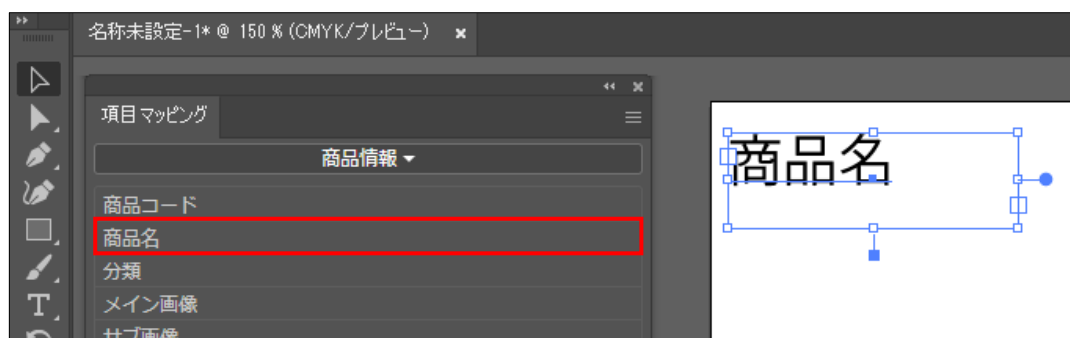
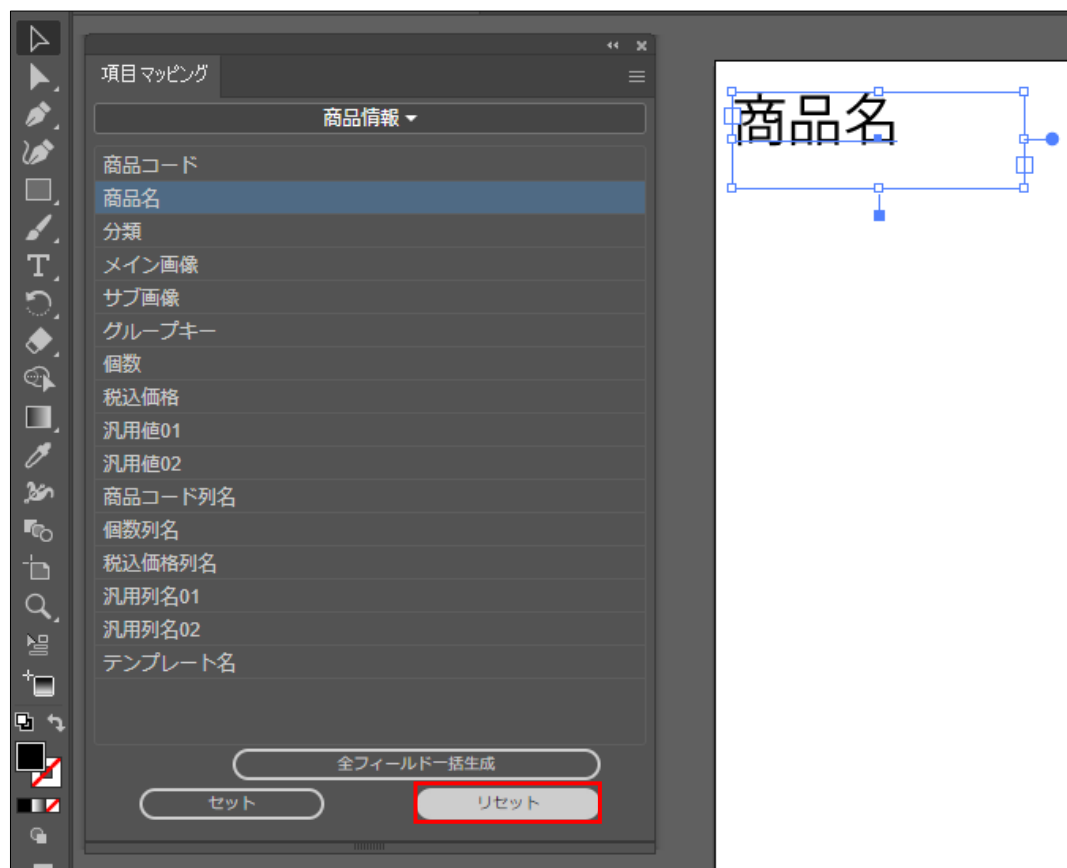


7.2.6 項目マッピングの解除

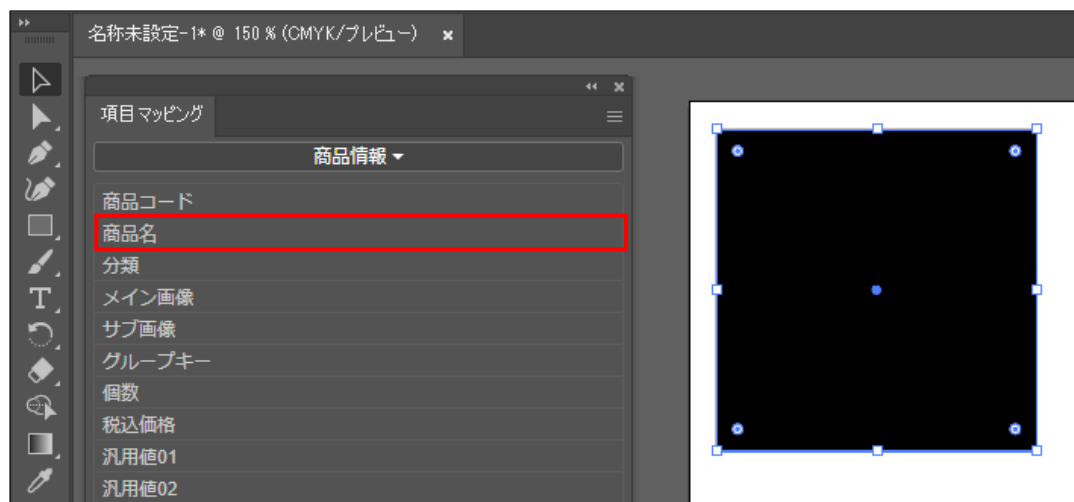
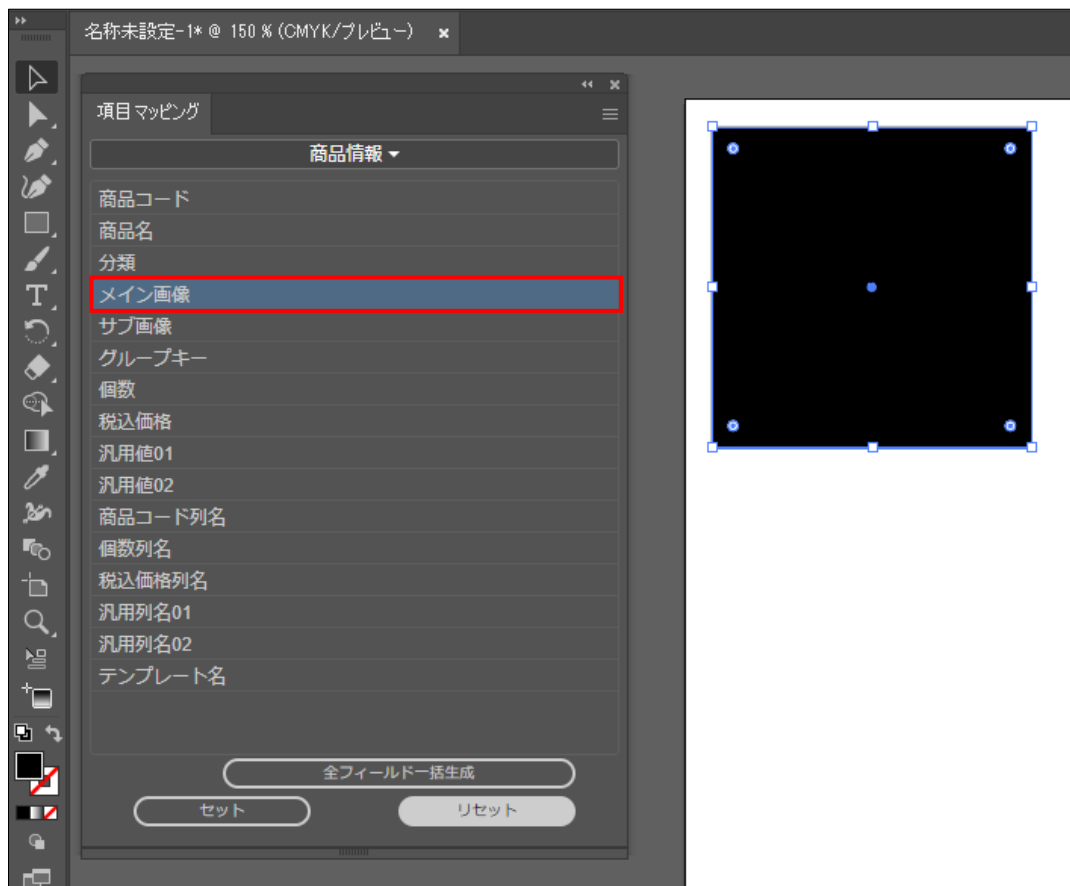
ドキュメント上の項目マッピング済みのテキストフレーム、もしくはグラフィックフレームを選択し、項目マッピングパネルの「リセット」ボタンをクリックすることで、項目マッピングを解除します。

「選択ツール」でオブジェクトフレームを選択した際に、項目マッピングパネルのマッピングさせた項目が選択状態になっていなければマッピング解除完了です。

テキスト項目のマッピング解除



画像項目のマッピング解除



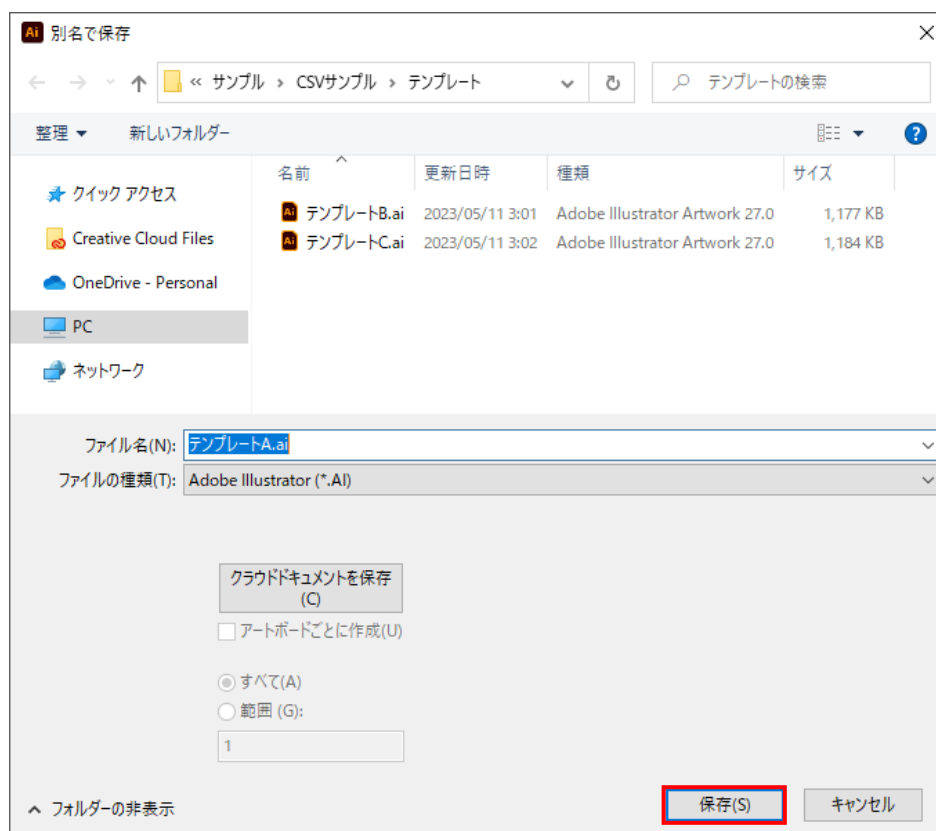
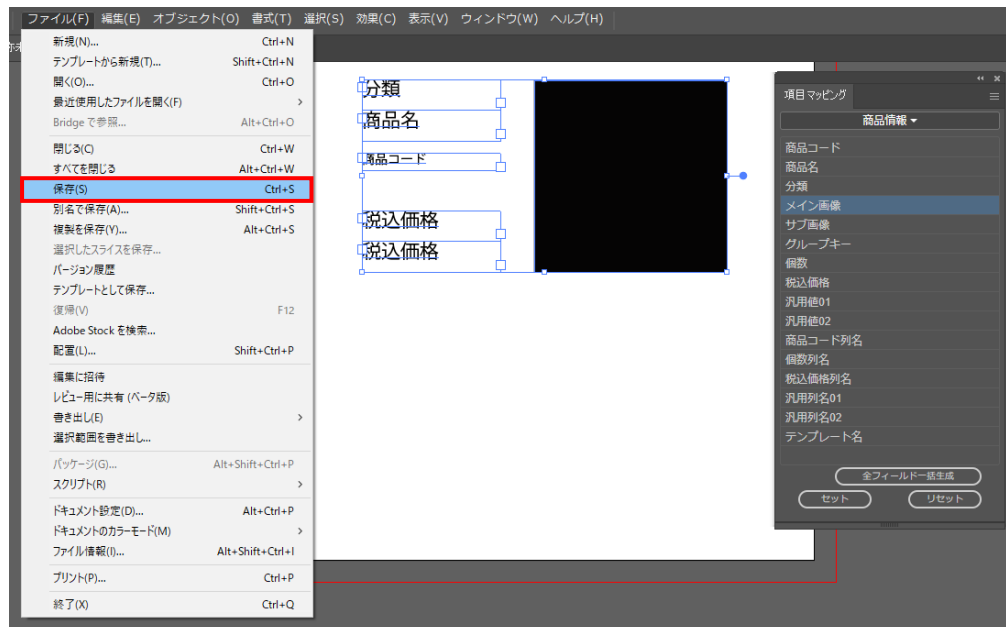
7.2.7 流し込みテンプレートの保存

流し込みテンプレートが出来上がったら、ai ファイルとして保存します。

このファイルをテンプレートパネルから読み込みことで、

流し込みテンプレートとして利用することが可能になります。

※流し込みテンプレートのファイル名は自由に変更してください。



7.3 表組テンプレート作成手順

表組テンプレートも流し込みテンプレート同様に自由なレイアウトで作ることが出来ます。
ただし、表を配置するレイヤーを作成する必要があるため、ここでは例を元に説明します。
※表オブジェクトの作成方法について、マニュアルでは一例を紹介しています。

7.3.1 事前準備

7.2.1 から 7.2.2 の内容を参考に白紙のドキュメントを作成し、流し込みデータを読み込みます。

7.3.2 表組レイヤーの作成

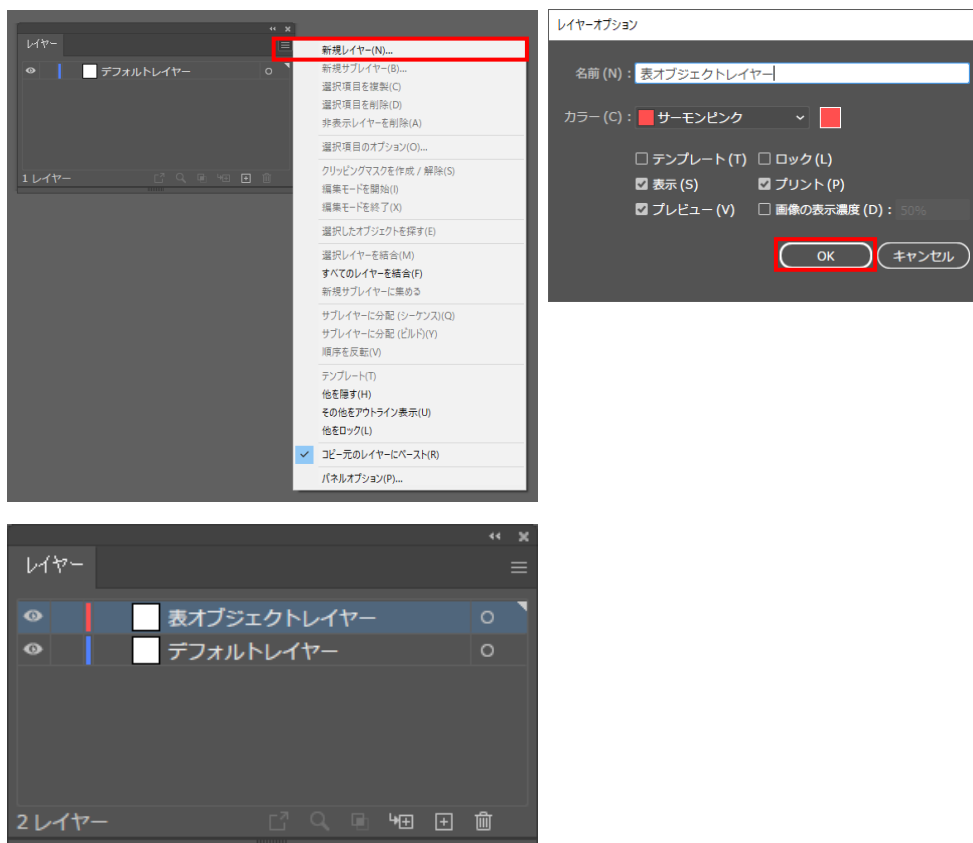
表オブジェクトのみを配置するレイヤーを作成します。

Illustrator のレイヤーパネルから新規レイヤーをクリックします。

レイヤー名は自由に設定出来ますが、例では「表オブジェクトレイヤー」と設定しています。

ここで作成したレイヤー名を表組設定ファイルの「layerName」に設定します。

※表組レイヤー以外のレイヤーも自由に作成することが可能です。

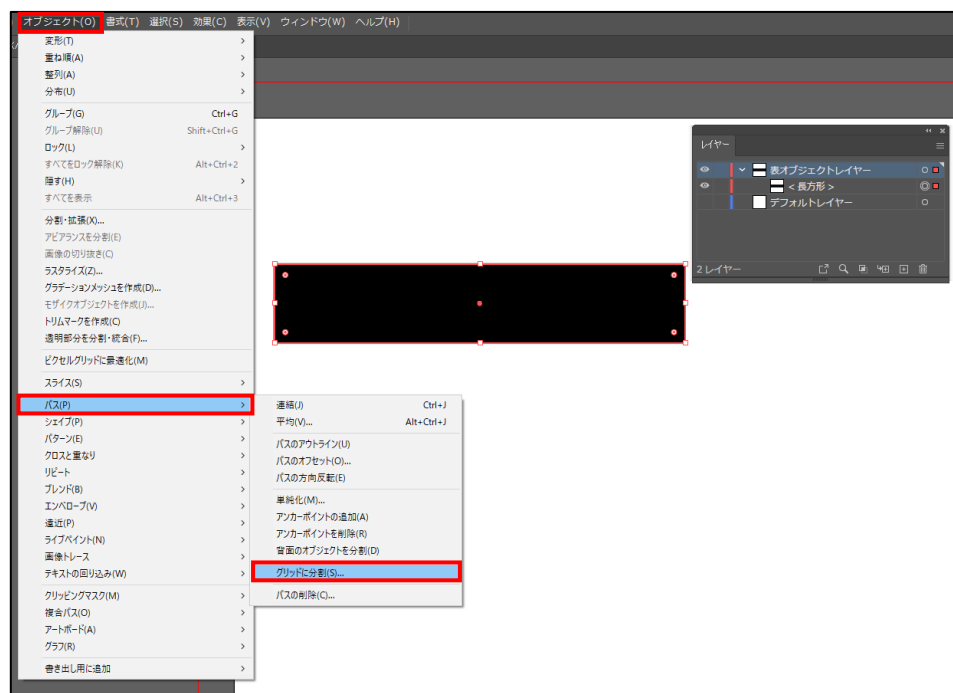


7.3.3 表組背景オブジェクトの作成

表組の背景オブジェクト用に長方形ツールを使用して長方形オブジェクトを作成します。
作成する際に 7.3.2 で作成した表組レイヤーに対して実施するように注意してください。



作成した長方形オブジェクトに対して、Illustrator の「グリッドに分割」を使用して行列を作成します。
この機能は長方形オブジェクトを選択中に「オブジェクト > パス > グリッドに分割」から実施出来ます。



行列数は最低でも「2 行 2 列」となるように注意してください。

行数は流し込みデータに応じて増減しますが、列数は流し込み時に列削除のみ実施します。

そのため、列数は流し込みうる最大の列数を指定してください。

例では「4 行 5 列」としてグリッドに分割しています。

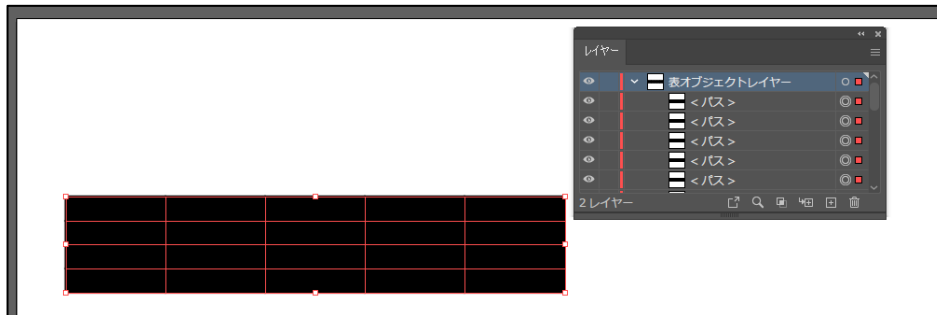
グリッドに分割

行	列
段数 (N) : 4	段数 (U) : 5
高さ (H) : 4.632 mm	幅 (W) : 19.301 mm
間隔 (G) : 0 mm	間隔 (E) : 0 mm
合計 (T) : 18.528 mm	合計 (O) : 96.504 mm

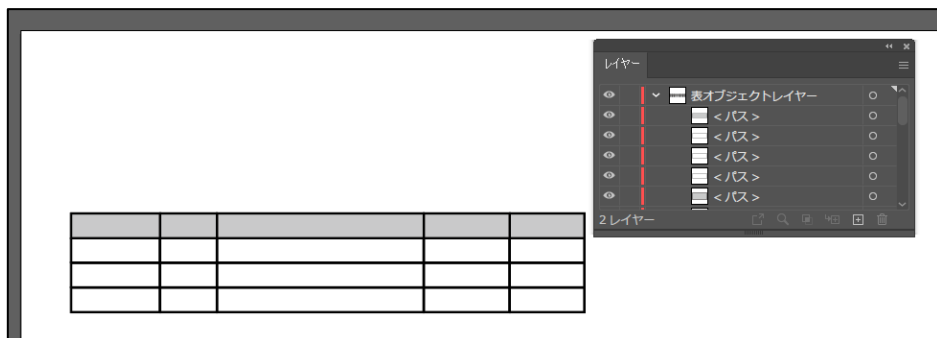
☐ ガイドを追加 (D)

☐ プレビュー (P)

OK キャンセル

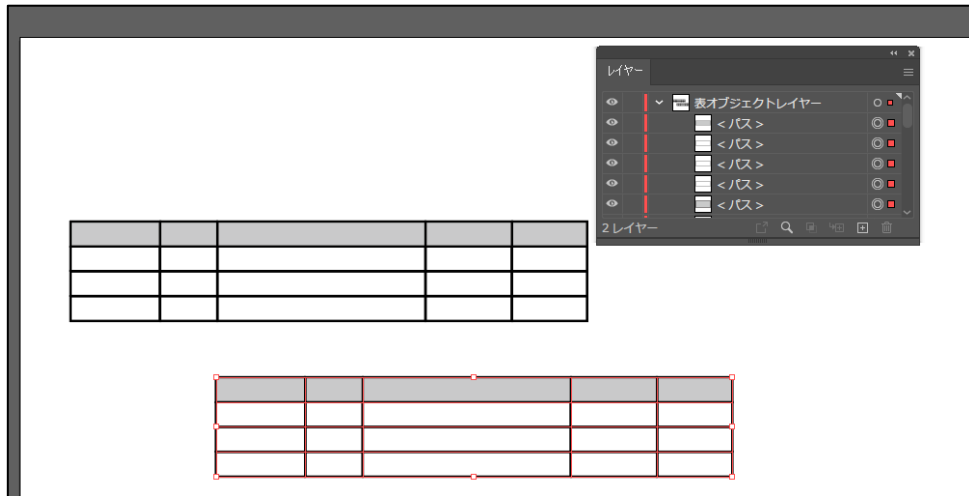


グリッドに分割出来たので、例では背景色と列幅を手直ししています。

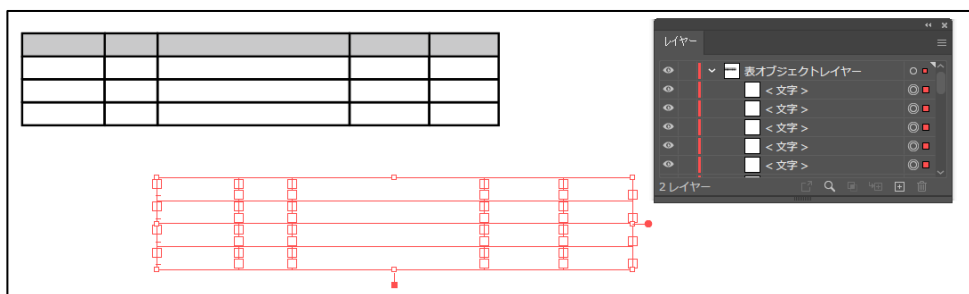
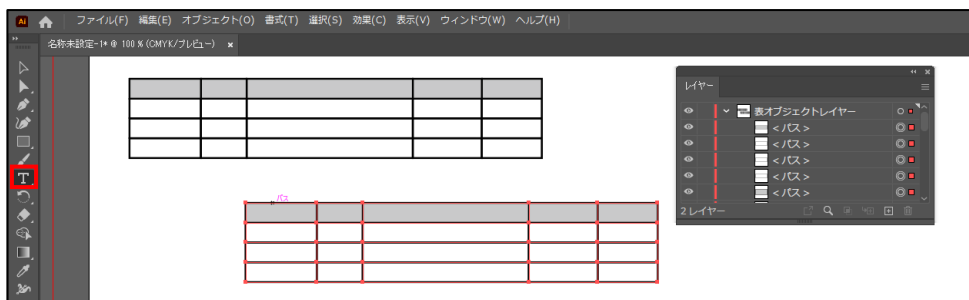


7.3.4 表組テキストオブジェクトの作成

7.3.4 で作成した表組背景オブジェクトを同じドキュメント上にコピーします。



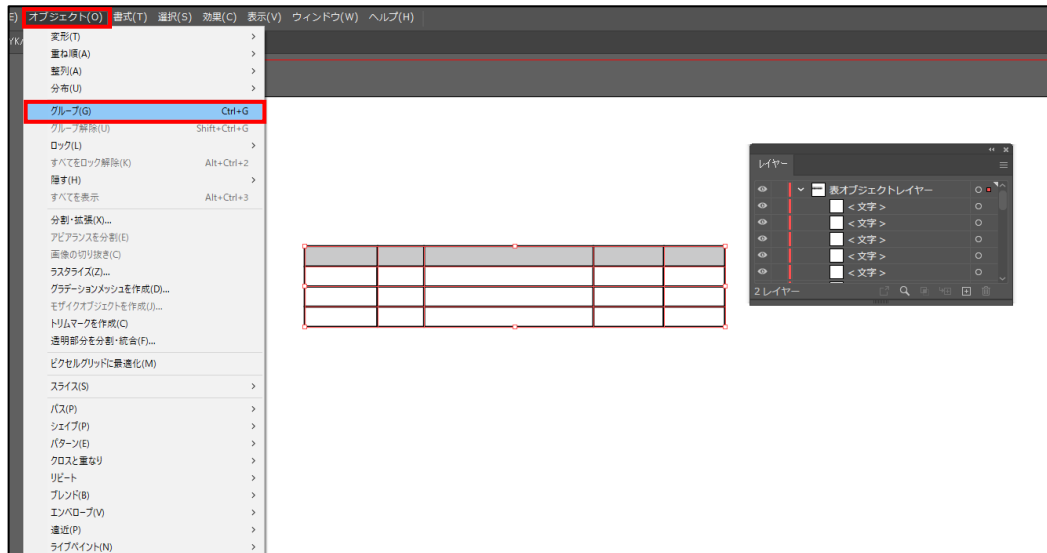
Illustrator のテキストツールを選択し、コピーしたオブジェクトの各パスに対してクリックします。これにより各セルをテキストボックスに変更することが出来ます。



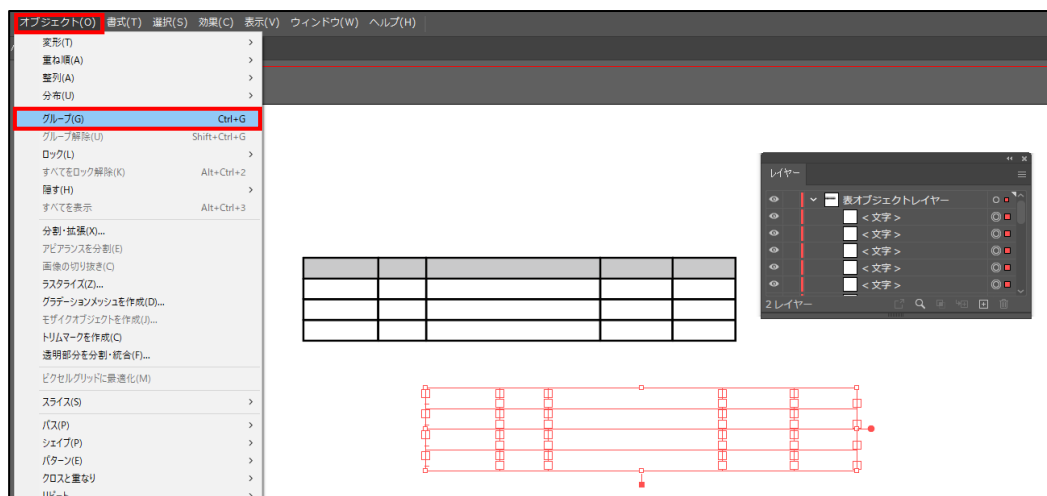
7.3.5 各オブジェクトのグループ化

表組背景オブジェクトと表組テキストオブジェクトの位置を合わせるため、それぞれのセルをグループ化していきます。

グループ化は対象の各オブジェクト選択し、「オブジェクト > グループ」をクリックします。まずは表組背景オブジェクトをグループ化します。



表組テキストオブジェクトも同様にグループ化します。

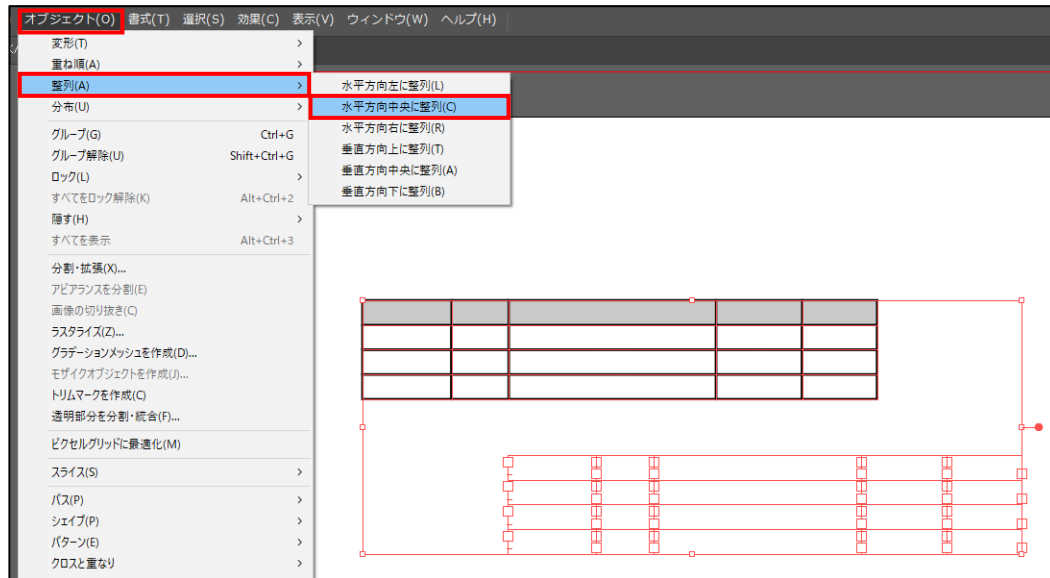


7.3.6 表組背景オブジェクトと表組テキストオブジェクトの位置合わせ

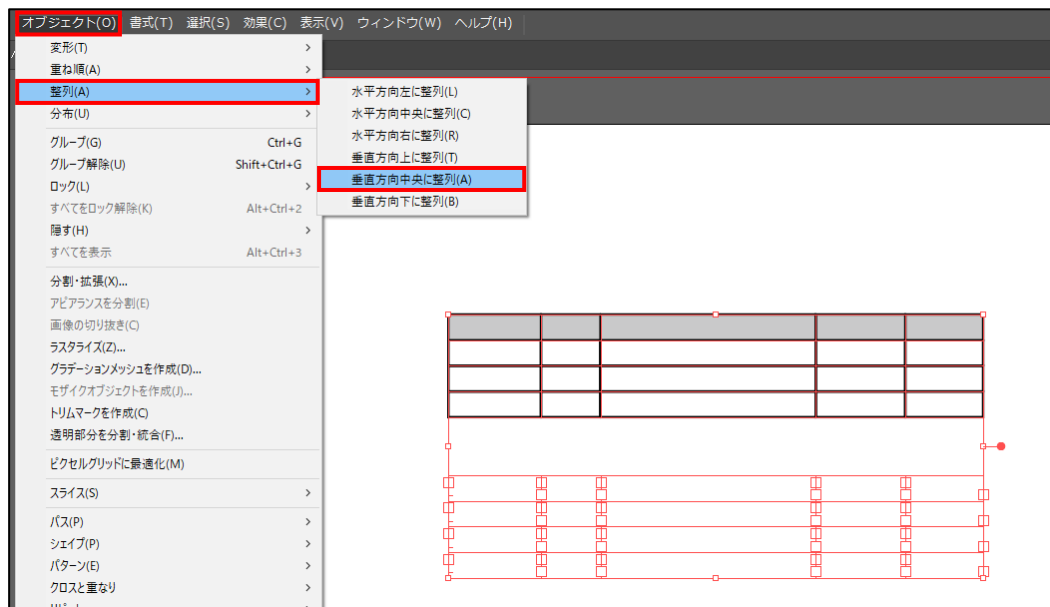
表組背景オブジェクトと表組テキストオブジェクトの位置を合わせるには

「オブジェクト > 整列」の機能を利用します。

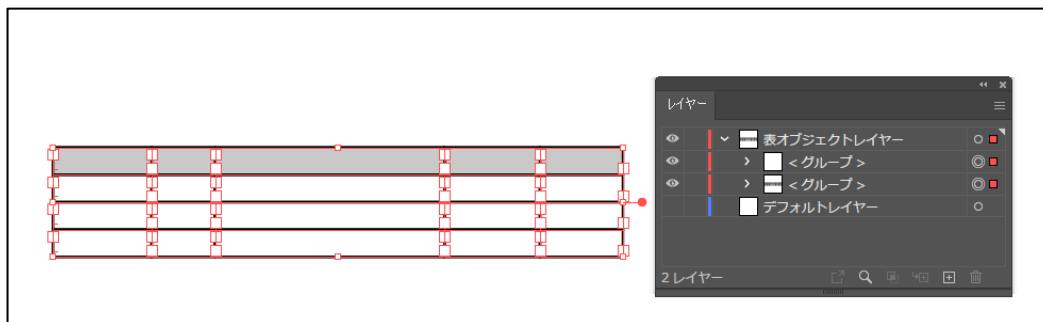
まずは「オブジェクト > 整列 > 水平方向中央に整列」をクリックします。



その後「オブジェクト > 整列 > 垂直方向中央に整列」をクリックします。



表組背景オブジェクトと表組テキストオブジェクトがぴったり重なりあえば、表オブジェクトの完成です。

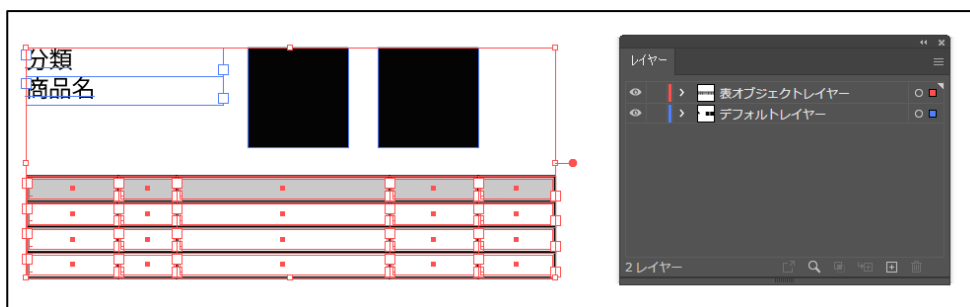


7.3.7 表組オブジェクト以外のオブジェクトマッピング

7.2.3 から 7.2.5 を参考に表組オブジェクト以外のテキストフレームやグラフィックフレームを配置してテンプレートを完成させます。

表組オブジェクト以外は表組レイヤー以外に配置するように注意してください。

下図は他オブジェクトをマッピングしたテンプレートの例です。



7.3.8 表組背景オブジェクトと表組テキストオブジェクトの位置合わせ

7.2.7 を参考に表組テンプレートを保存します。

8 データの流し込み

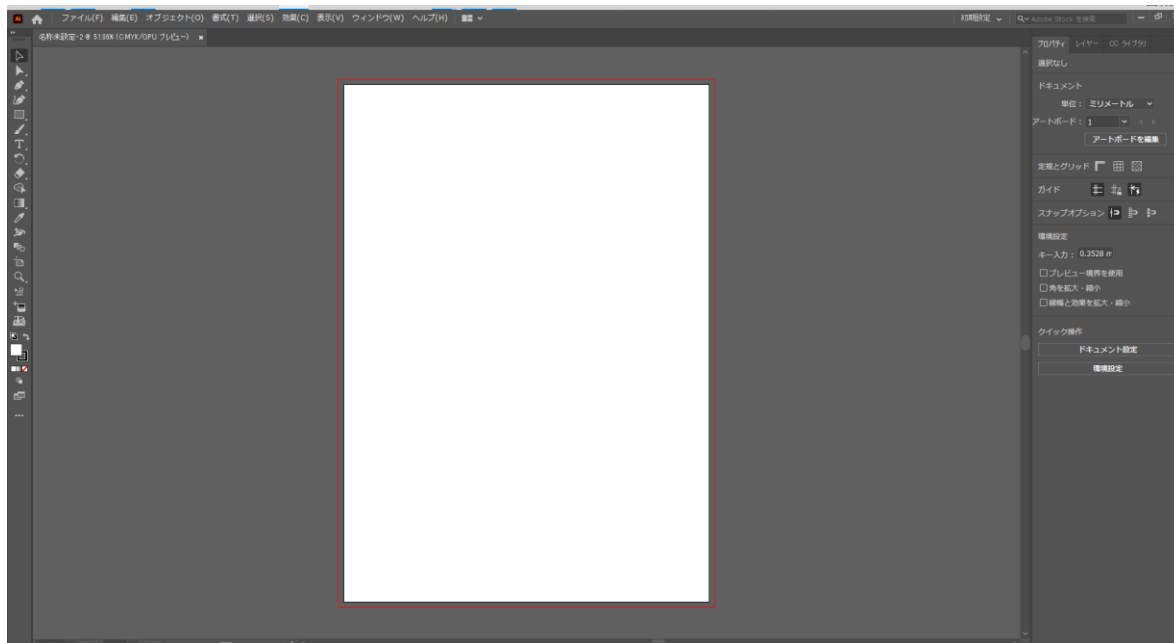
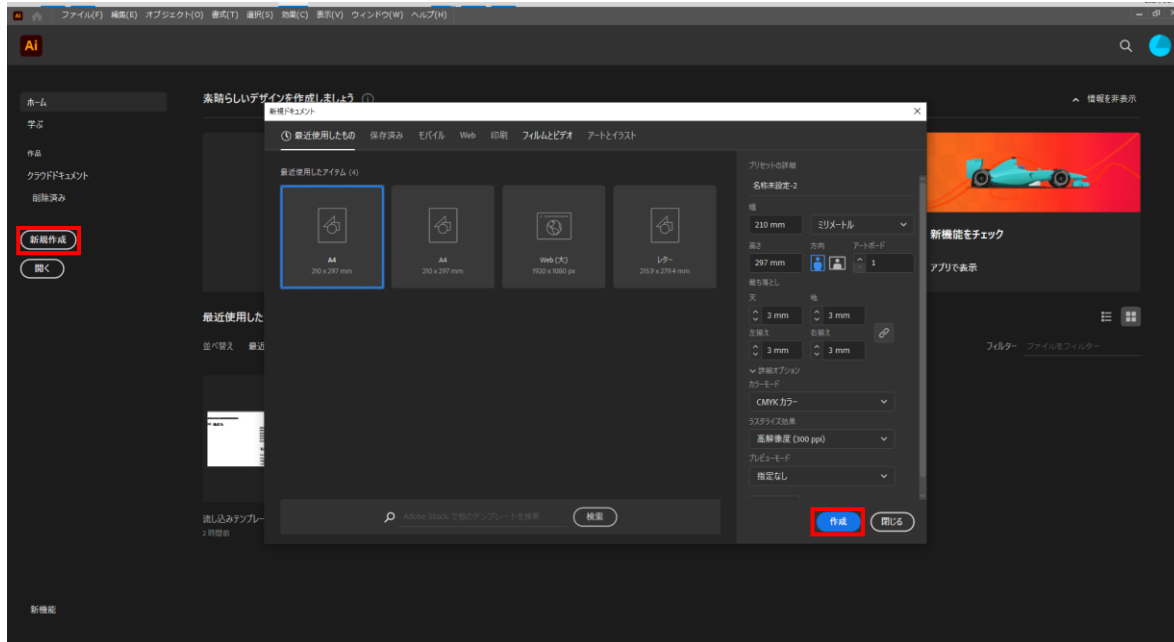
ここでは、流し込みデータを使用した流し込み手順について説明します。

各データの読み込みまでは同じですが、流し込みの方法は、

テンプレートを使用する方法とレイアウト枠を利用する方法があるため、途中からそれぞれ分けて説明します。

8.1 新規ドキュメント作成

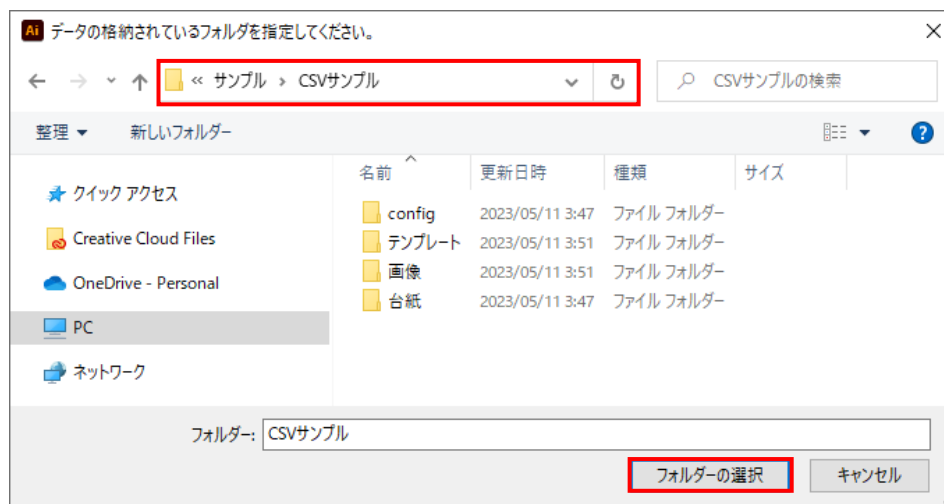
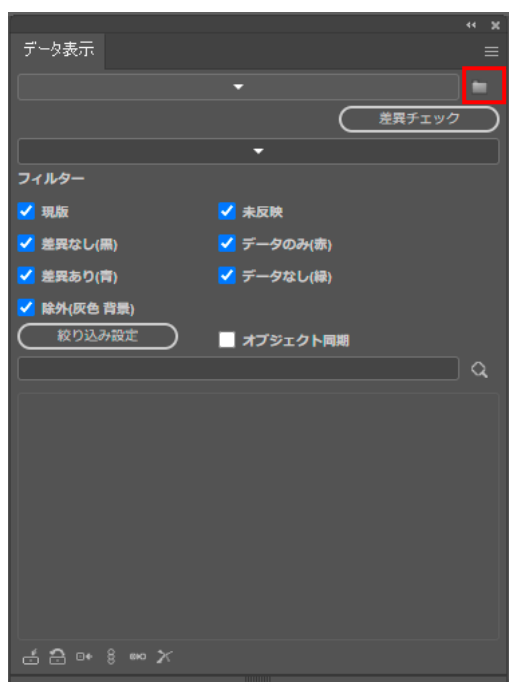
Illustrator を起動し、適宜サイズを選択してドキュメントを作成します。

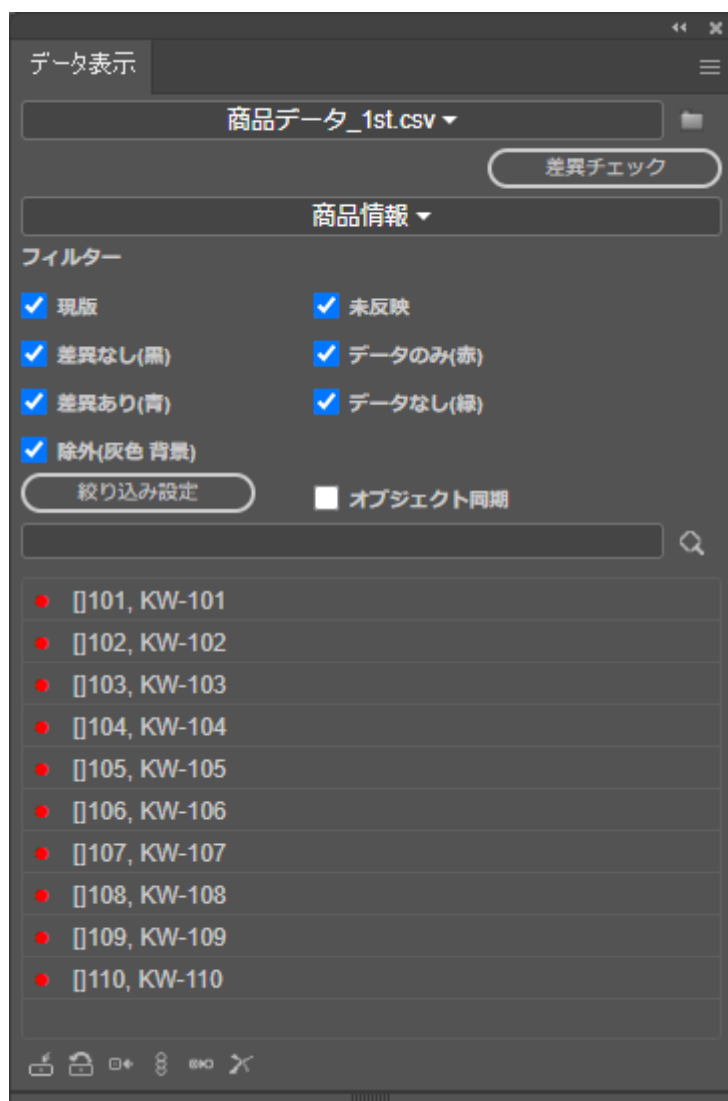


8.2 流し込みデータ読み込み

データ表示パネルを起動し、流し込みデータを読み込みます。

※参考画像は CSV ファイルを読み込んだ例です。

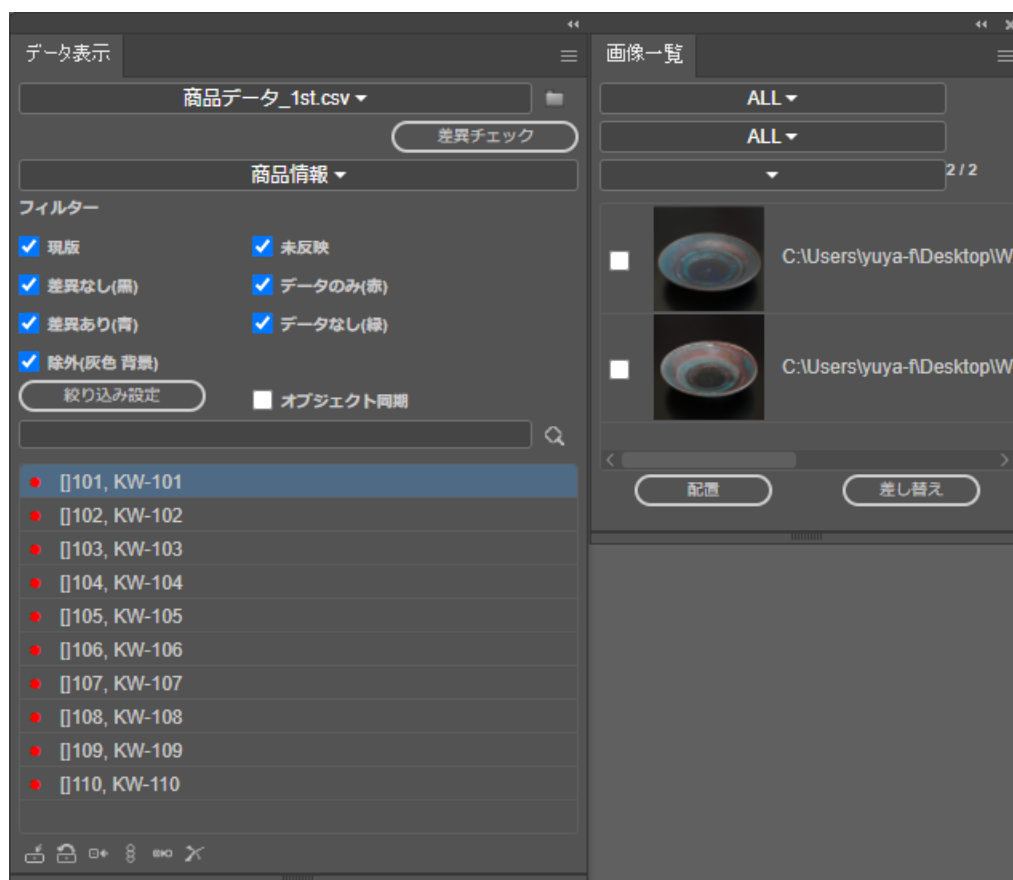
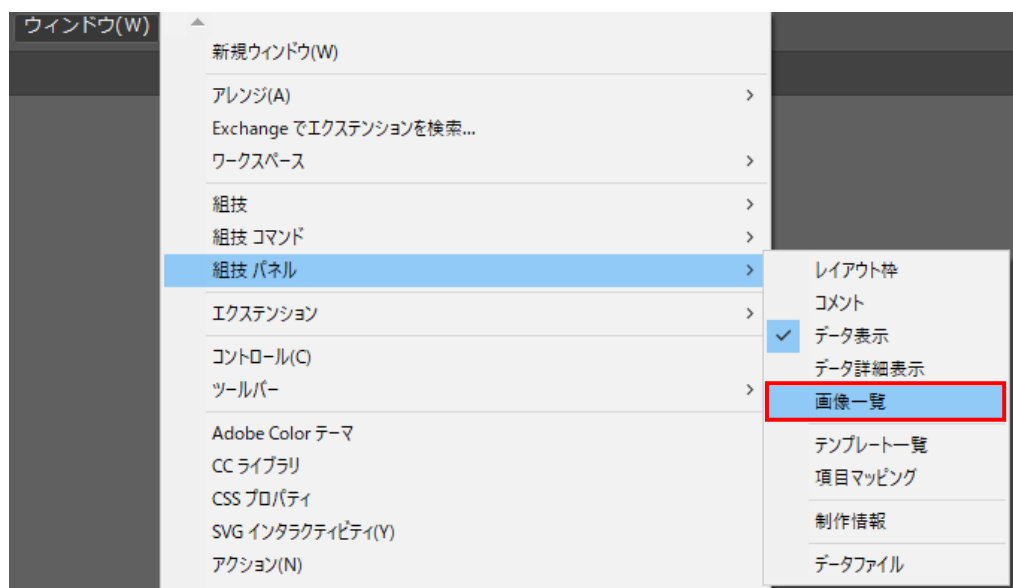




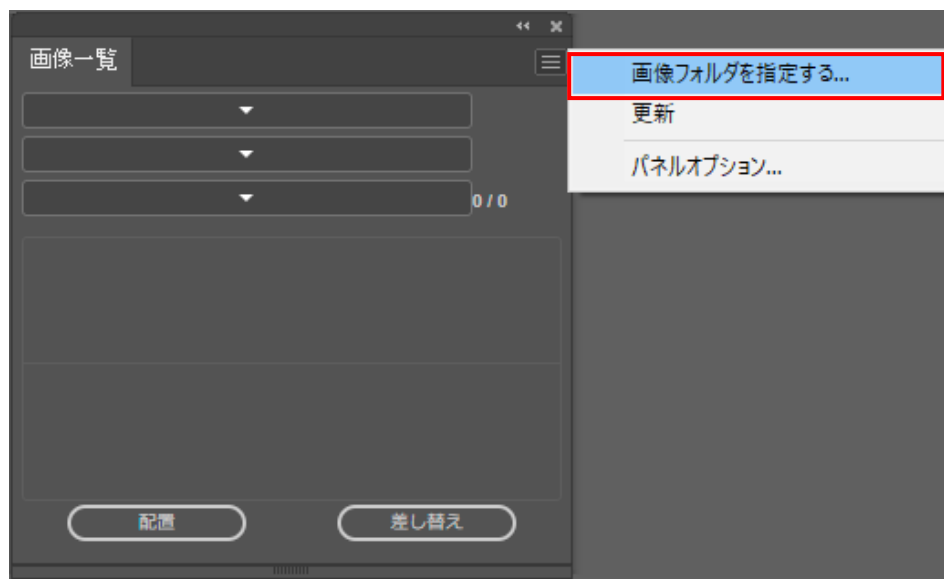
8.3 画像の読み込み

画像一覧パネルを起動します。

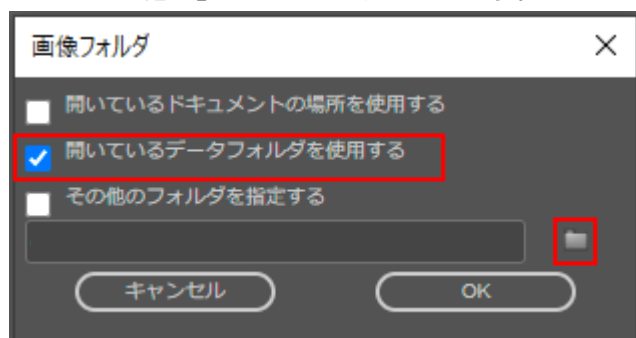
データ表示パネルで 1 つのデータを選択し、画像一覧パネルに関連する画像が表示されるかを確認します。



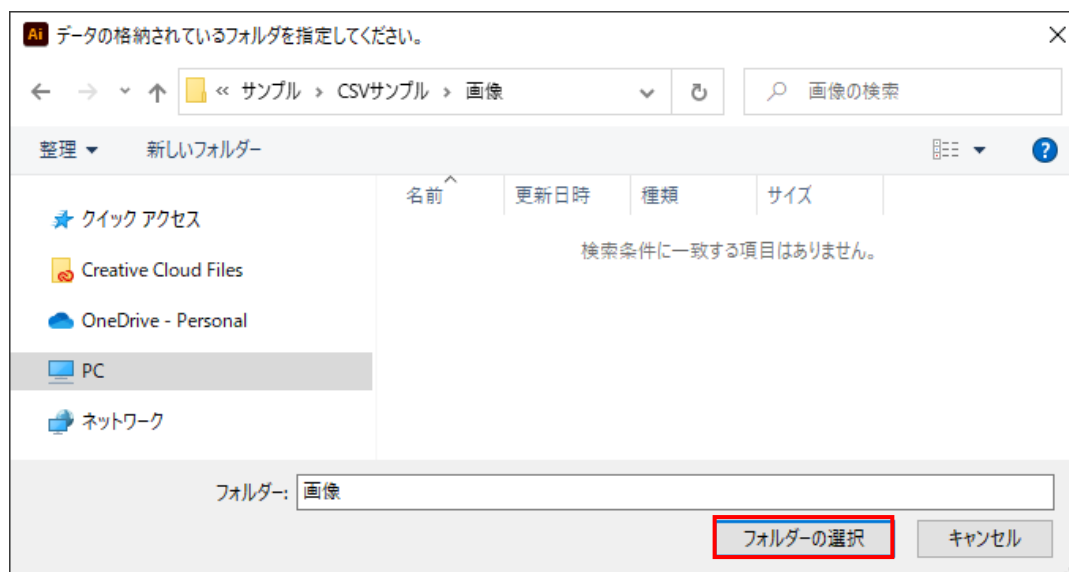
データ表示パネルで指定したフォルダ以下に画像がない場合、画像フォルダを指定する必要があります。
画像フォルダの指定は、画像一覧パネルのメニューを開き、「画像フォルダを指定する」をクリックします。



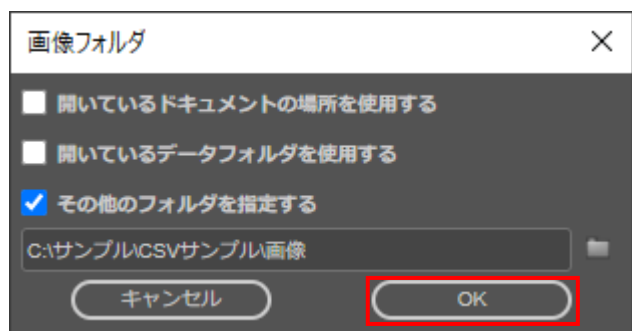
画像フォルダ指定ダイアログが表示されるので、「その他のフォルダを指定する」をチェックし、「フォルダ指定」ボタンをクリックします。



フォルダ指定ダイアログが表示されるので、画像を格納しているフォルダを指定します。

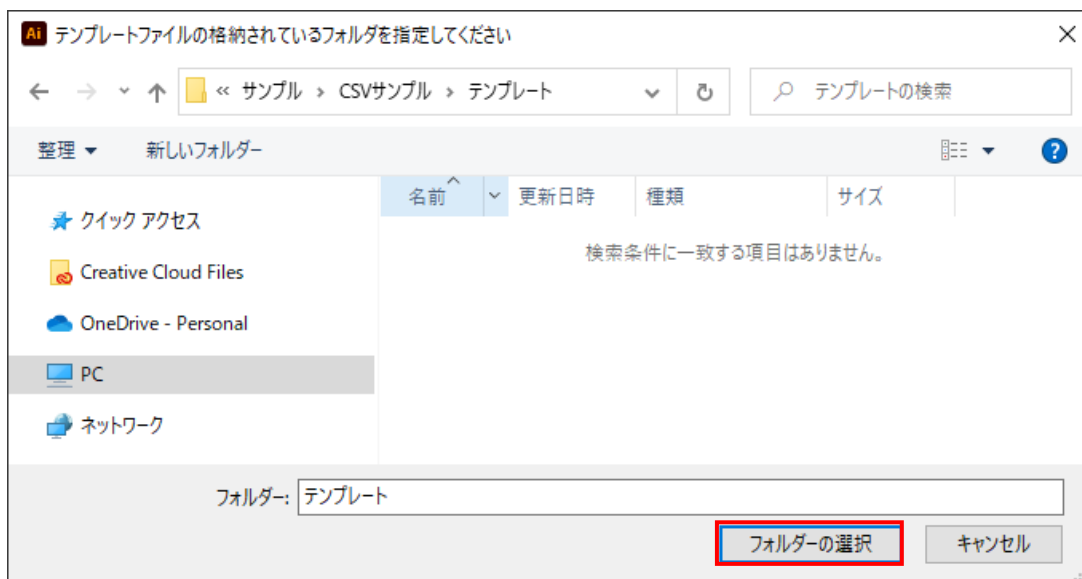
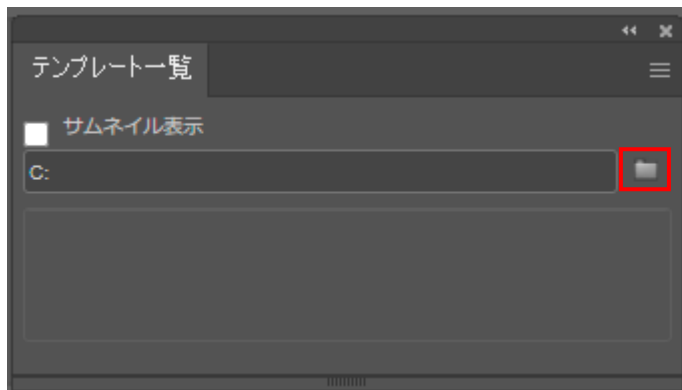
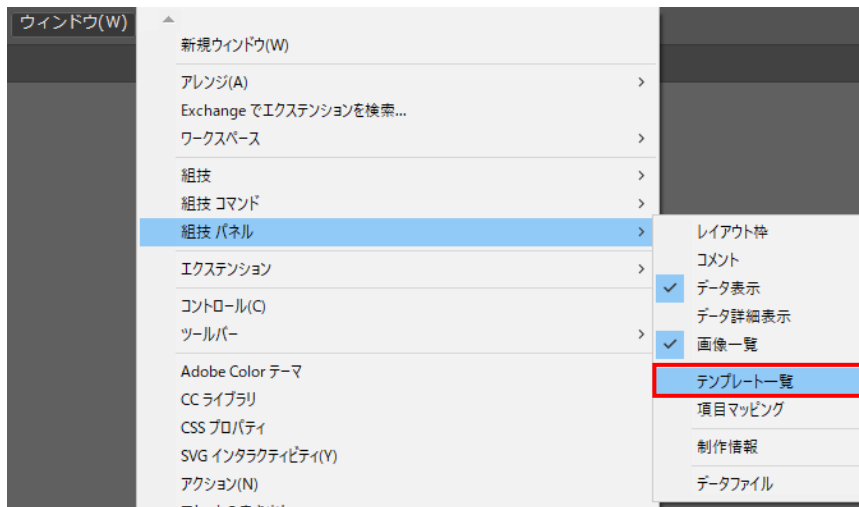


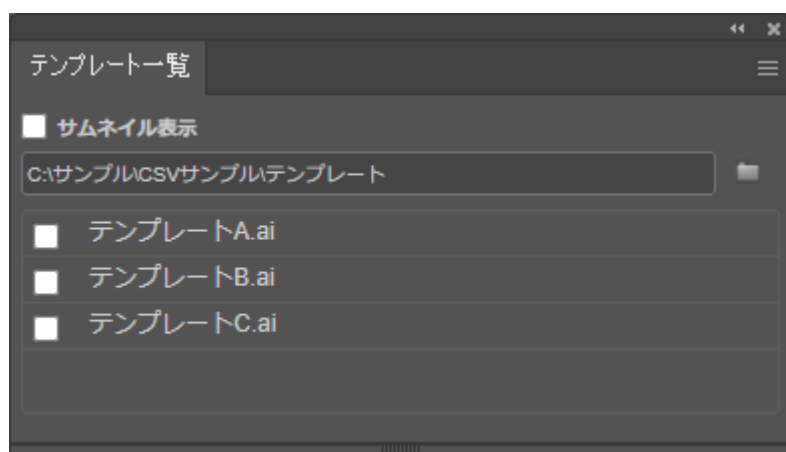
「OK」ボタンをクリックすると、フォルダ指定が完了します。



8.4 流し込みテンプレートの読み込み

テンプレート一覧パネルを起動し、流し込みテンプレートを読み込みます。



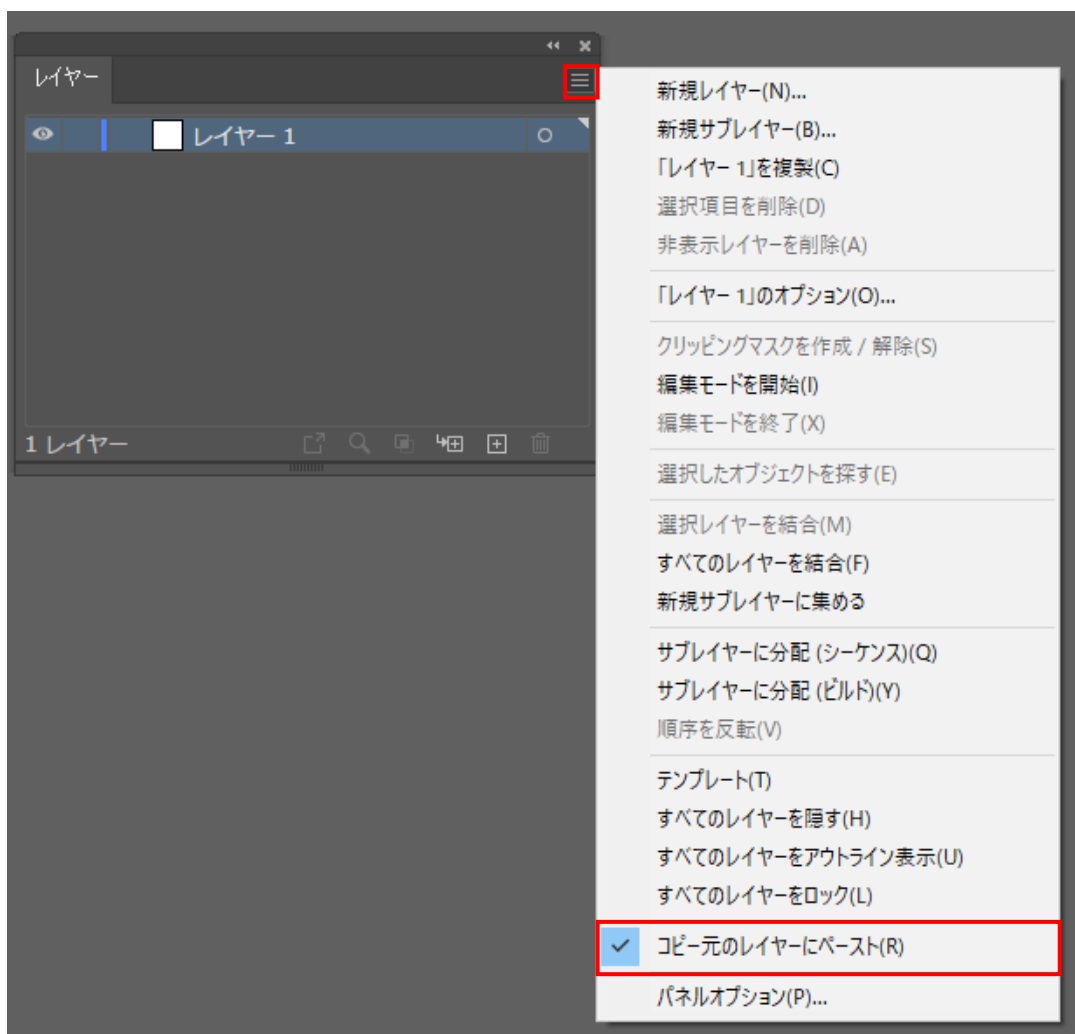


8.5 流し込み

ここでは、流し込みテンプレートをドキュメント上に配置しての流し込み、レイアウト枠をドキュメント上に配置しての流し込みについてそれぞれ説明します。

8.5.1 流し込み準備

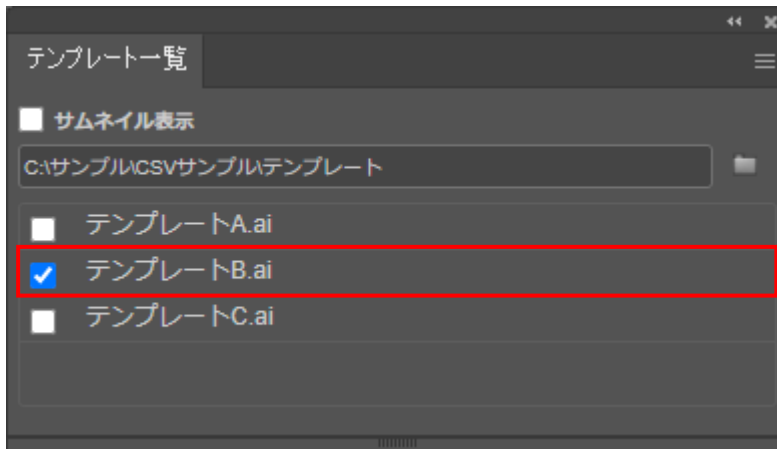
Illustrator の標準設定ではテンプレートに設定したレイヤーが配置時に保持されません。そのため、レイヤーパネルのメニューから「コピー元のレイヤーにペースト」を有効にします。これにより、テンプレートで設定したレイヤーが流し込み時に保持されるようになります。この設定は組技利用開始時に 1 度だけ実施してください。
※Illustrator のアップデートや環境情報のリセットをした際は再度設定頂く必要があります。



8.5.2 流し込みテンプレートを配置する流し込み手順

8.5.2.1 流し込みテンプレートを配置する

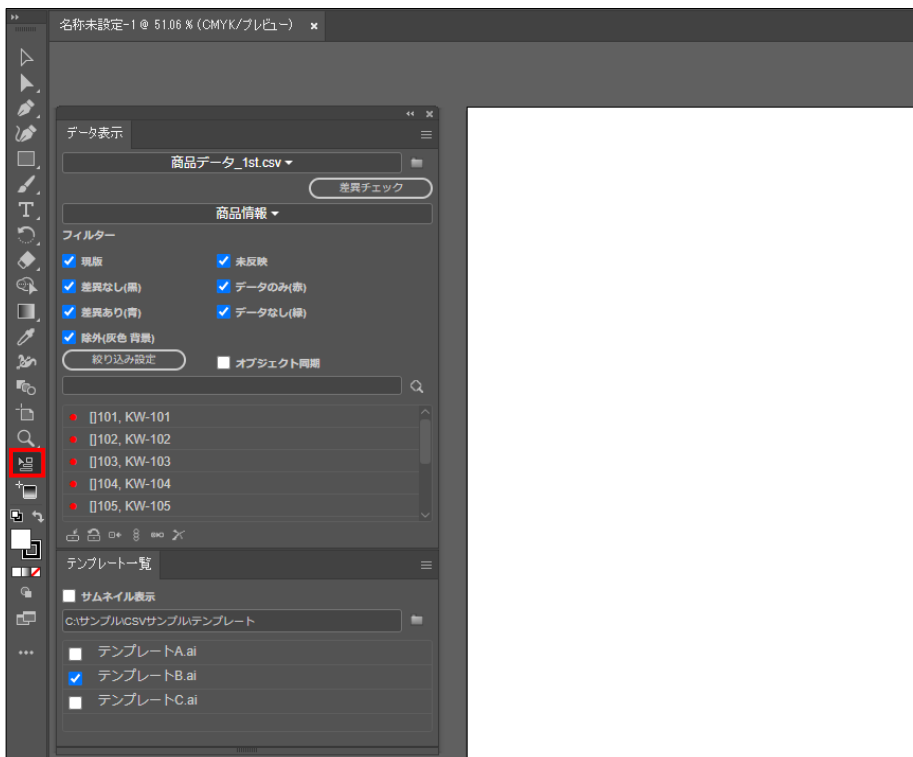
配置する流し込みテンプレートを、テンプレート一覧パネルから選択します。

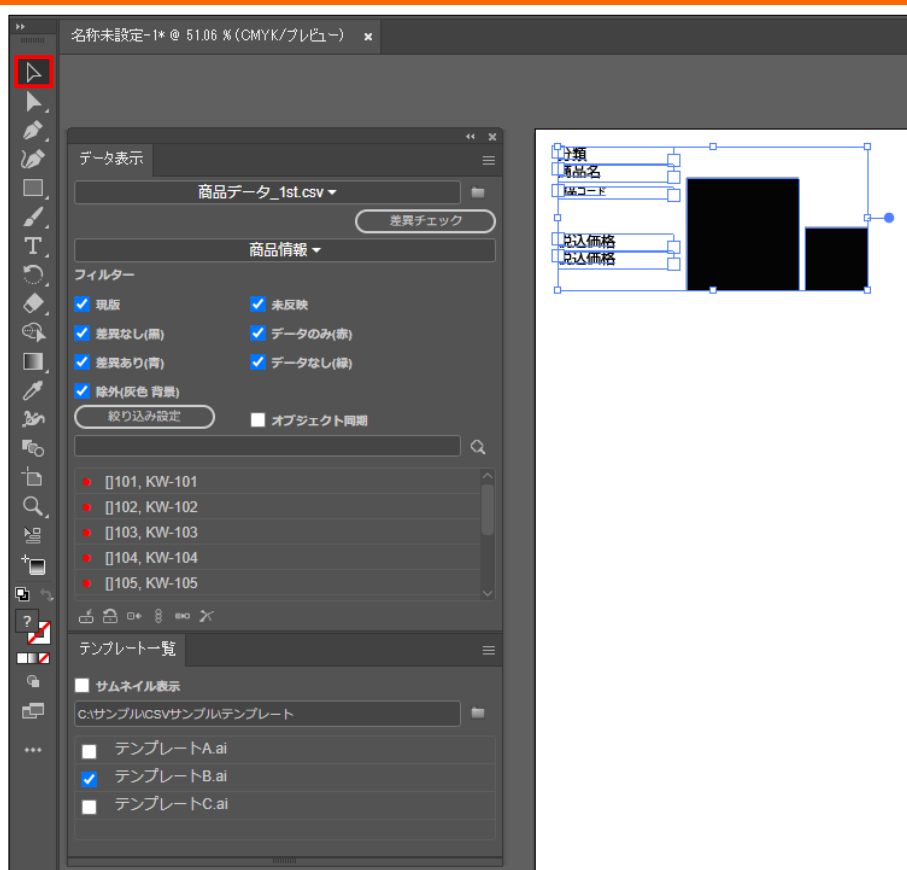


ツールバーから「テンプレート配置」ツールを選択し、ドキュメント上をクリックすることで、ドキュメント上にテンプレートを配置します。

※「テンプレート配置」ツールを選択したままだと、クリックでの誤動作に繋がります。

流し込みテンプレート配置後には、ツールバーから「選択」ツールを選択してください。



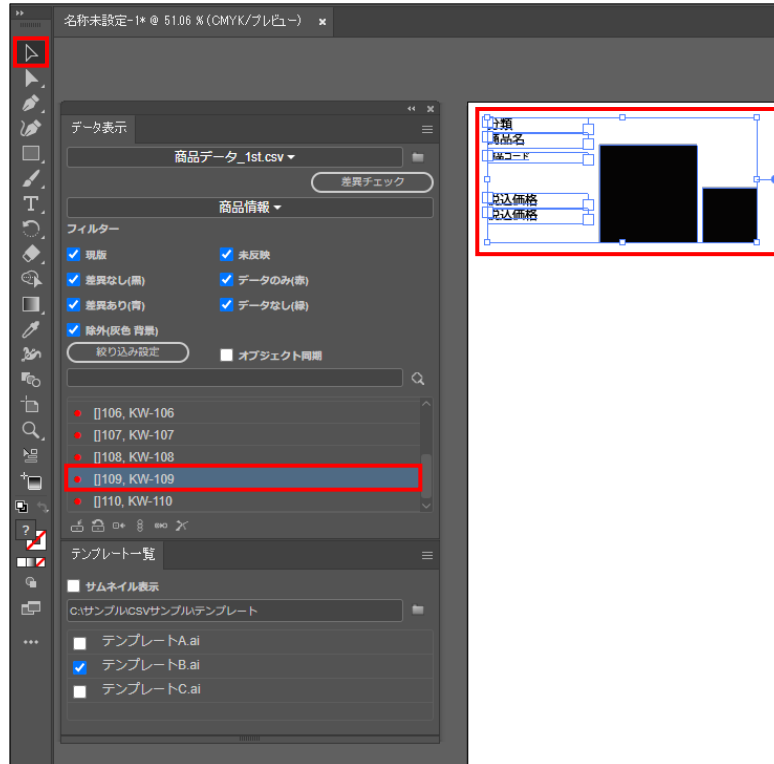


8.5.2.2 1つのデータを流し込む

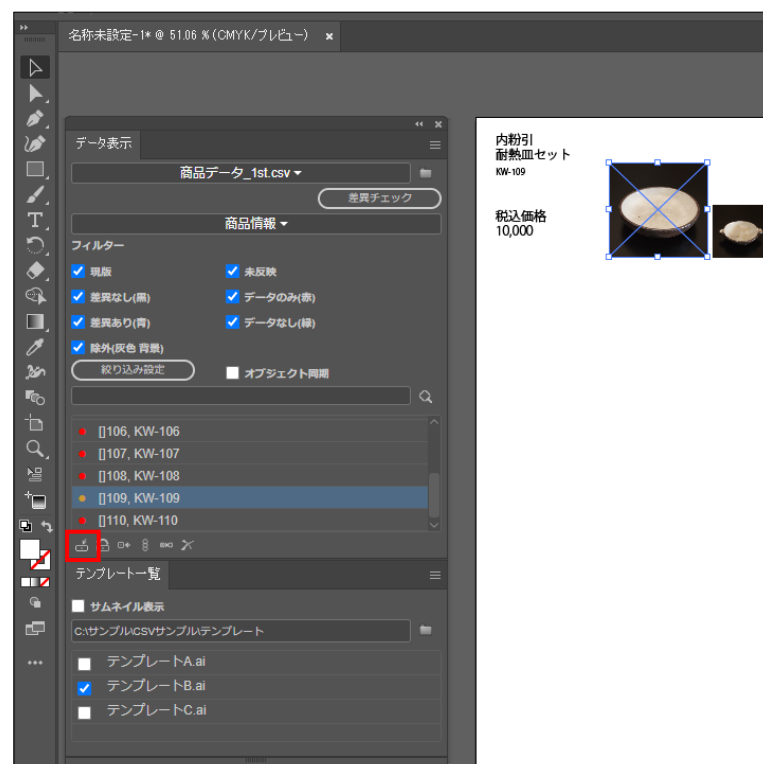
ここでは配置した流し込みテンプレートに対して、
1つのデータを流し込む手順について説明します。

データ表示パネルから流し込むデータを1つ選択し、

ツールバーの「選択」ツールを使用してドキュメント上の流し込みテンプレートを選択します。

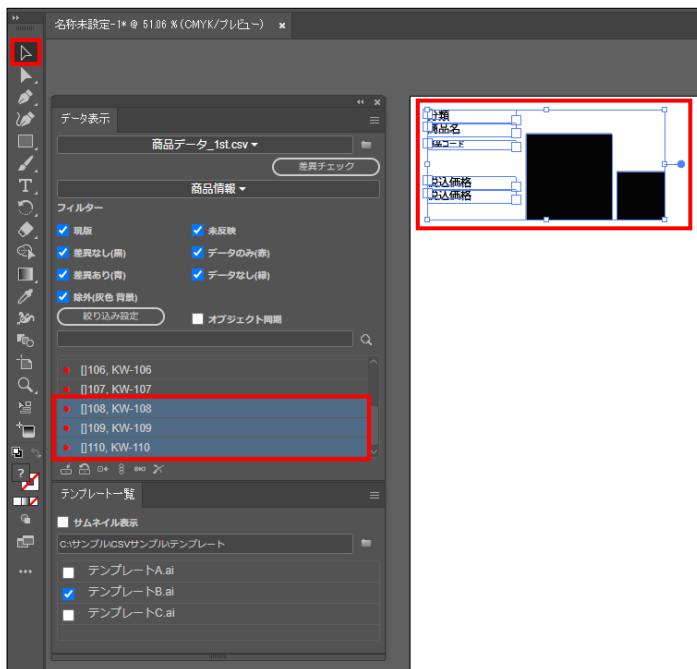


データ表示パネルの「データ割り付け」ボタンをクリックして、データを流し込みます。

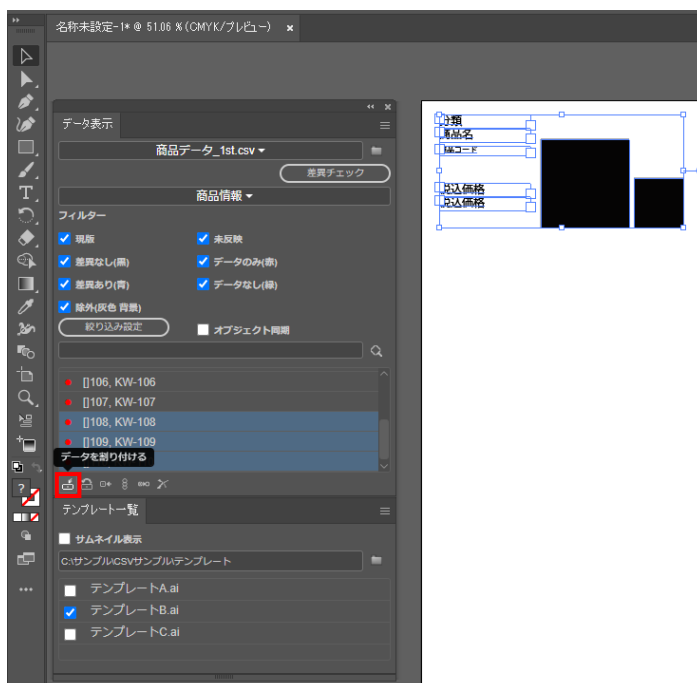


8.5.2.3 複数のデータを流し込む

ここでは配置した流し込みテンプレートに対して、複数のデータを流し込む手順について説明します。
 データ表示パネルから流し込むデータを複数選択し、
 ツールバーの「選択」ツールを使用してドキュメント上の流し込みテンプレートを選択します。



データ表示パネルの「データ割り付け」ボタンをクリックして、
 連続割り付け設定ダイアログを表示します。

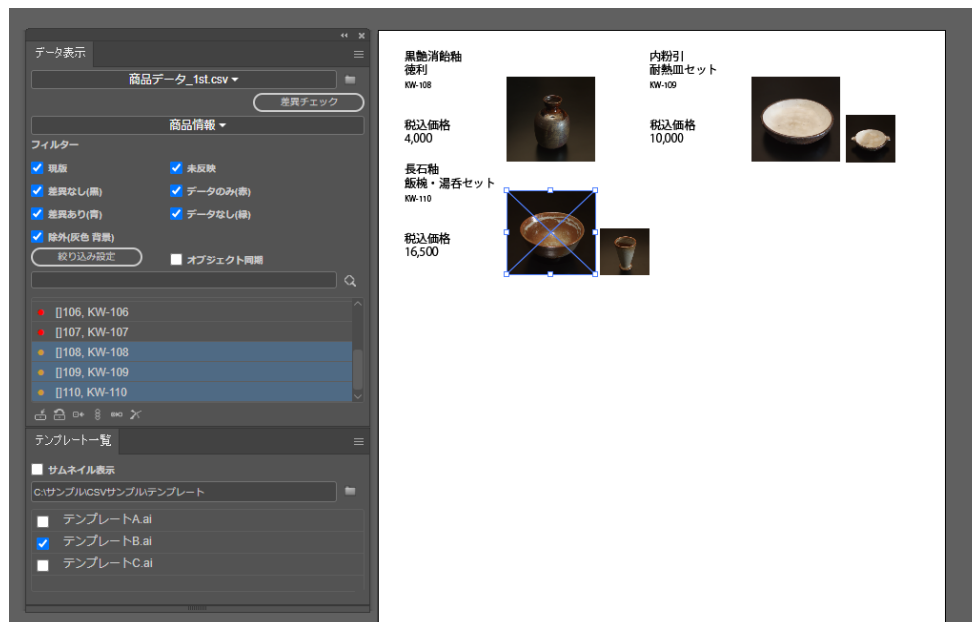


連続割り付け設定ダイアログでは、複数のデータをどのように流し込むかの設定をします。

「段組みを指定して割り付け」を設定することで、横×縦の流し込みが出来ます。

設定が出来たら「OK」ボタンをクリックし、流し込みを実施します。

※参考画像では、横2列・縦2段で流し込みを行います。



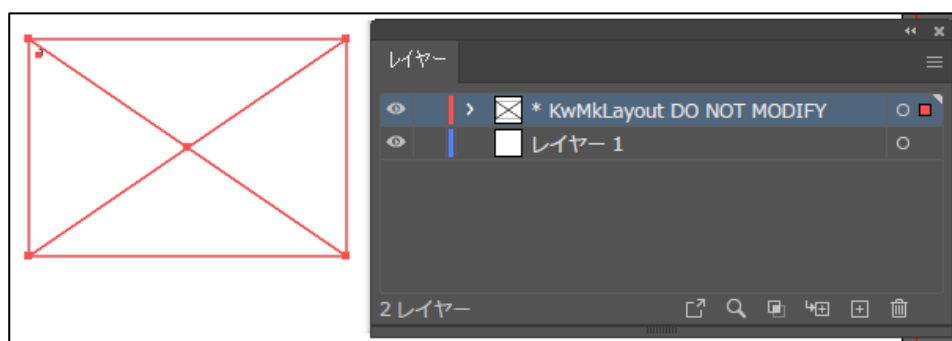
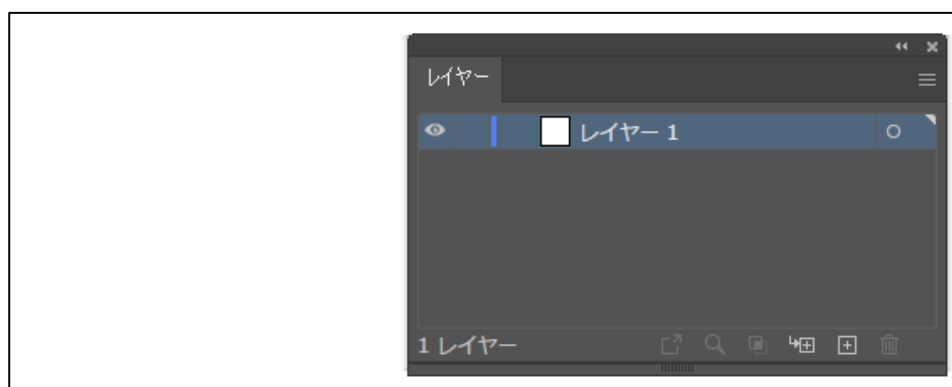
8.5.3 レイアウト枠を配置する流し込み手順

レイアウト枠を使用した流し込みでは、複数データの流し込みにしか対応していないため注意してください。

8.5.3.1 レイアウト枠配置レイヤーについて

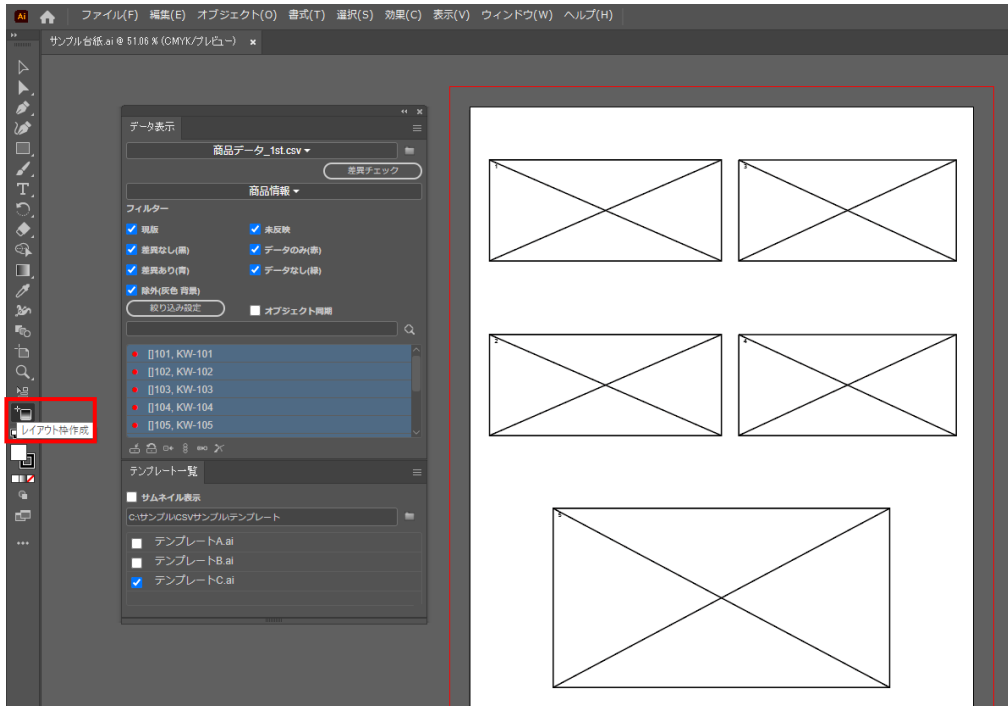
レイアウト枠を作成すると、レイアウト枠配置用レイヤーが自動的に追加されます。初期設定ではレイアウト枠配置用レイヤーを印刷しない設定になっていますが、用途に合わせて任意に変更することが出来ます。

※レイアウト枠配置用レイヤー「KW_MKLayout DO NOT MODIFY」の名前は変更しないでください。



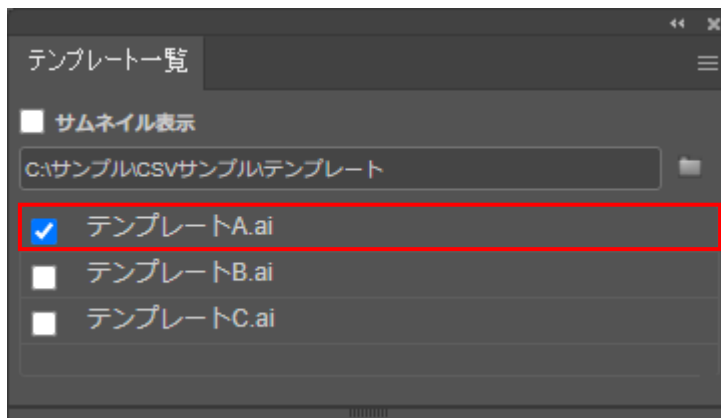
8.5.3.2 レイアウト枠を配置する

ツールバーから「レイアウト枠作成」ツールを選択し、ドキュメント上をクリックすることで、ドキュメント上にレイアウト枠を配置します。



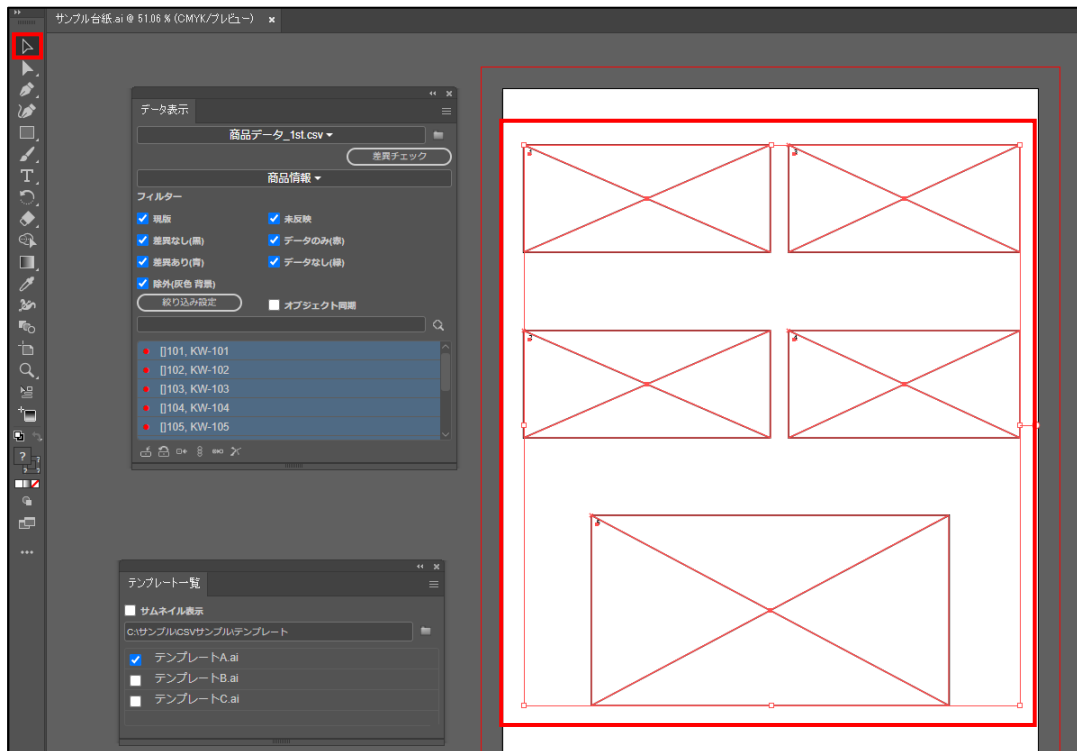
8.5.3.3 流し込みテンプレートを選択する

レイアウト枠の中に配置する流し込みテンプレートを、テンプレート一覧パネルから選択します。

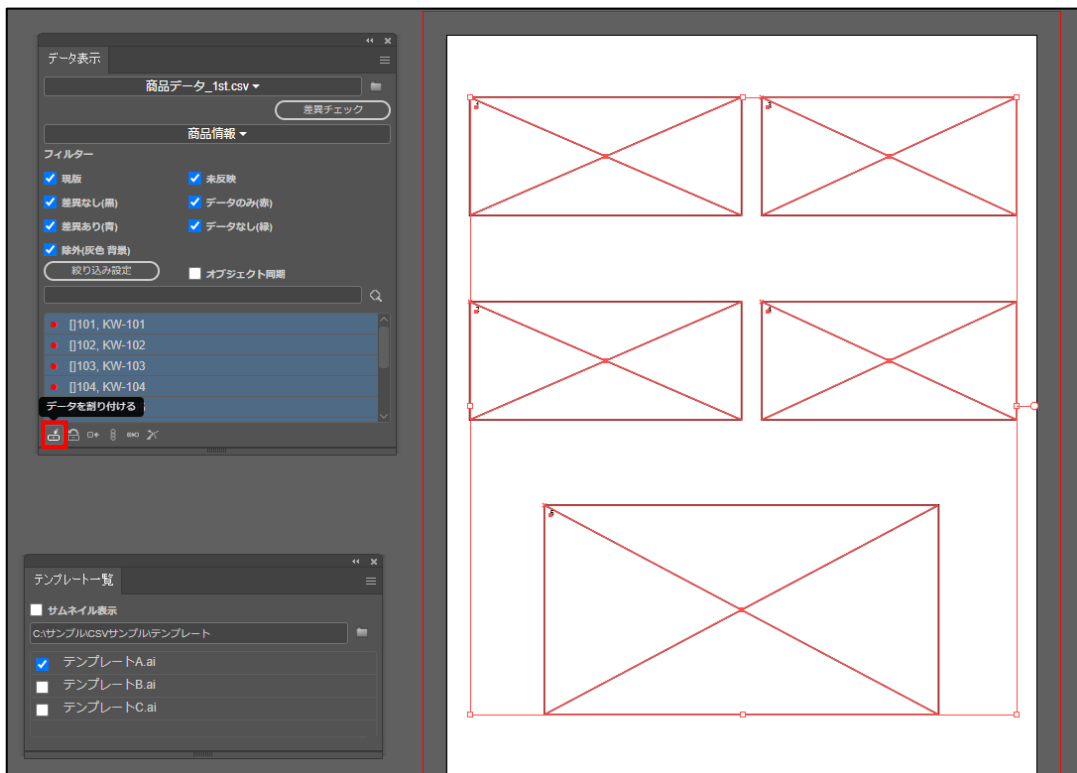


8.5.3.4 複数のデータを流し込む

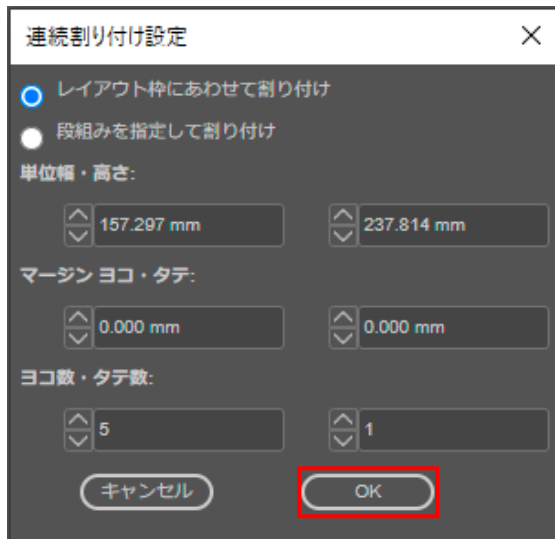
データ表示パネルから流し込むデータを複数選択し、配置したレイアウト枠をツールバーの「選択」ツールを使用して全て選択します。



データ表示パネルの「データ割り付け」ボタンをクリックして、連続割り付け設定ダイアログを表示します。



連続割り付け設定ダイアログでは、複数のデータをどのように流し込むかの設定をします。
「レイアウト枠に合わせて割り付け」を設定することで、配置したレイアウト枠に合わせて流し込みが出来ます。
設定が出来たら「OK」ボタンをクリックし、対象データ一覧ダイアログを表示します。



対象データ一覧ダイアログが表示されるので、レイアウト枠の地番(レイアウト枠左上の番号)を確認し、どのレイアウト枠にどの商品を流し込むかを設定します。
並び替えるデータを選択し、各並び替えボタンをクリックして順番を入れ替えることが出来ます。
設定が出来たら「OK」ボタンをクリックし、流し込みを実施します。



データ表示

商品データ_1st.csv

商品情報

フィルター

☒ 現版 ☒ 未反映
☒ 差異なし(画) ☒ データのみ(画)
☒ 差異あり(画) ☒ データなし(画)
☒ 除外(灰色 背景)

絞り込み設定 ☐ オブジェクト同期

● 101, KW-101
 ● 102, KW-102
 ● 103, KW-103
 ● 104, KW-104
 ● 105, KW-105

テンプレート一覧

サムネイル表示

C:\サンプル\CSVサンプル\テンプレート

☒ テンプレートA.ai
☐ テンプレートB.ai
☐ テンプレートC.ai

土器古青釉
平皿

商品コード	枚数	備考	税込価格
KW-101	1		2,000
KW-102	2	1枚より300円税増です	9,500
KW-103	3	1枚より2,000円税増です	13,000

黒釉消胎釉
徳利

KW-108

税込価格
4,000

土器古青釉
鉢

商品コード	枚数	税込価格
KW-104	1	2,000
KW-105	2	4,000
KW-106	3	6,000
KW-107	4	8,000

陶器引
耐熱皿セット

KW-109

税込価格
10,000

長石釉
飯椀・湯呑セット

KW-110

税込価格
16,500

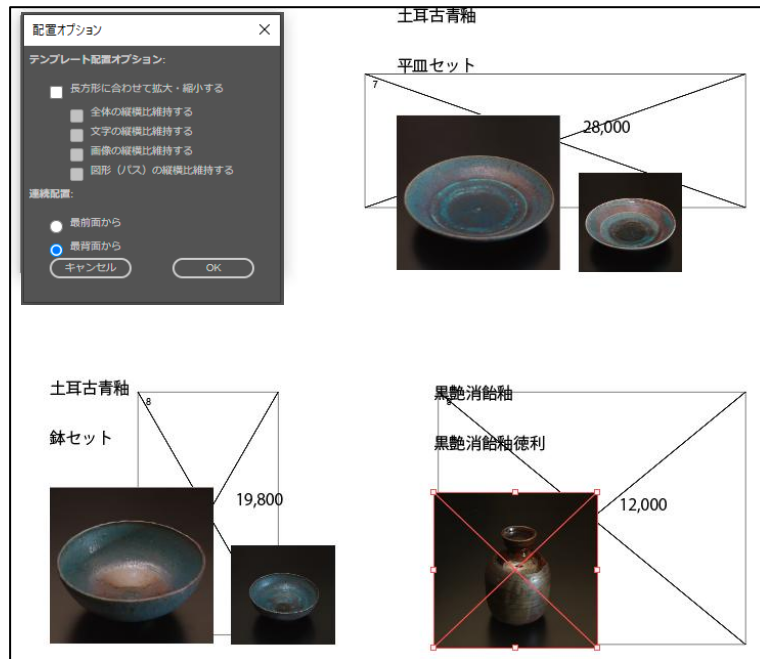
8.5.3.5 配置オプションの設定

テンプレート一覧パネルのメニューを開き、「配置オプション」をクリックすることで配置オプションダイアログを表示できます。

ここでは、配置オプションのそれぞれの設定で流し込みがどのように変わるかを説明します。

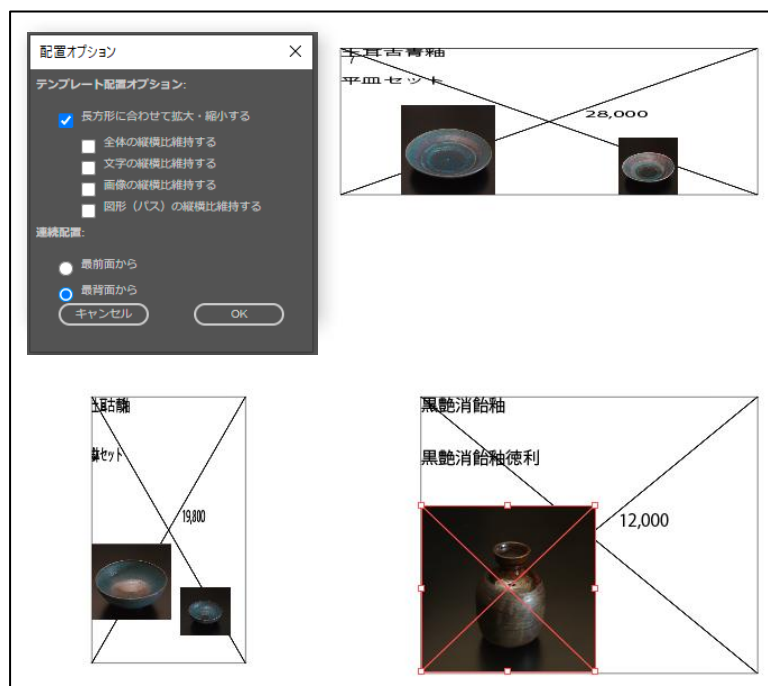
➤ レイアウト枠に合わせて拡大・縮小しない

全て未設定の場合、流し込みテンプレートのサイズは変わりません。



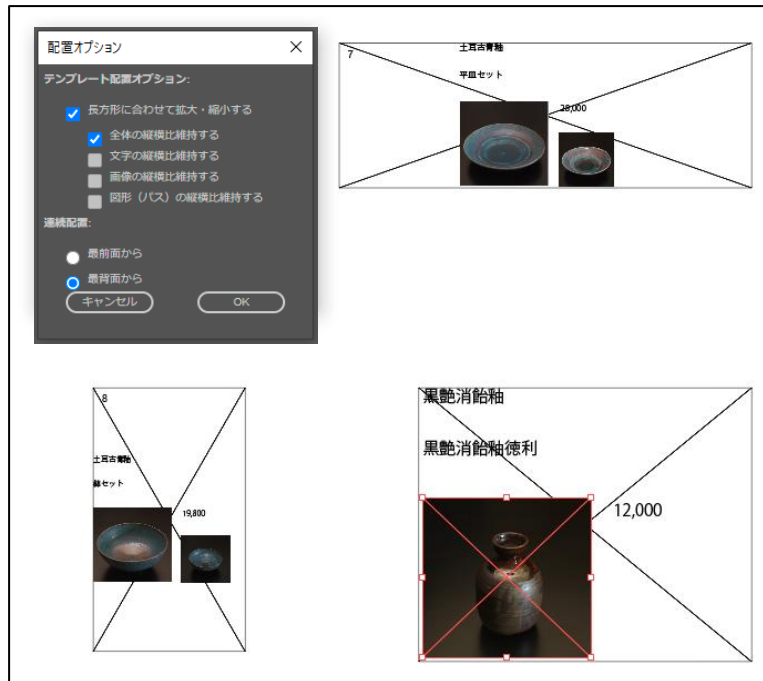
➤ レイアウト枠に合わせて拡大・縮小する

レイアウト枠に合わせて、流し込みテンプレートを拡大・縮小します。



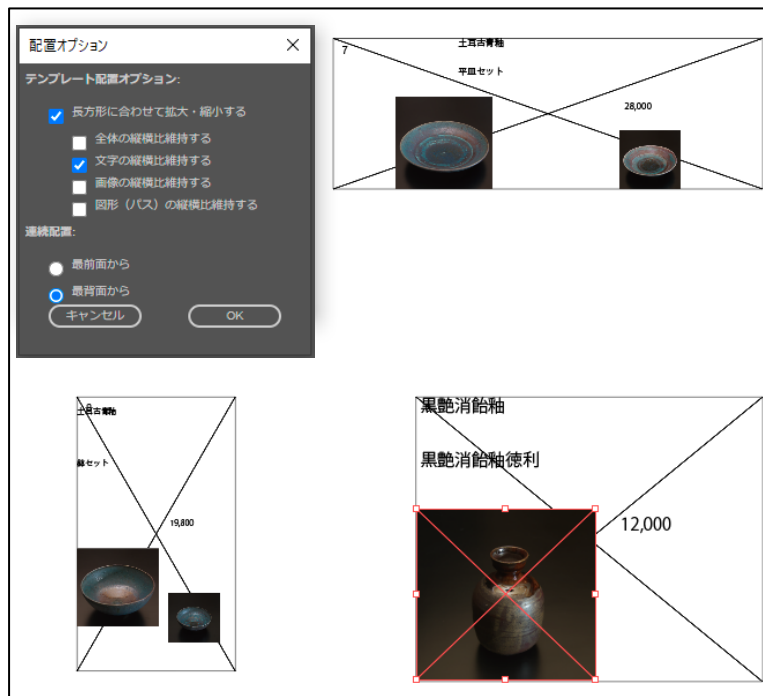
➤ レイアウト枠に合わせて拡大・縮小し、全体の縦横比を維持する

全体の縦横比を維持しつつレイアウト枠に合わせて、流し込みテンプレートを拡大・縮小します。



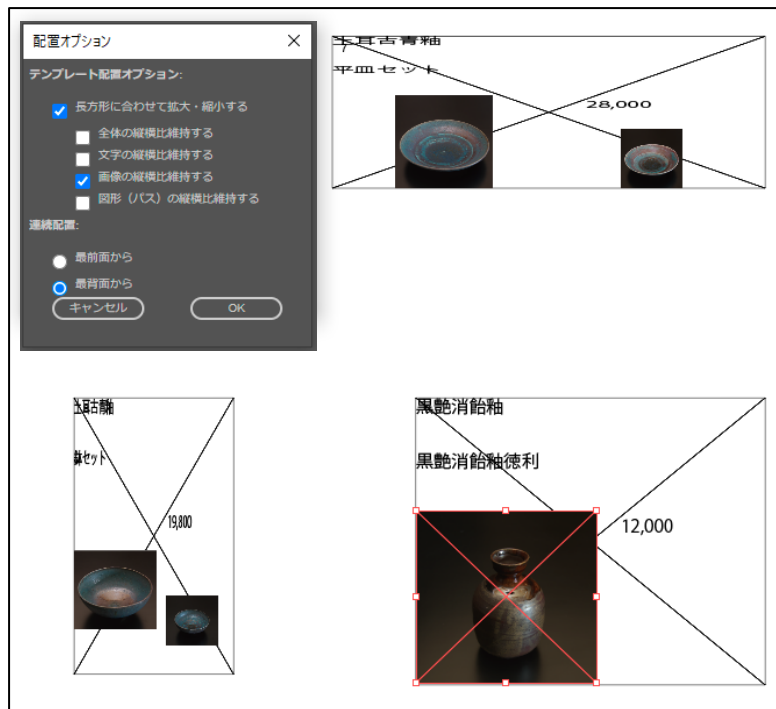
➤ レイアウト枠に合わせて拡大・縮小し、文字の縦横比のみ維持する

文字の縦横比を維持しつつレイアウト枠に合わせて、流し込みテンプレートを拡大・縮小します。



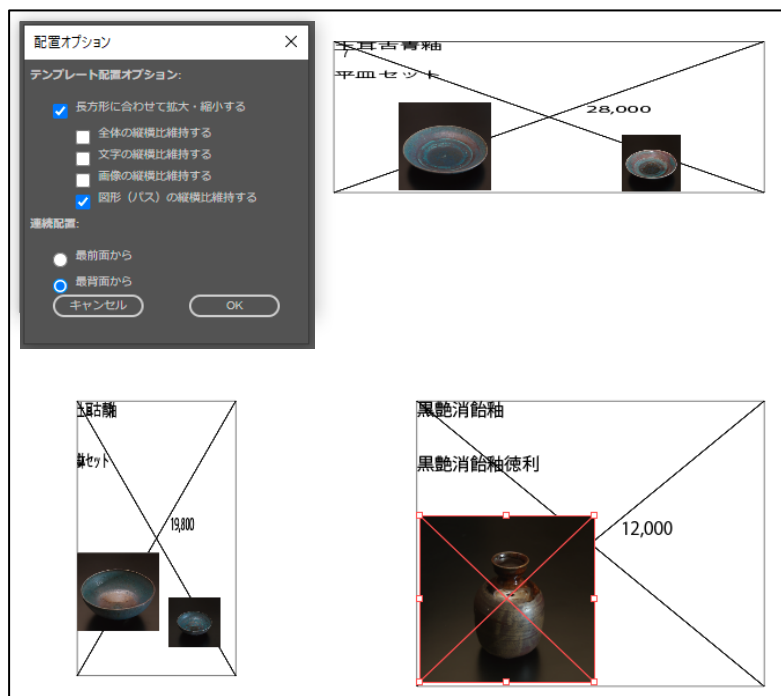
➤ レイアウト枠に合わせて拡大・縮小し、画像の縦横比のみ維持する

画像の縦横比を維持しつつレイアウト枠に合わせて、流し込みテンプレートを拡大・縮小します。



➤ レイアウト枠に合わせて拡大・縮小し、図形(パス)の縦横比のみ維持する

図形の縦横比を維持しつつレイアウト枠に合わせて、流し込みテンプレートを拡大・縮小します。



9 差異チェック

ここでは、差異チェックについて説明します。
差異チェックとは、データ表示パネルの「差異チェック」ボタンを押すことで実施される機能で、CSV/XML ファイルのデータとドキュメント上のデータを比較して違いを確認することが出来ます。

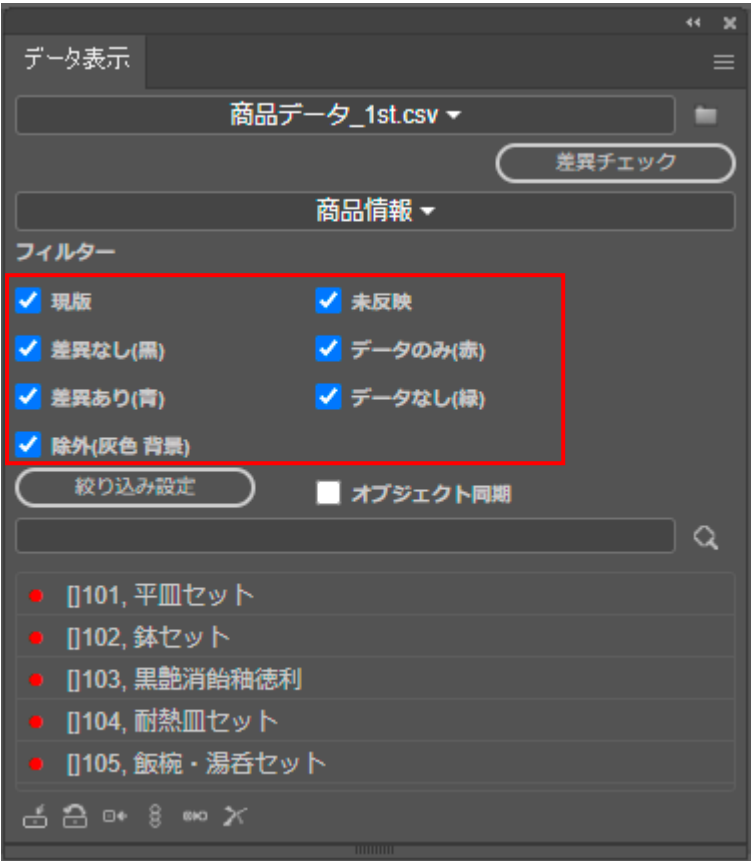
9.1 パネル上での色分け表示

差異チェックの結果は、データ表示パネル、データ詳細パネルの●の色で確認することが出来ます。



文字色	説明
赤色	CSV/XML ファイルにのみデータが存在する状態です。
黒色	CSV/XML ファイルのデータとドキュメント上のデータに差異がない状態です。
黄色	CSV/XML ファイルのデータを流し込み、差異チェックをしていない状態です。
青色	CSV/XML ファイルのデータとドキュメント上のデータに差異がある状態です。
緑色	ドキュメント上にのみデータが存在する状態です。 ※データ表示パネルのみ発生します。

データ表示パネルでは、差異チェックの結果をもとにデータの絞り込みが出来ます。
差異結果をもとにしたデータの絞り込みは、フィルタリングチェックボックスから行います。



チェックボックス	説明
差異なし	差異なしのデータを表示します。
データのみ	データファイルのみに存在するデータを表示します。
差異あり	差異ありのデータを表示します。
データなし	カレントドキュメントのみに存在するデータを表示します。
除外データ	除外設定が設定されているデータを表示します。

差異 無し	データ のみ	差異 あり	データ なし	除外 データ	表示
					何も表示しません。
●					差異なしデータを表示します。 除外データは表示しません。
	●				データのみデータを表示します。 除外データは表示しません。
		●			差異ありデータを表示します。 除外データは表示しません。
			●		データなしデータを表示します。 除外データは表示しません。
				●	全ての除外データを表示します。
●				●	除外設定されている差異なしデータを表示します。 (AND条件)
	●			●	除外設定されているデータのみデータを表示します。 (AND条件)
		●		●	除外設定されている差異ありデータを表示します。 (AND条件)
			●	●	除外設定されているデータなしデータを表示します。 (AND条件)
●	●				差異なし及びデータのみデータを表示します。 除外データは表示しません。
	●	●		●	除外設定されているデータのみ及び差異ありデータを表示します。
●	●	●	●	●	全て表示します。

9.2 ドキュメント上での色分け表示

ドキュメント上のデータと、CSV/XML ファイルのデータとの差異を明示するためにマーキングが出来ます。マーキング用レイヤーが自動で作成され、そのレイヤーに対してマーキングがされます。



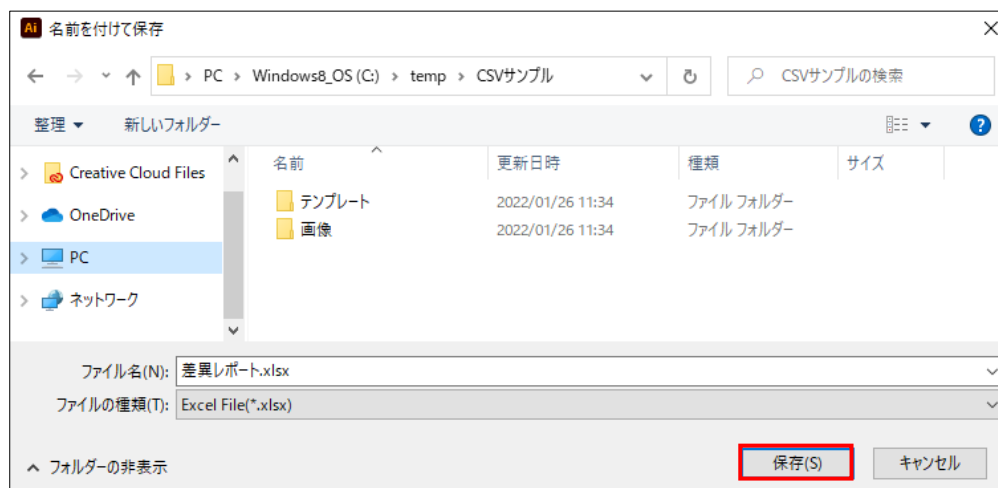
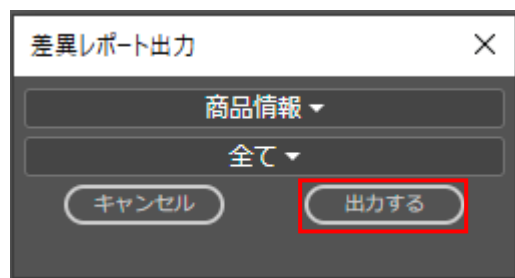
9.2.1 差異箇所のマーキング

データ表示パネルの「差異チェック」ボタンをクリック後、ウィンドウ > 組技 > 差異箇所のマーキング をクリックすることで、ドキュメント上のデータと、CSV/XML ファイルのデータに差異がある項目に対してマーキングされます。



9.2.2 レポート出力

データ表示パネルの「差異チェック」ボタンをクリック後、
 ウィンドウ > 組技 > 差異レポート出力 をクリックすることで、
 差異レポート出力選択ダイアログが表示されます。
 出力するデータグループ、全データを出力するかを設定し、
 「OK」ボタンをクリックすることで差異の一覧を Excel ファイルとして出力します。



9.3 除外設定

データそのもの、もしくは項目単位に差異チェックの対象外に設定することが出来ます。

9.3.1 データ表示パネルでの除外設定

差異チェックの対象外にしたいデータを選択し、「除外設定」ボタンをクリックします。

除外設定されたデータは●の色がグレーになります。

除外設定されたデータを差異チェックの対象に戻す場合は、再度「除外設定」ボタンをクリックします。



9.3.2 データ詳細パネルでの除外設定

差異チェックの対象外にしたいデータの項目を選択し、「除外設定」ボタンをクリックします。

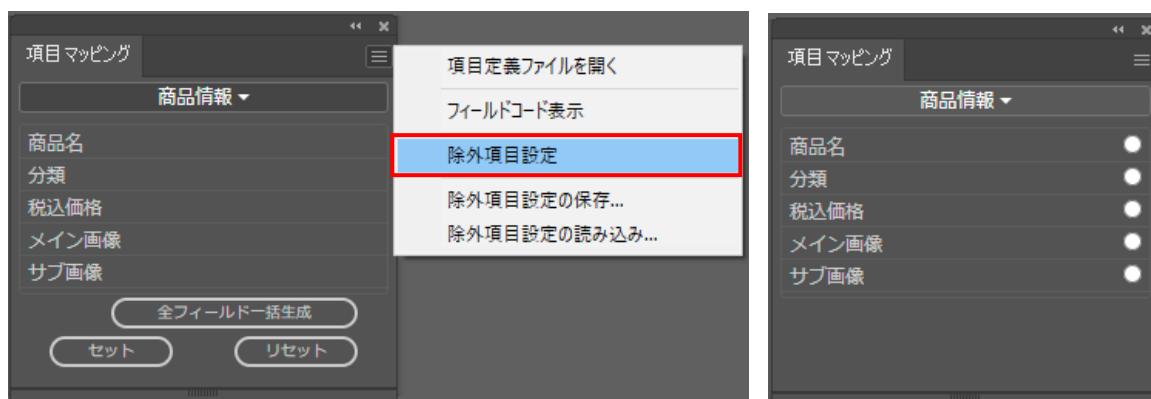
除外設定された項目は●の色がグレーになります。

除外設定された項目を差異チェックの対象に戻す場合は、再度「除外設定」ボタンをクリックします。



9.3.3 項目マッピングパネルでの除外設定

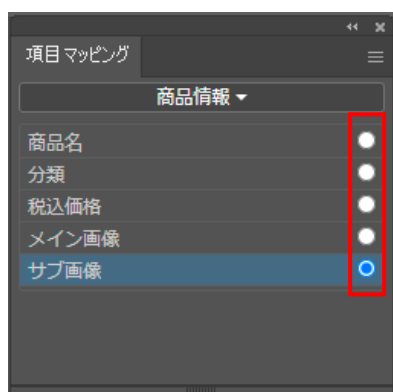
項目マッピングパネルのメニューを開き、「除外項目設定」をクリックすることで、各項目に対して除外設定が出来るようになります。



項目一覧の右端にあるラジオボタンにチェックを入れることで除外設定が出来ます。

解除する場合は、除外設定済みの項目のチェックを外します。

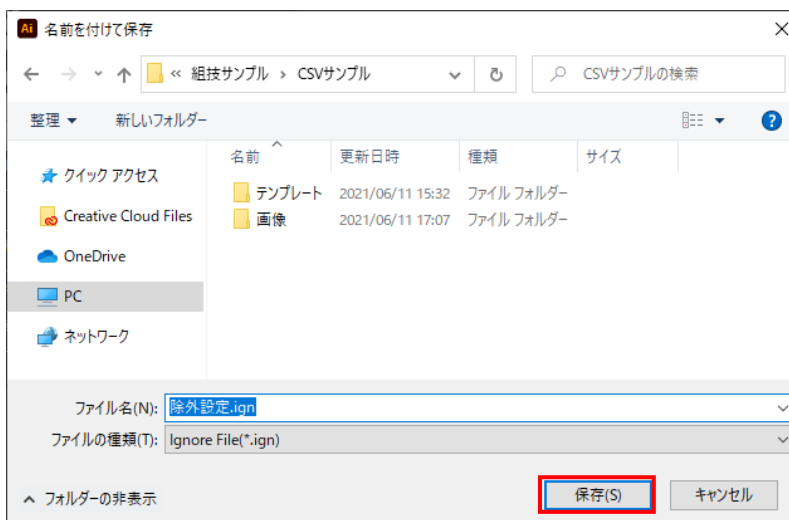
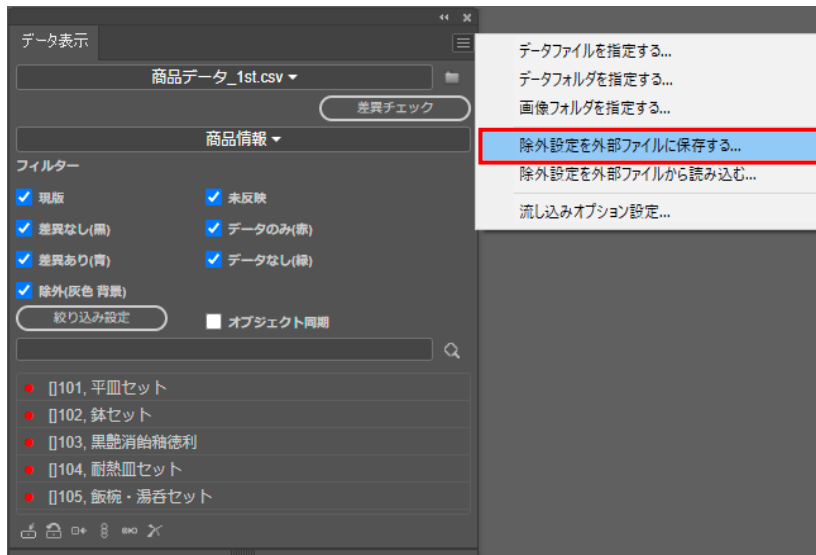
これらの除外項目設定は、ユーザーごとの環境設定として保存されます。



9.3.4 除外設定の保存

データ表示パネルのメニューを開き、「除外設定を外部ファイルに保存する」をクリックすることで、除外設定を保存することが出来ます。

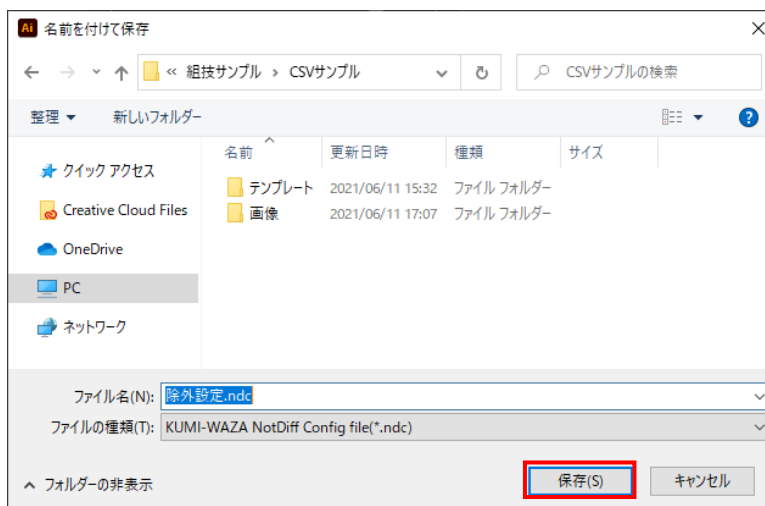
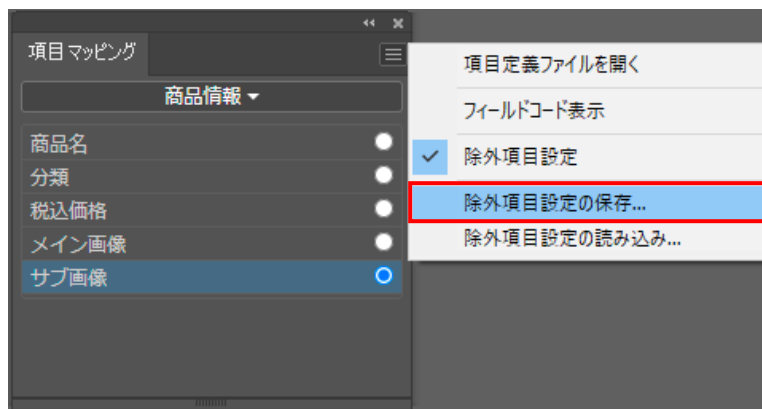
ファイル選択ダイアログが表示されるので、ファイル名を設定し、「保存」ボタンをクリックします。この機能は除外設定を別のドキュメントへ移行したい場合などに使用できます。



項目マッピングパネルでもデータ表示パネルと同様に、除外設定を保存することが出来ます。

項目マッピングパネルのメニューを開き、「除外設定を外部ファイルに保存」をクリックすることで、除外設定を保存することが出来ます。

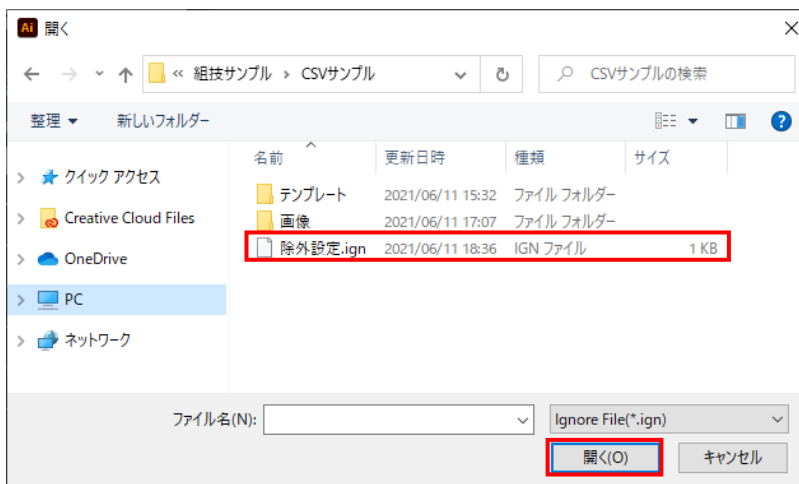
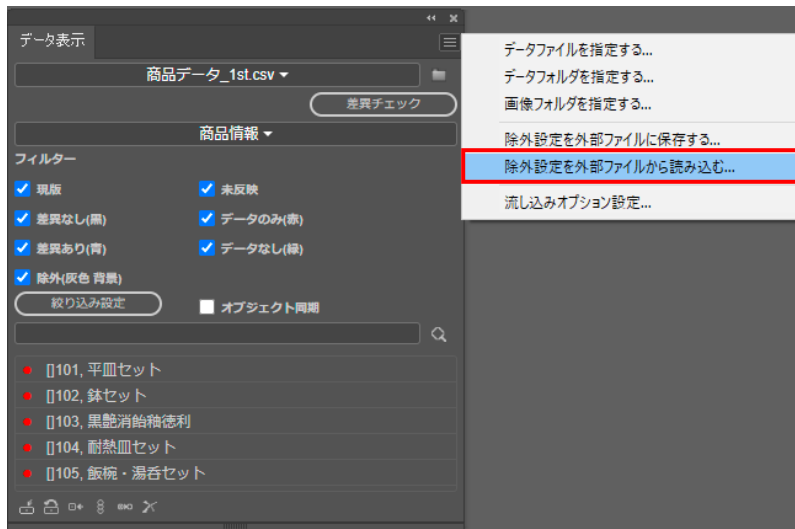
ファイル選択ダイアログが表示されるので、ファイル名を設定し、「保存」ボタンをクリックします。

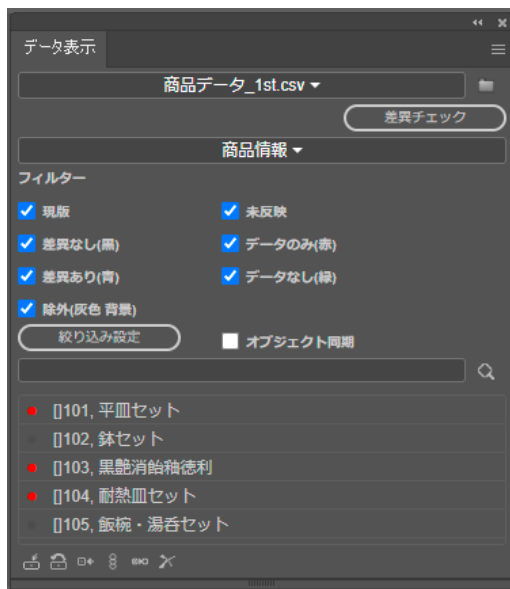


9.3.5 除外設定の読み込み

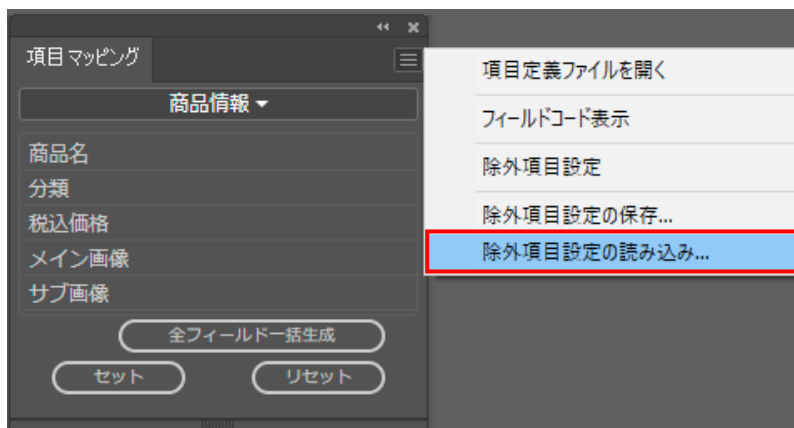
データ表示パネルのメニューを開き、「除外設定を外部ファイルから読み込む」をクリックすることで、除外設定を読み込むことができます。

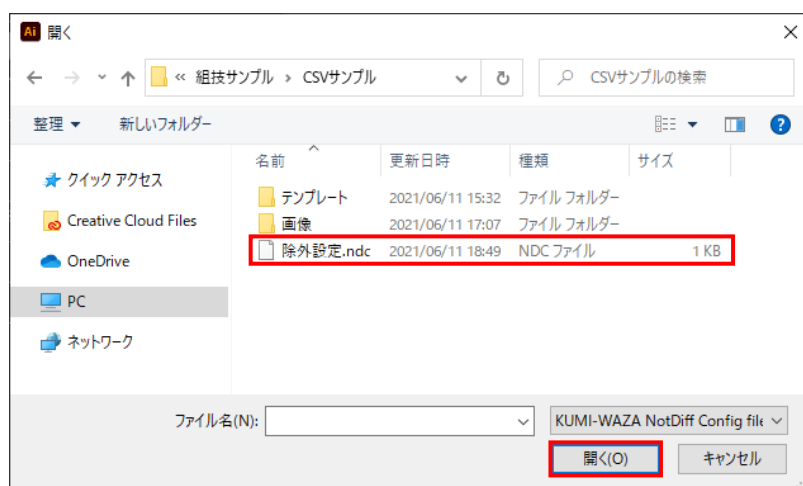
ファイル選択ダイアログが表示されるので、対象の除外設定ファイルを選択し、「開く」ボタンをクリックします。





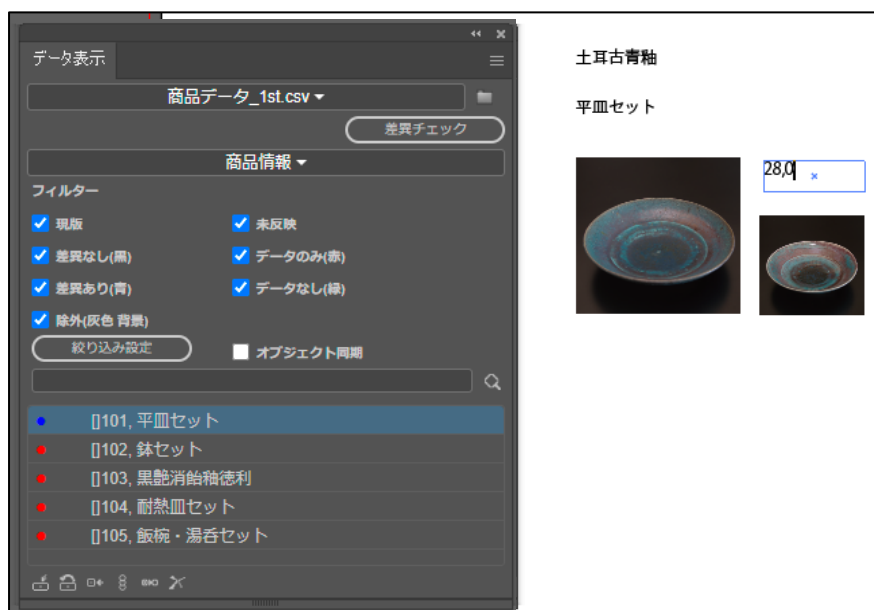
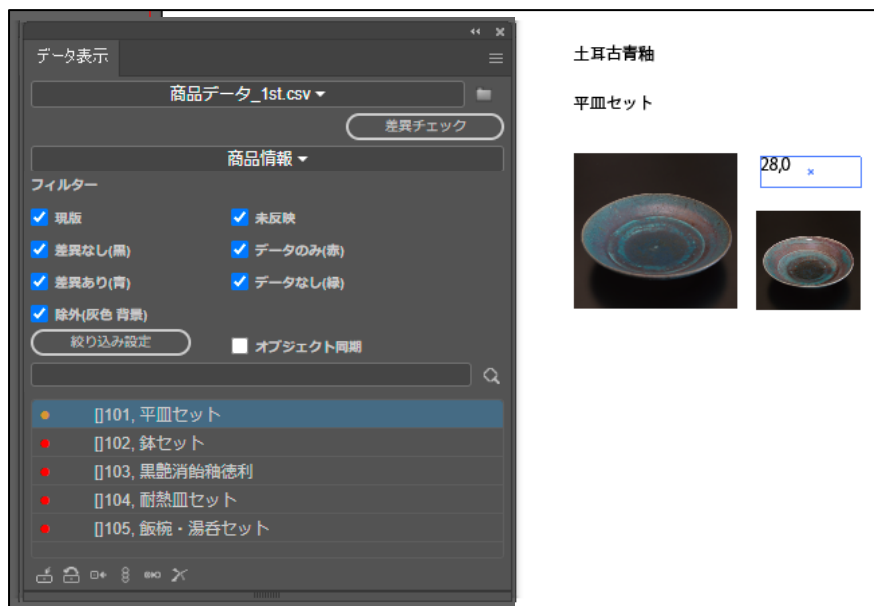
項目マッピングパネルでもデータ表示パネルと同様に、除外設定を読み込むことができます。
項目マッピングパネルのメニューを開き、「除外設定を外部ファイルから読み込み」をクリックすることで、除外設定を読み込むことができます。
ファイル選択ダイアログが表示されるので、対象の除外設定ファイルを選択し、「開く」ボタンをクリックします。





9.4 差異チェックの実施

データ表示パネルの「差異チェック」ボタンをクリックすることで、読み込んでいる CSV/XML ファイルのデータとドキュメント上のデータを比較することができます。

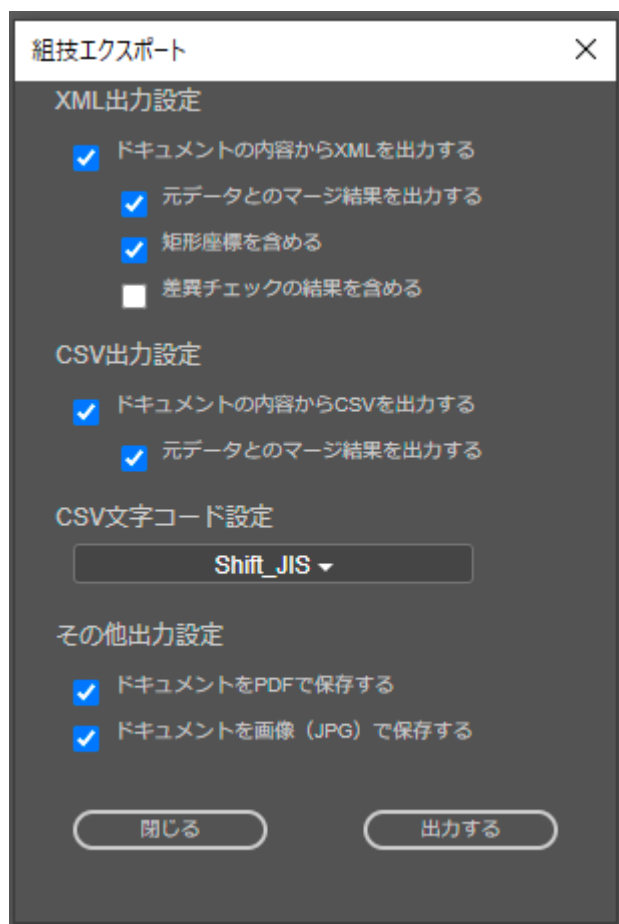
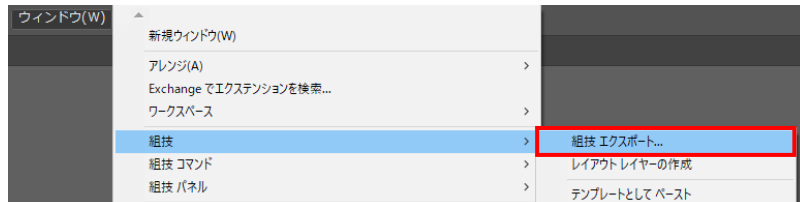


10 データの出力

ここでは、各種データの出力について説明します。

データの出力は ウィンドウ > 組技 > 組技 エクスポート をクリックすることで表示される、エクスポートダイアログから行います。

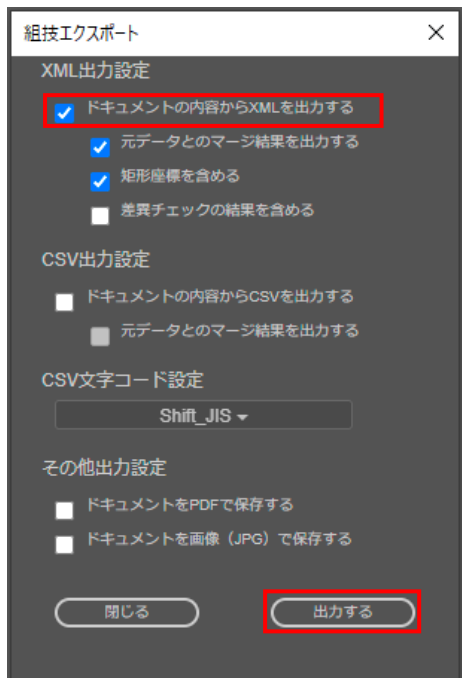
出力できるファイルはXML、CSV、PDF、JPG の4つあり、全てを一度で出力することが出来ます。



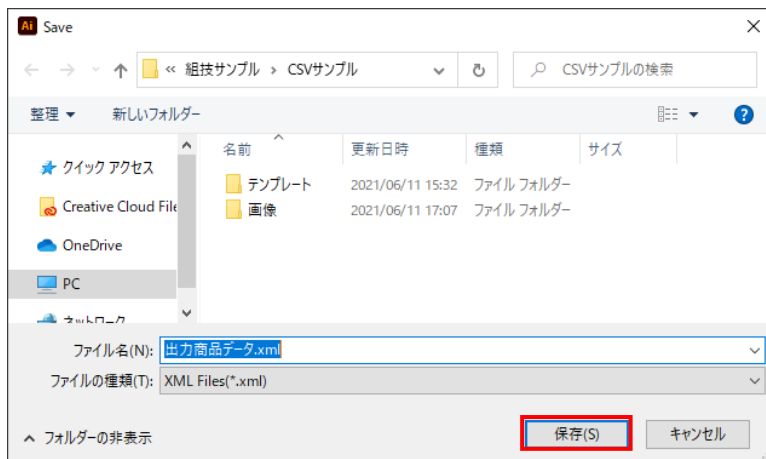
10.1 XML を出力する

ドキュメント上のデータをもとに XML を出力します。

XML を出力するには「ドキュメントの内容から XML を出力する」にチェックをいれ、「出力する」ボタンをクリックします。



ファイル選択ダイアログが表示されるので、ファイル名を入力し、「保存」ボタンをクリックしてください。



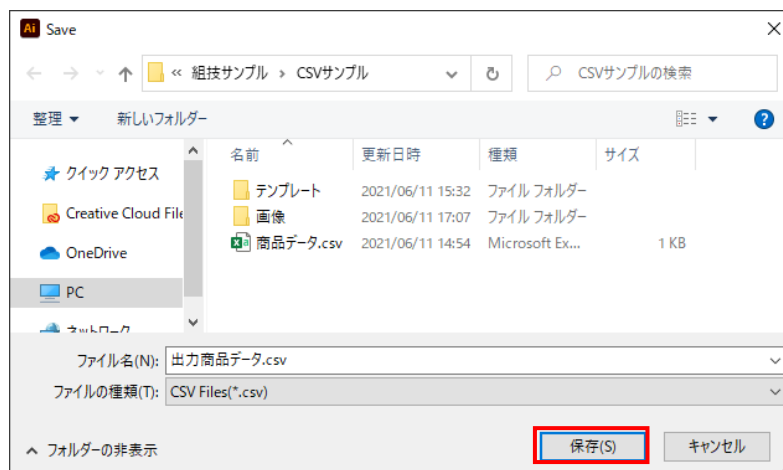
10.2 CSV を出力する

ドキュメント上のデータをもとに CSV を出力します。

CSV を出力するには「ドキュメントの内容から CSV を出力する」にチェックをいれ、文字コードを選択してから「出力する」ボタンをクリックします。



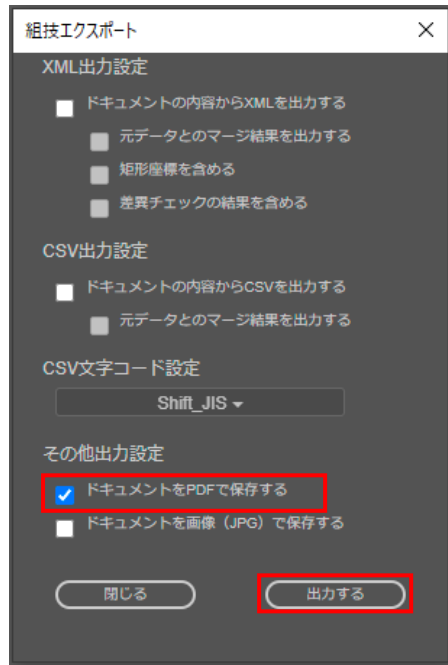
ファイル選択ダイアログが表示されるので、ファイル名を入力し、「保存」ボタンをクリックしてください。



10.3 PDF を出力する

ドキュメントをPDFとして出力します。

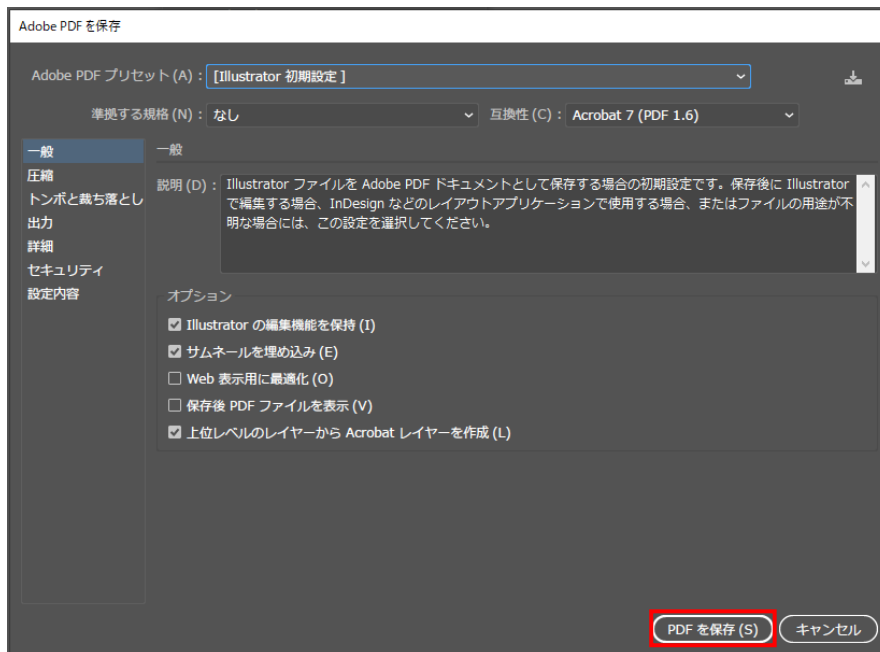
PDF を出力するには「ドキュメントをPDFで保存する」にチェックをいれ、「出力する」ボタンをクリックします。



ファイル選択ダイアログが表示されるので、ファイル名を入力し、「保存」ボタンをクリックしてください。



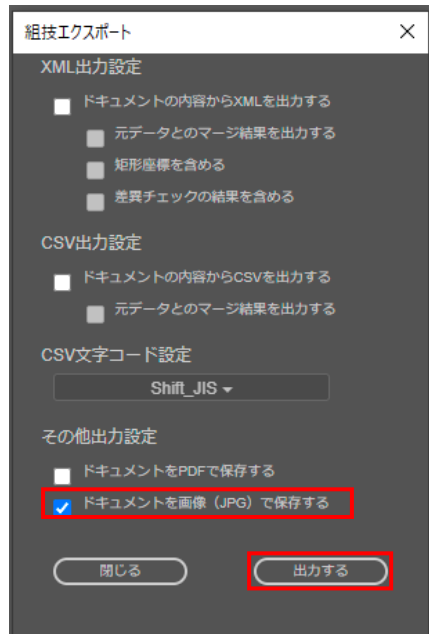
PDF 書き出し設定ダイアログが表示されるので、適宜設定を行い「PDF を保存」ボタンをクリックします。
※ここで「キャンセル」ボタンをクリックすると、PDF 出力がキャンセルされるので注意してください。



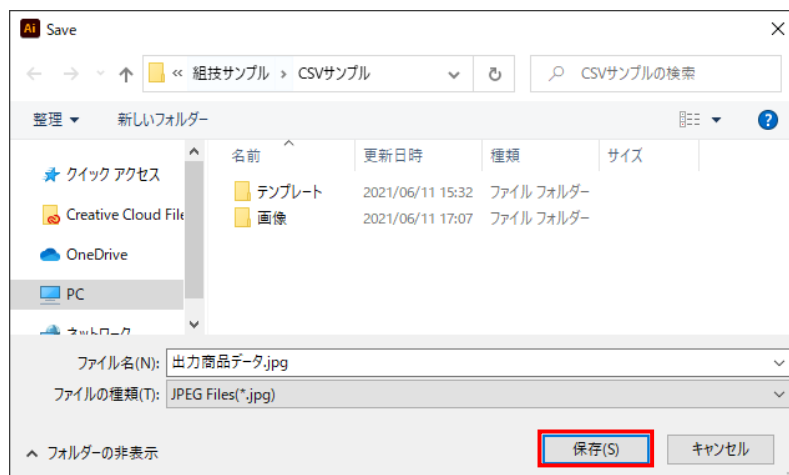
10.4 画像を出力する

ドキュメントを画像(JPG)として出力します。

画像を出力するには「ドキュメントを画像(JPG)で保存する」にチェックをいれ、「出力する」ボタンをクリックします。



ファイル選択ダイアログが表示されるので、ファイル名を入力し、「保存」ボタンをクリックしてください。



/// N.GeN



2026.01

© Copyright N.GeN Corporation. All Rights Reserved.